

# 茅ヶ崎市

---

## 第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画に関する調査 報告書

---

平成29年3月

茅ヶ崎市



はじめに



## 〔 目 次 〕

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査実施方法及び回収状況	3
(1) 一般高齢者個別調査	3
(2) 要支援・要介護認定者個別調査（在宅）	3
(3) 要支援・要介護認定者個別調査（施設）	4
(4) 介護サービス事業者調査（施設）	4
3 報告書の見方	4
第2章 一般高齢者個別調査	9
1 記入者等について	9
(1) 要支援・要介護認定の有無	9
(2) 調査回答者	9
(2-1) 本人に代わって記入した理由	9
2 回答者（調査対象者）について	10
(1) 性別	10
(2) 年齢	10
(3) 家族構成	11
(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無	11
(4) 居住地区	12
3 健康状態について	13
(1) 健康状態	13
(2) 健康状態を保つために実践していること	13
(3) 健康診断の受診の有無	14
(3-1) 健康診断を受けていない理由	14
(4) 歯の健康診断の受診の有無	15
(5) 認知機能の状況	15
4 運動について	16
(1) 運動の習慣	16
(1-1) 運動の頻度	16
(1-2) 運動の継続期間	17
(1-3) 運動の種類	17
5 食生活や口腔について	18
(1) 食事で気をつけていること	18
(2) 食事を抜く頻度	18
(3) 口腔機能や食事について	19
6 介護予防事業について	20
(1) 参加している介護予防事業	20
(2) 今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業	21

(2-1) 参加したい事業はない理由	23
(3) ちがさき体操の認知度	24
(3-1) ちがさき体操の実施状況	24
7 日常生活について	25
(1) 日常生活動作	25
(2) 外出頻度	26
(2-1) あまり外出しない理由	26
(2-2) 外出しない日に過ごすことが多い人	27
(3) 現在のくらしで不安に思っていること	27
(4) 安全で安心なまちづくりが必要だと思うこと	28
(5) 悩みや心配ごとを相談できる人や場所の有無	29
(5-1) 悩みや心配ごとの相談先	29
8 日常生活について	30
(1) 振り込め詐欺に対する考え	30
(2) 振り込め詐欺等の電話を受けた経験	30
(3) 振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識	30
(4) 公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて	31
(5) 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の役立ち度	31
(6) 自分らしい最期を迎えるための準備	32
(6-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備	32
(7) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向	33
(8) かかりつけの医療機関の有無	34
9 社会参加について	35
(1) 社会参加の状況	35
(2) 社会参加の今後の意向	36
(3-1) 社会参加の活動をしやすく（続けやすく）なる条件	38
(3-2) 活動したいとは思わない（できない）理由	39
(3-3) 就労するうえで重視すること	40
(3-4) 就労（したい）日数	42
(4) 興味を持っていること	43
10 今後の「支え合い」のあり方について	44
(1) 地域のボランティア活動への参加意向	44
(1-1) ボランティア等で支える側として参加したい（している）活動	44
(2) ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容	46
(3) 成年後見制度の認知度	46
(4) 成年後見制度の利用・相談窓口の認知度	47
(4-1) 知っている相談窓口	47
(5) 防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについての考え	48
11 住まいについて	49
(1) 住まいの種類	49
(1-1) 今後10年間の間の住宅の利用予定	49
(2) 現在の住まいで困っていること	50

(2-1) 住まいで困っていることを解消するための対策	50
12 防災について	51
(1) 大きな災害に備えた対策	51
(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無	51
(2-1) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人	52
(2-2) 災害時要援護者支援制度の認知度	52
13 介護保険について	53
(1) 介護保険の所得段階区分	53
(2) 介護保険料の支払い額について	53
(3) 地域を担当している地域包括支援センターの認知度	54
(3-1) 地域包括支援センターの利用状況	54
(4) 身近な公的機関等に相談したいこと	55
(5) 生活の情報源	56
(6) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源	57
(7) 家族介護の状況	58
(8) 介護が必要となったときの介護予定者の有無	58
(8-1) 主な介護予定者	58
(8-2) 主な介護予定者の年齢	59
(8-3) 主な介護予定者の同居の有無	59
(9) 介護が必要となったときに希望する介護	60
(9-1) 自宅等の介護対応度	60
<b>第3章 要支援・要介護認定者個別調査（在宅）</b>	<b>63</b>
1 記入者等について	63
(1) 資格喪失や施設入所の有無	63
(2) 調査回答者	63
(2-1) 本人に代わって記入した理由	63
2 回答者（調査対象者）について	64
(1) 性別	64
(2) 年齢	64
(3) 家族構成	65
(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無	65
(4) 居住地区	66
3 日常生活について	67
(1) 外出頻度	67
(1-1) 外出しない日に過ごすことが多い人	67
(2) 日常生活の中で不自由を感じることに	68
(3) かかりつけの医療機関の有無	69
(4) 在宅医療サービスの利用状況	70
(5) 悩みや心配ごとを相談できる人の有無	70
(5-1) 悩みや心配ごとの相談先	71
(6) 民間事業者によるサービスの利用状況	72

(6-1)	利用している民間事業者によるサービス	72
(7)	振り込め詐欺に対する考え	73
(8)	振り込め詐欺等の電話を受けた経験	73
(9)	振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識	73
(10)	公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて	74
(11)	防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の役立ち度	74
(12)	自分らしい最期を迎えるための準備	75
(12-1)	自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備	75
(13)	自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向	76
4	住まいについて	77
(1)	住まいの種類	77
(2)	現在の住まいで困っていること	78
(2-1)	住まいで困っていることを解消するための対策	78
5	防災について	79
(1)	大きな災害に備えた対策	79
(2)	災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無	79
(2-1)	災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人	80
(2-2)	災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人	80
6	介護者について	81
(1)	主な介護者	81
(2)	主な介護者の年齢	81
(3)	主な介護者の同居の有無	82
(4)	主な介護者の介護期間	82
(5)	主な介護者が行っている介護等の内容	83
(6)	主な介護者の1日あたりの介護時間	84
(7)	主な介護者を取り巻く状況	84
(8)	家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無	85
(9)	主な介護者の勤務形態	85
(9-1)	主な介護者の勤務形態の調整等	86
(9-2)	仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等	86
(9-3)	働きながら介護を続けることの今後の見込み	87
(10)	主な介護者が不安に感じている介護等	88
(11)	主な介護者の相談先	89
7	介護保険について	90
(1)	要介護認定を申請した理由	90
(2)	要介護度	90
(3)	市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源	91
(4)	介護保険サービスの利用状況	91
(4-1)	利用している介護保険サービスの種類	92
(4-1-1)	福祉具購入や住宅改修の効果	93
(4-1-2)	福祉具購入や住宅改修の内容の適切さ	93
(4-2)	介護保険サービスを利用していない理由	94



(5) 施設等への入所・入居の検討状況	94
(5-1) 入所希望時期	95
(5-2) 入所・入居の申し込みをしている(申し込みをしたい)施設等	95
(6) 介護保険サービスを利用したことによる変化	96
(7) 介護保険サービス提供事業者の満足度	96
(7-1) 介護保険サービス提供事業者に不満を感じた理由	97
(8) 今後利用したい介護保険サービス	97
(9) 介護保険の所得段階区分	98
(10) 介護保険料の支払い額について	98
(11) 今後介護を受けたい場所	99
(12) 受けている介護サービスと医療機関の連携状況	99
8 今後の「支え合い」のあり方について	100
(1) 介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援	100
(1-1) 受けている地域の支え合いによる支援の内容	100
(1-2) 地域の支え合いによる支援の提供者	101
(2) 地域の支え合いによる支援で希望するサービス	101
<b>第4章 要支援・要介護認定者個別調査(施設)</b>	<b>105</b>
1 回答者について	105
(1) 入所・入居している施設と退所状況	105
(2) 調査回答者	106
2 回答者(調査対象者)について	107
(1) 性別	107
(2) 年齢	108
3 日常生活について	109
(1) 相談者の有無	109
(1-1) 悩みや心配ごとの相談先	110
(2) 有料老人ホーム・グループホーム入居者の在宅医療サービス利用状況	111
4 介護保険について	112
(1) 要介護認定を申請した理由	112
(2) 要介護度	113
(3) 施設入所の決定者	114
(4) 施設入所の理由	115
(5) 施設サービスの満足度	116
(5-1) 施設サービスに不満を感じている内容	117
(6) 部屋の定員数	118
(6-1) 個室への移動希望の有無	119
(6-1-1) 個室への移動を希望しない理由	120
(7) 介護保険の所得段階区分	121
(8) 介護保険料の支払額について	122
(9) 今後の生活の場についての考え	123
(9-1) 生活の場を移したい施設の種類	123

(9-2) 在宅生活をする場合に必要となる介護サービス	124
第5章 介護サービス事業所調査	129
1 事業所の概要について	129
(1) 事業所の所在地	129
(2) 事業所の組織（法人格）	130
2 事業実態及び今後の事業展開について	131
(1) 実施している介護サービス	131
(2) 昨年度決算の収支が黒字であったサービス	132
(3) 休止や撤退、縮小を検討・予定しているサービス	133
(3-1) 休止や撤退、縮小を検討・予定している理由	134
(4) 新規参入・提供量の拡大を予定しているサービス	135
(5) 円滑な事業運営を進めていく上での経営上の問題	136
3 職員体制について	137
(1) 管理者及び職員数	137
(2) 職員の平均勤続年数	139
4 材確保や育成・定着について	140
(1) この1年間の人材確保の状況	140
(2) この1年間の人材確保の方針	140
(3) 人材確保の取り組み	141
(3-1) 人材確保の取り組みの効果	142
(4) この1年間の離職率	142
(4-1) 離職者数	143
(4-2) 離職者の離職理由	143
(5) 人材の定着・育成（離職の防止）の取り組み	144
(5-1) 人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みの効果	145

# 第1章 調査実施の概要



# 第1章 調査実施の概要

## 1 調査の目的

平成30～32年度を計画期間とする第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するに当たって、高齢者とその家族及び事業者の意見や要望等を把握するために実施しました。

## 2 調査実施方法及び回収状況

### (1) 一般高齢者個別調査

調査対象	満65歳以上の市民の方（要支援・要介護認定者を除く）
対象数	4,500人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 4,500件 回収数 : 3,460件 (76.9%) うち、白票等が3件、調査実施時点で要支援・要介護認定を「受けている」との回答が26件ありました。 有効回答数 : 3,431人 (76.2%)

### (2) 要支援・要介護認定者個別調査（在宅）

調査対象	平成28年10月時点で、要支援・要介護の認定を受け、在宅で生活している方
対象数	3,000人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 3,000件 回収数 : 2,000件 (66.7%) うち、白票等が21件、調査実施時点で「要支援・要介護認定を受けていない、または市外転出などにより資格を喪失している」との回答が36件、「要支援・要介護認定を受けていて、施設に入所している」との回答が161件ありました。 有効回答数 : 1,782人 (59.4%)

### (3) 要支援・要介護認定者個別調査（施設）

調査対象	平成28年10月時点で、要支援・要介護の認定を受け、施設サービス等を利用している方
対象数	500人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 500件 回収数 : 301件 (60.2%) うち、白票等が3件、調査実施時点で「既に退所している」との回答が1件、施設と退所状況に無回答が2件ありました。 有効回答数 : 295人 (59.0%)

### (4) 介護サービス事業者調査（施設）

調査対象	市民に介護サービスを提供している事業所
対象数	275事業所
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 275件 回収数 : 194件 (70.5%) うち、白票等が1件ありました。 有効回答数 : 193人 (70.2%)

## 3 報告書の見方

- ①図表中の「n」（number of caseの略）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- ②調査結果の割合は、その設問の回答者数(n)を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し算出しています。そのため、端数処理の関係で合計が100.0%にならない場合があります。
- ③複数回答の設問の場合、回答割合の合計は100.0%を超える場合があります。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ⑤クロス集計結果の図表や分析では、次のような留意点があります。
  - ・分析の軸（＝表側）とした調査回答者の属性や設問の無回答は表示していません。そのため、各調査回答者の属性のnの合計が、全体と一致しない場合があります。
  - ・分析の軸（＝表側）でnが少ないもの（25人未満を目安）は、誤差が大きくなるため、参考として図示していますが、分析の対象からは除いています。

⑥統計数値を記述するにあたり、割での表記を用いている場合があります。その際の目安は、おおむね以下のとおりとしています。また、状況に応じて、〇割台、〇割以上、〇割前後などとまとめている場合もあります。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割





## **第2章 一般高齡者個別調査**



## 第2章 一般高齢者個別調査

### 1 記入者等について

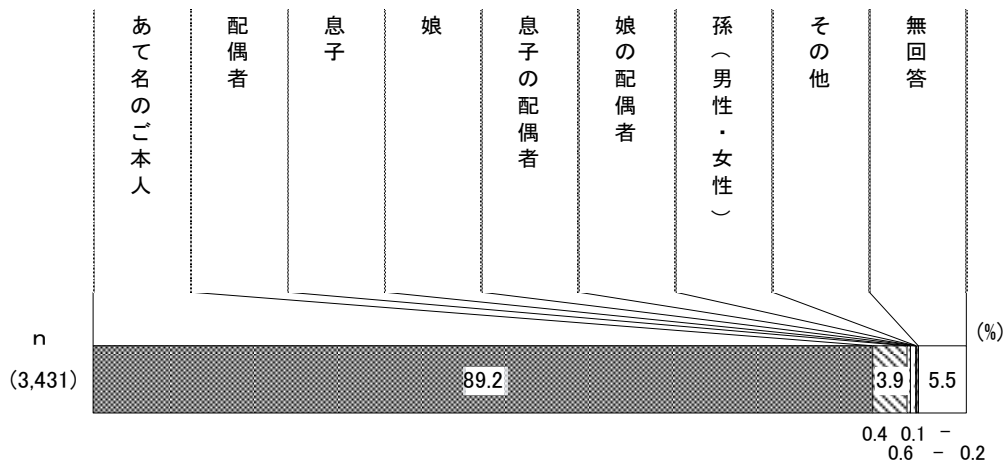
#### (1) 要支援・要介護認定の有無

回収された調査票3,457件のうち、調査実施時点で要支援・要介護認定を「受けている」との回答が26件ありました。そのため、本調査の有効回答数は3,431件です。

#### (2) 調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけに○)

調査回答者は、「あて名のご本人」が89.2%で最も高く、「配偶者」が3.9%となっています。

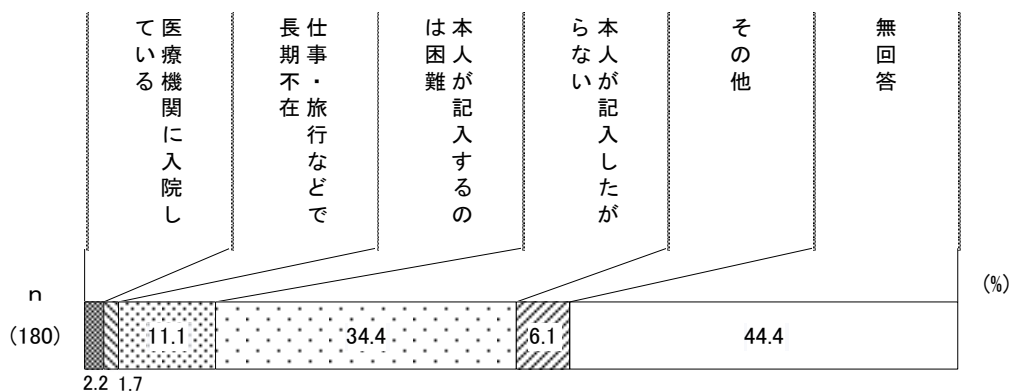


#### (2-1) 本人に代わって記入した理由

【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。(ひとつだけに○)

本人以外が記入していると回答した方に、代わって記入した理由をたずねたところ、「本人が記入したがない」が34.4%で最も高く、次いで「本人が記入するのは困難」が11.1%となっています。

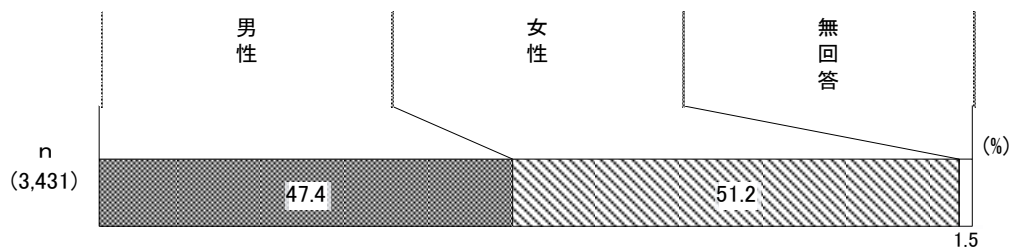


## 2 回答者（調査対象者）について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

調査対象者の性別は、「男性」が47.4%、「女性」が51.2%となっています。

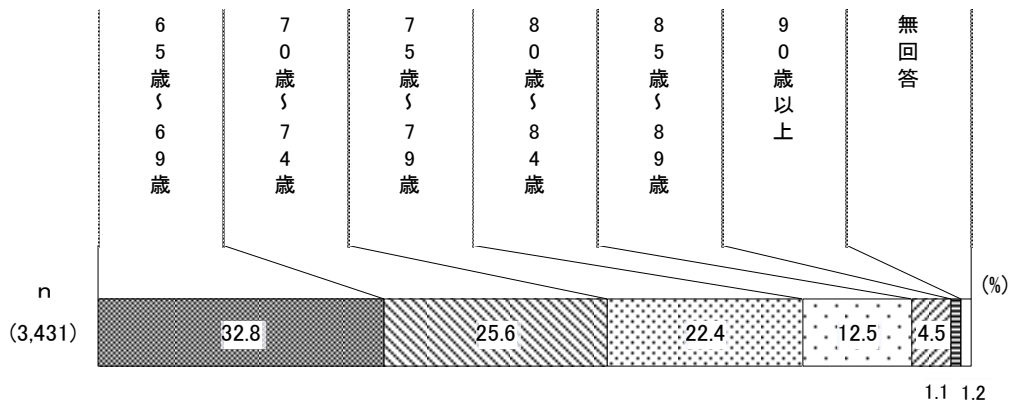


### (2) 年齢

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年10月1日現在の満年齢)

(ひとつだけに○)

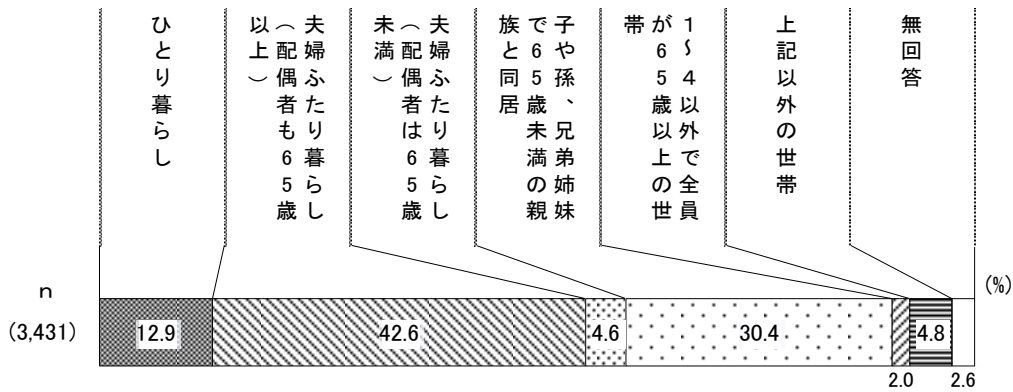
調査対象者の年齢は、「65歳～69歳」が32.8%で最も高く、次いで「70歳～74歳」が25.6%となっています。これらを合わせた《前期高齢者》は58.4%となっています。一方、「75歳～79歳」(22.4%)、「80歳～84歳」(12.5%)、「85歳～89歳」(4.5%)、「90歳以上」(1.1%)を合わせた《後期高齢者》は40.5%です。



### (3) 家族構成

問3 あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。  
(ひとつだけに○)

調査対象者の家族構成は、「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」が42.6%で最も高く、次いで「子や孫、兄弟姉妹で65歳未満の親族と同居」が30.4%となっています。なお、「ひとり暮らし」は12.9%です。

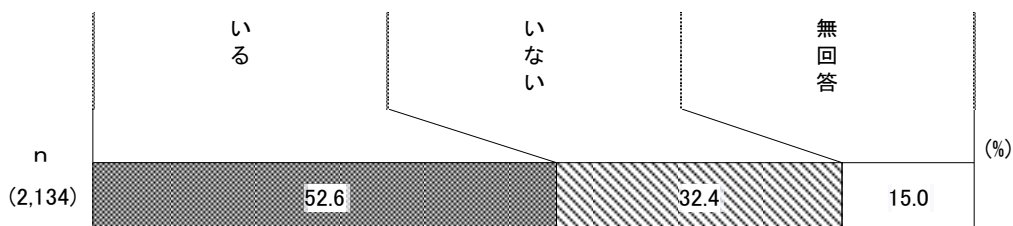


#### (3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無

**【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】**

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。(ひとつだけに○)

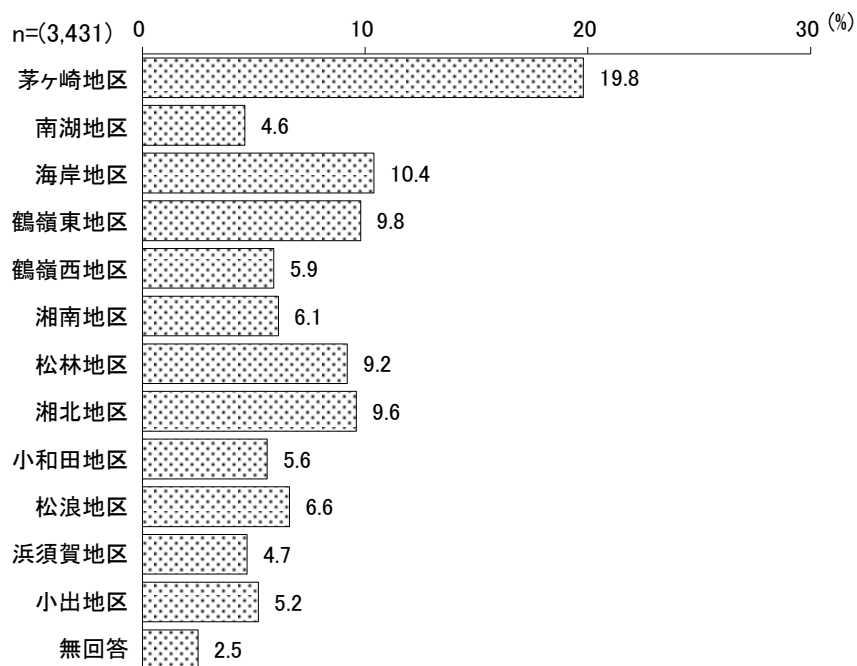
「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）」、「(同居者の) 全員が65歳以上の世帯」と回答した方に、30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無をたずねたところ、「いる」が52.6%で、「いない」が32.4%となっています。



#### (4) 居住地区

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)  
※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

調査対象者の居住地区は、「茅ヶ崎地区」が19.8%で最も高くなっています。次いで「海岸地区」が10.4%、「鶴嶺東地区」が9.8%、「湘北地区」が9.6%、「松林地区」が9.2%と1割前後です。

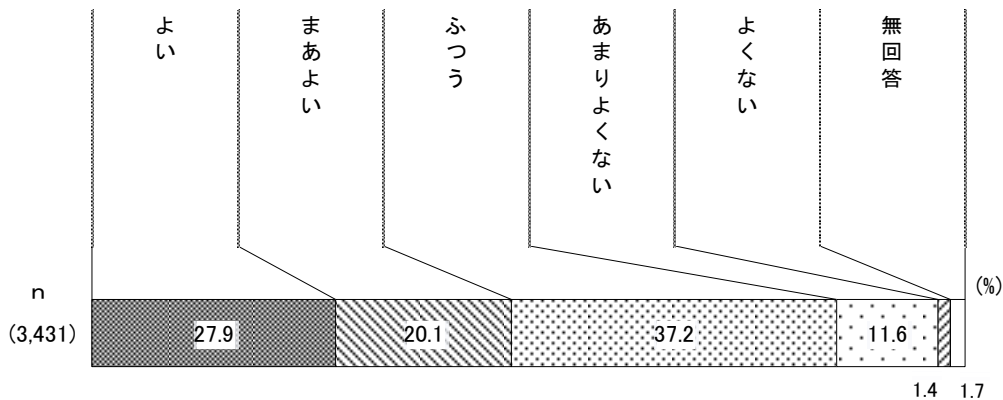


### 3 健康状態について

#### (1) 健康状態

問5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(ひとつだけに○)

健康状態は、「よい」が27.9%、「まあよい」が20.1%で、これらを合わせた《よい》は48.0%となっています。「ふつう」が37.2%で最も高くなっており、「あまりよくない」(11.6%)と「よくない」(1.4%)を合わせた《よくない》は13.0%です。

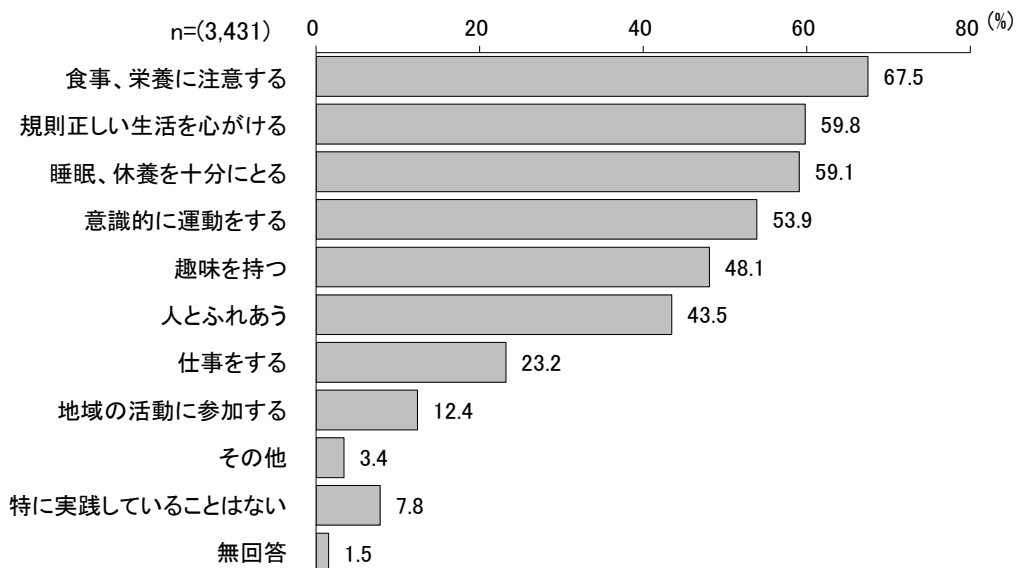


#### (2) 健康状態を保つために実践していること

問6 健康状態を保つために実践していることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

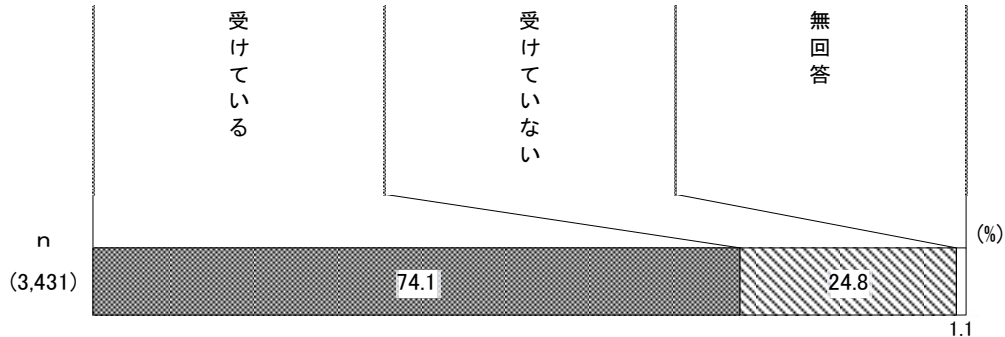
健康状態を保つために実践していることとしては、「食事、栄養に注意する」が67.5%で最も高くなっています。次いで「規則正しい生活を心がける」が59.8%、「睡眠、休養を十分にとる」が59.1%、「意識的に運動をする」が53.9%などとなっています。一方、「特に実践していることはない」が7.8%みられます。



### (3) 健康診断の受診の有無

問7 あなたは、1年に1回以上、健康診断を受けていますか。

健康診断を「受けている」が74.1%で高く、「受けていない」が24.8%となっています。

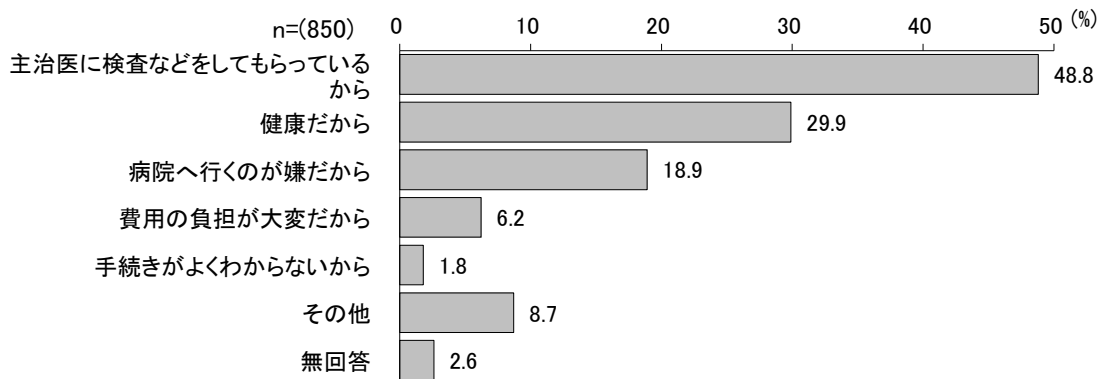


#### (3-1) 健康診断を受けていない理由

【問7で「2. 受けていない」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 健康診断を受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康診断を「受けていない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「主治医に検査などをしてもらっているから」が48.8%で最も高く、次いで「健康だから」が29.9%、「病院へ行くのが嫌だから」が18.9%などとなっています。

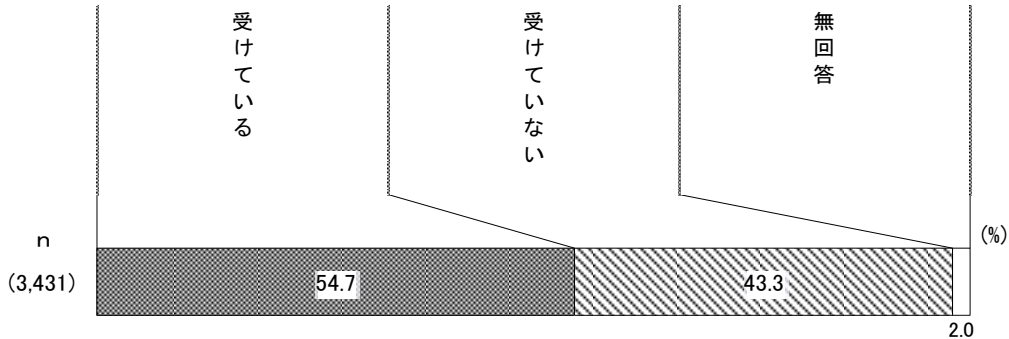




#### (4) 歯の健康診断の受診の有無

問8 あなたは、1年に1回以上、歯の健康診断を受けていますか。

歯の健康診断を「受けている」が54.7%で高く、「受けていない」が43.3%となっています。



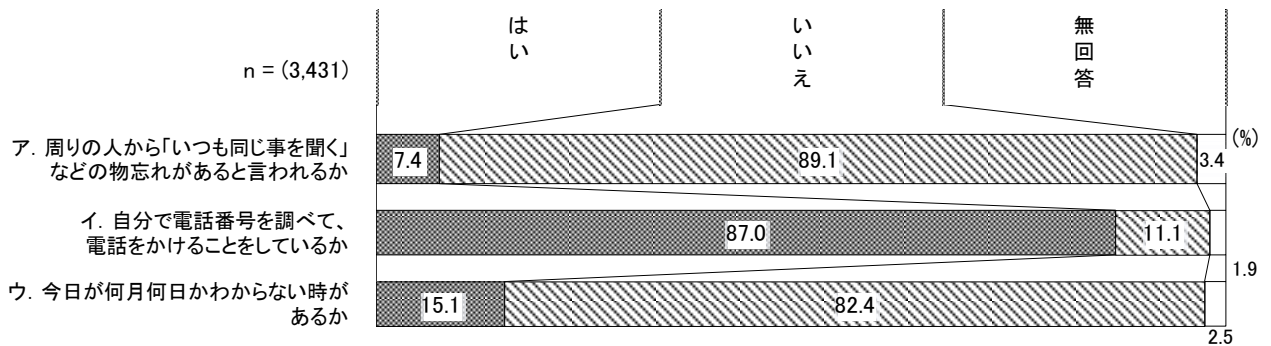
#### (5) 認知機能の状況

問9 あなたは、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。(ひとつずつ〇)

認知機能について、3つの設問をたずねました。

“ア 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか”と“ウ 今日が何月何日かわからない時がありますか”が「はい」の場合、また、“イ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか”が「いいえ」の場合に、認知機能のリスクがみられることとなります。

結果として、“ア”が「はい」は7.4%、“ウ”が「はい」は15.1%、“イ”が「いいえ」は11.1%となっています。

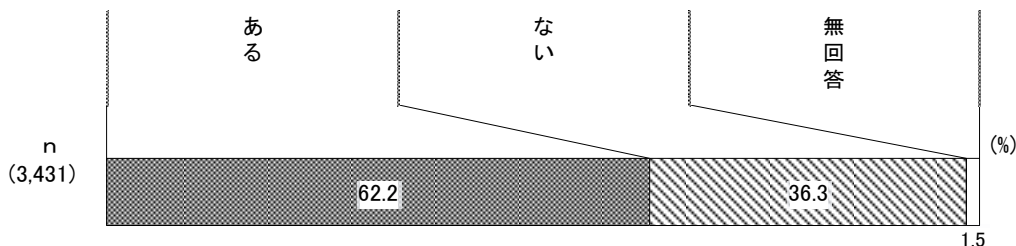


## 4 運動について

### (1) 運動の習慣

問10 あなたには、運動の習慣がありますか。(ひとつだけに○)

運動の習慣が「ある」は62.2%と高く、「ない」が36.3%となっています。

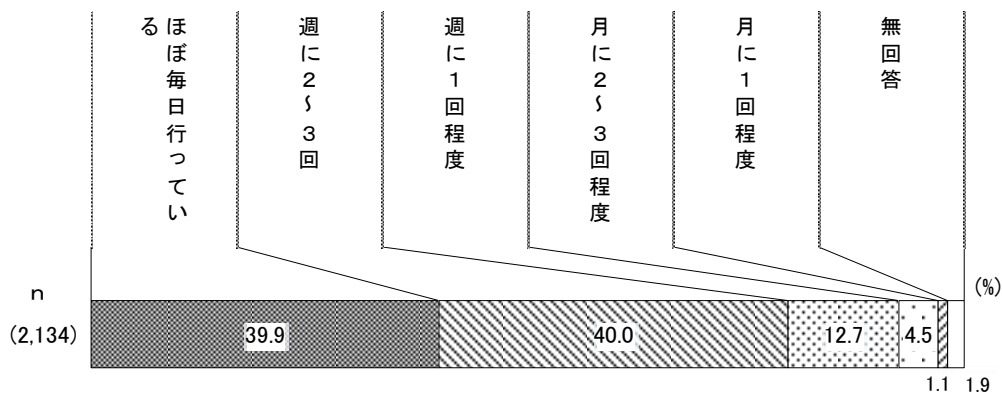


### (1-1) 運動の頻度

【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 運動の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

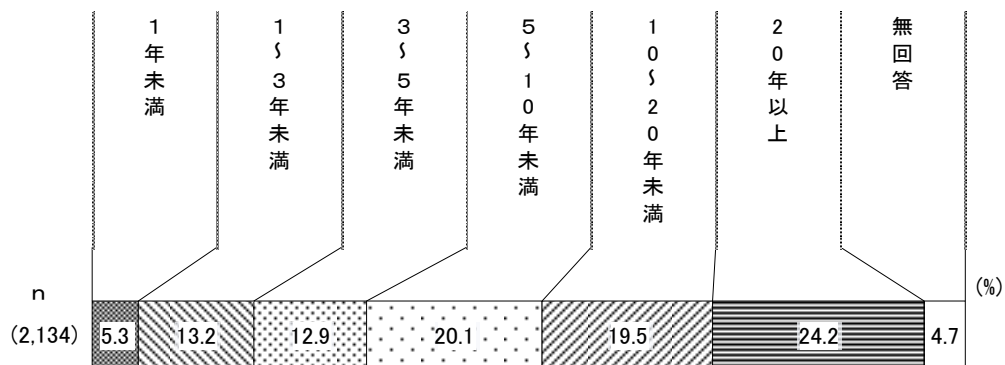
運動の習慣が「ある」と回答した方に、運動の頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日行っている」が39.9%、「週に2～3回」が40.0%とおおむね並んで高く、これらを合わせた《週に2回以上》は79.9%となります。



### (1-2) 運動の継続期間

**【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】**  
**問10-2 どのくらいの期間続けていますか。(ひとつだけに○)**

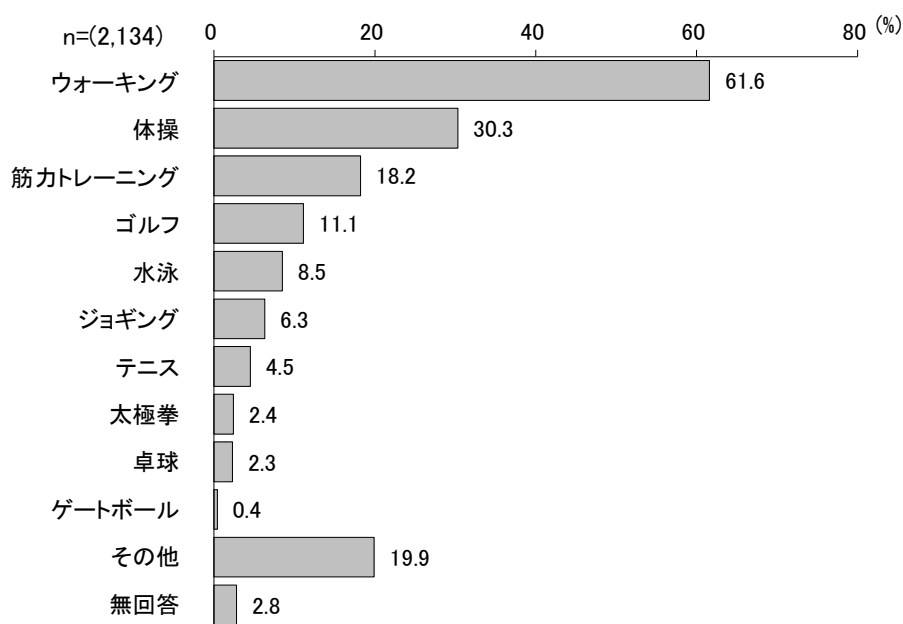
運動の習慣が「ある」と回答した方に、運動の継続期間をたずねたところ、「20年以上」が24.2%で最も高く、次いで「5～10年未満」が20.1%、「10～20年未満」が19.5%とおおむね並んでいます。



### (1-3) 運動の種類

**【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】**  
**問10-3 どのような運動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)**

運動の習慣が「ある」と回答した方に、どのような運動を行っているかたずねたところ、「ウォーキング」が61.6%で最も高く、次いで「体操」が30.3%、「筋力トレーニング」が18.2%などとなっています。

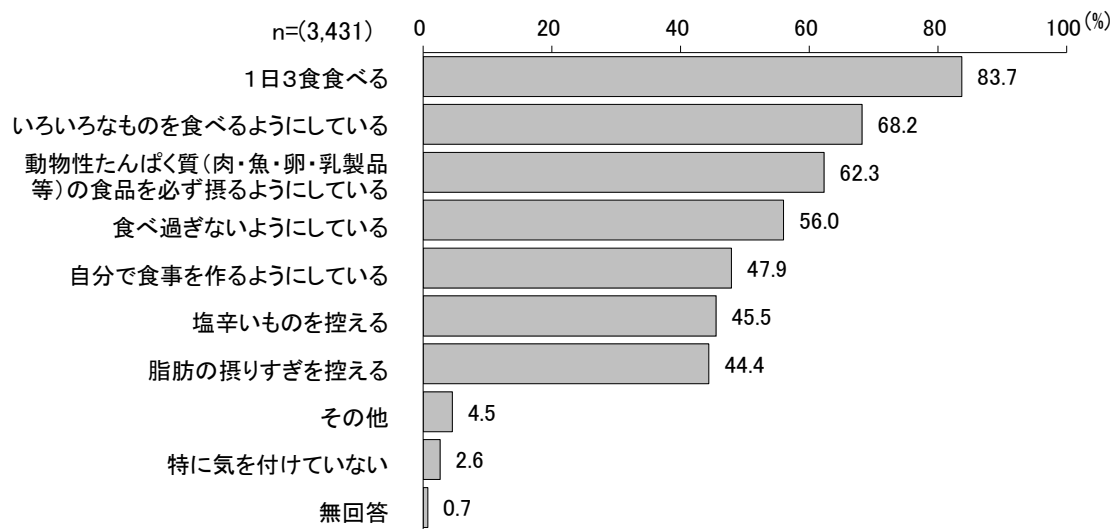


## 5 食生活や口腔について

### (1) 食事で気をつけていること

問11 あなたは、どのようなことに気をつけて食事をしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

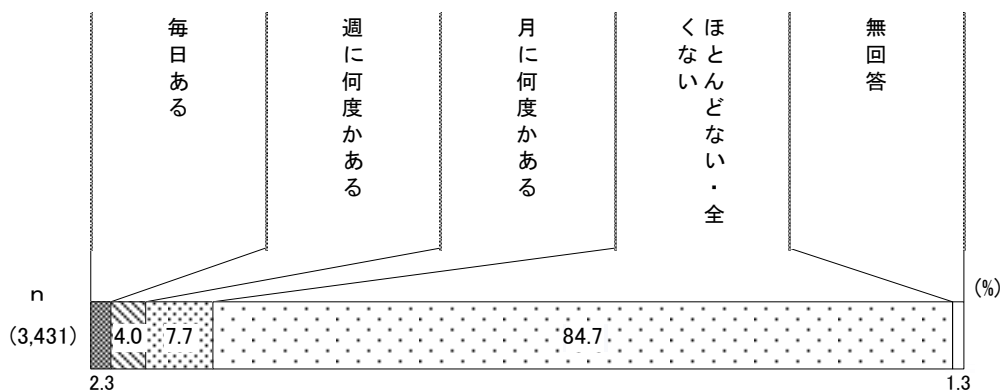
食事で気をつけていることとしては、「1日3食食べる」が83.7%が最も高く、次いで「いろいろなものを食べるようにしている」が68.2%、「動物性たんぱく質(肉・魚・卵・乳製品等)の食品を必ず摂るようにしている」が62.3%、「食べ過ぎないようにしている」が56.0%などとなっています。



### (2) 食事を抜く頻度

問12 食事を抜くことがありますか。(ひとつだけに○)

食事を抜く頻度は、「ほとんどない・全くない」が84.7%で最も高くなっています。しかし、「毎日ある」が2.3%、「週に何度かある」が4.0%みられます。



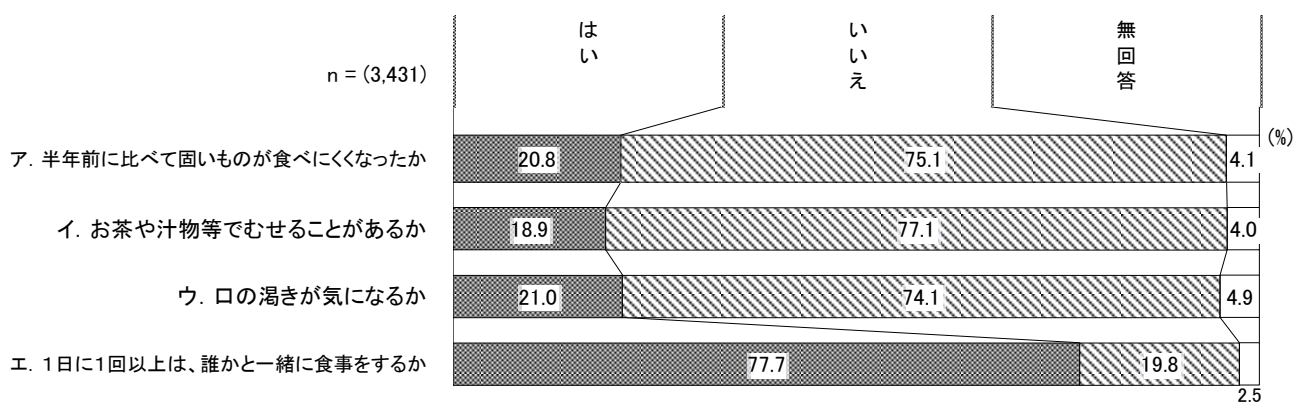
### (3) 口腔機能や食事について

問13 あなたは、食事などについて、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。  
(ひとつずつ〇)

口の健康や食事について、4つの設問をたずねました。

“ア 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか”、“イ お茶や汁物等でむせることがありますか”、“ウ 口の渇きが気になりますか”の3つは口腔機能についての設問で、いずれも「はい」が2割前後となっています。

“エ 1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか”は、孤食の状況を把握する設問で、「いいえ」が19.8%みられます。



## 6 介護予防事業について

### (1) 参加している介護予防事業

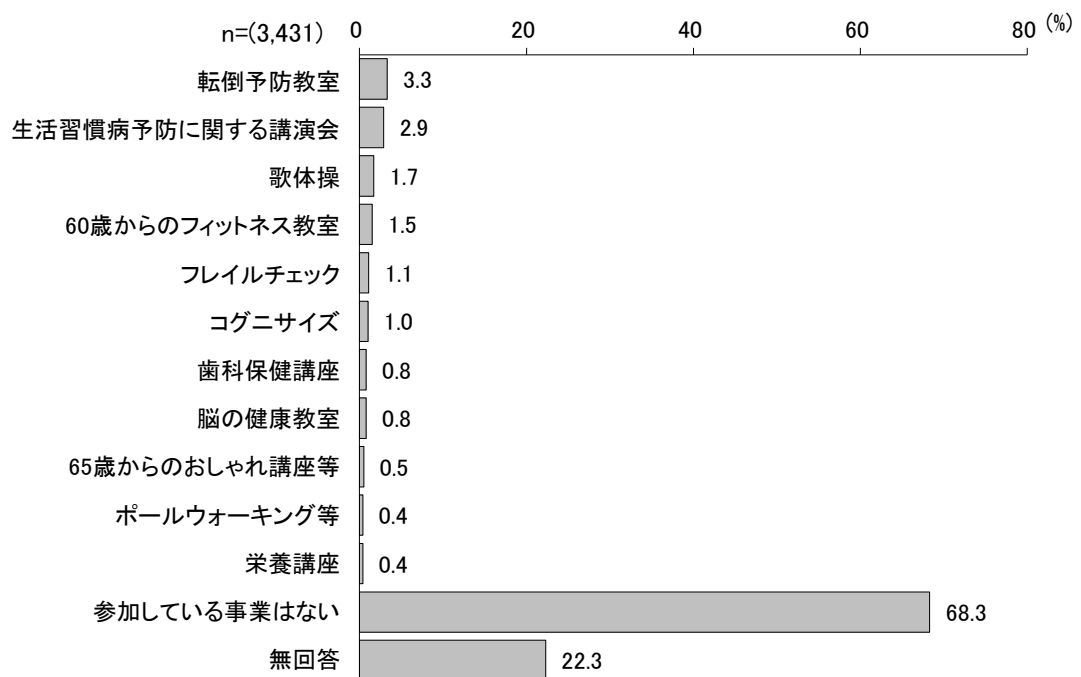
問14 茅ヶ崎市では、下記のような一般高齢者向けの介護予防事業を行っています。

(1) あなたは、現在、下記の介護予防事業に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

参加している介護予防事業では、「参加している事業がある」が9.4%で、「参加している事業はない」が68.3%と高くなっています。

参加している事業の中では、「転倒予防教室」が3.3%、「生活習慣病予防に関する講演会」が2.9%などとなっています。



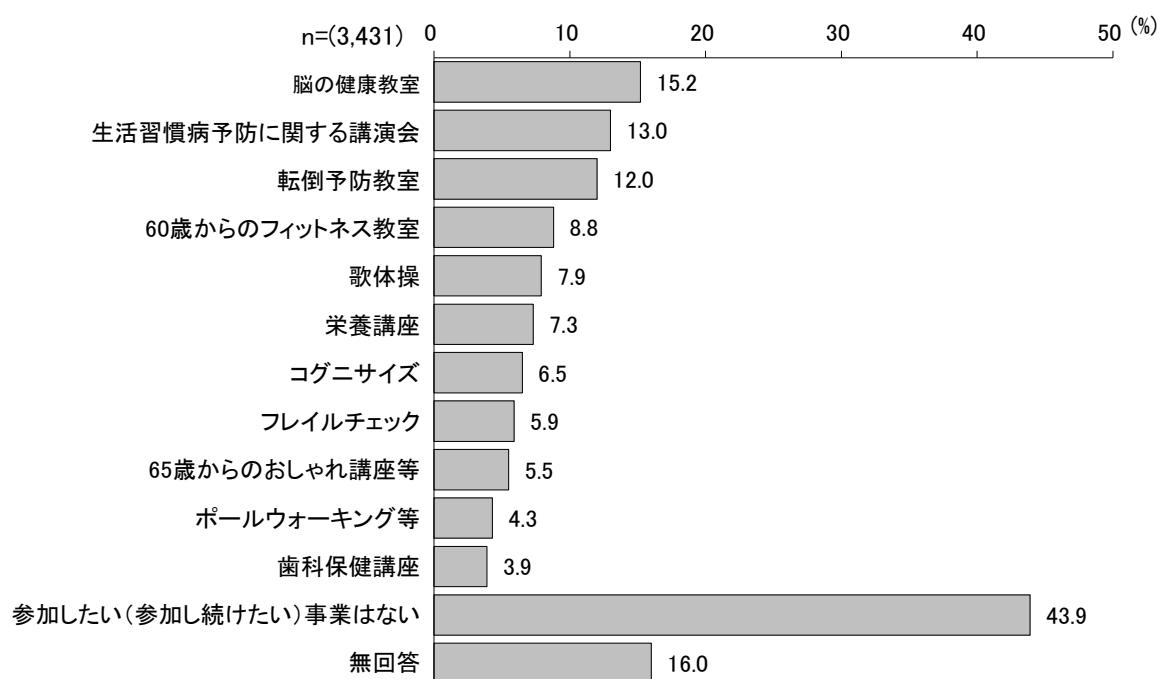
※《参加している事業がある》=100%－「参加している事業はない」－無回答

## (2) 今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業

(2) あなたは、今後、どの介護予防事業へ参加したい（参加し続けたい）と思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業では、《参加したい事業がある》は40.1%、「参加したい（参加し続けたい）事業はない」が43.9%となっています。

参加したい事業の中では、「脳の健康教室」が15.2%、「生活習慣病予防に関する講演会」が13.0%、「転倒予防教室」が12.0%となっています。



※《参加したい事業がある》=100%－「参加したい（参加し続けたい）事業はない」－無回答

### 【参加し続けたい方の割合と今後参加したい方の割合の詳細】

この設問は、問14(1)参加している介護予防事業(20ページ参照)とも関連する設問で、問14(1)の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問14(1)の回答状況を整理し、(現在も参加していて)参加し続けたい方の割合と、(現在参加していなくて)今後参加したい方の割合を、介護予防事業別に算出しました。

現在、それぞれの介護予防事業に参加していて、今後も参加し続けたい方の割合については、「脳の健康教室」が71.4%で最も高く、次いで「転倒予防教室」が67.0%、「コグニサイズ」が58.3%、「生活習慣病予防に関する講演会」が56.0%などとなっています。

○介護予防事業別でみた、現在参加していて、今後も参加し続けたい方の割合

	A	B	B/A × 100
介護予防事業	問 14 (1) 各事業を回答した人数 ＜現在の参加者＞	問 14 (2) 各事業を回答した人数	参加し続けたい方の 割合
生活習慣病予防に関する講演会	100	56	56.0
コグニサイズ	36	21	58.3
ポールウォーキング等	15	7	46.7
栄養講座	14	7	50.0
歯科保健講座	26	11	42.3
65 歳からのおしゃれ講座等	16	8	50.0
転倒予防教室	112	75	67.0
歌体操	57	28	49.1
脳の健康教室	28	20	71.4
60 歳からのフィットネス教室	53	18	34.0
フレイルチェック	39	22	56.4

現在、それぞれの介護予防事業には参加していないが、今後参加したい方の割合については、「脳の健康教室」が27.8%で最も高く、次いで「生活習慣病予防に関する講演会」が19.3%、「転倒予防教室」が18.5%などとなっています。

○介護予防事業別でみた、現在参加していなくて、今後参加したい方の割合

	C	D	D/C × 100
介護予防事業	問 14 (1) 各事業を 回答しなかった人数 ＜現在の未参加者＞	問 14 (2) 各事業を回答した人数	参加したい方の 割合
生活習慣病予防に関する講演会	223	43	19.3
コグニサイズ	287	47	16.4
ポールウォーキング等	308	24	7.8
栄養講座	309	47	15.2
歯科保健講座	297	27	9.1
65 歳からのおしゃれ講座等	307	36	11.7
転倒予防教室	211	39	18.5
歌体操	266	44	16.5
脳の健康教室	295	82	27.8
60 歳からのフィットネス教室	270	25	9.3
フレイルチェック	284	15	5.3

※各事業を回答しなかった人数は、1つひとつの介護予防事業について、全体の人数－「その介護予防事業に参加している人数」－「参加している事業はない」－無回答により算出しています。

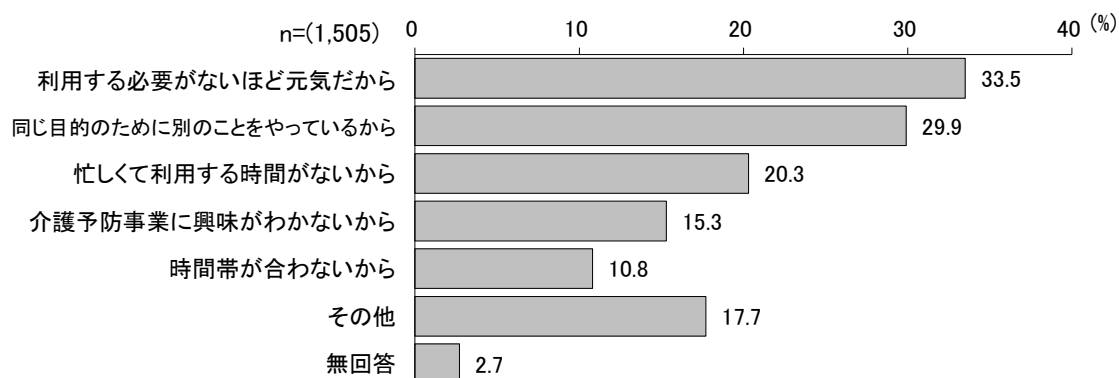


## (2-1) 参加したい事業はない理由

【問14(2)で「12. 参加したい(参加し続けたい)事業はない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、参加したい(参加し続けたい)介護予防事業で、「参加したい(参加し続けたい)事業はない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「利用する必要があるほど元気だから」が33.5%で最も高く、次いで「同じ目的のために別のことをやっているから」が29.9%、「忙しくて利用する時間がないから」が20.3%などとなっています。

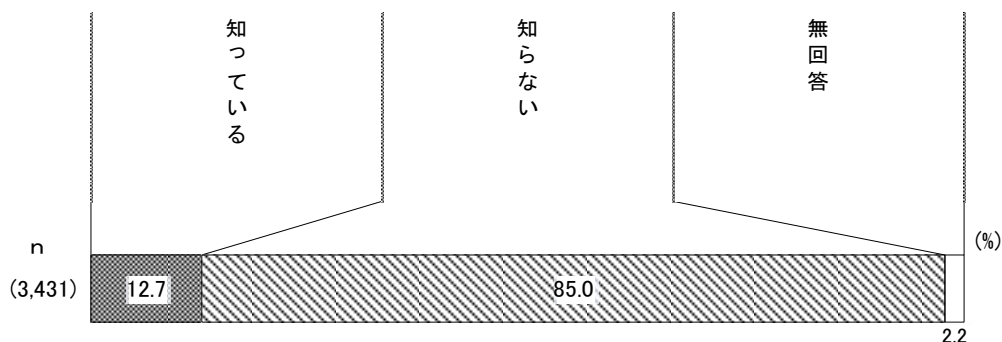


### (3) ちがさき体操の認知度

問15 あなたはちがさき体操を知っていますか。(ひとつだけに○)

※ちがさき体操は、茅ヶ崎の特徴を取り入れた介護予防、健康づくりの体操

ちがさき体操を「知っている」が12.7%で、「知らない」が85.0%と高くなっています。

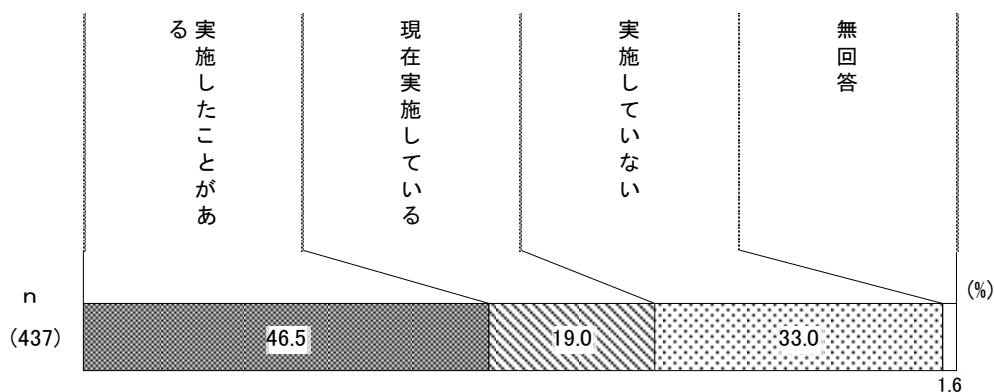


#### (3-1) ちがさき体操の実施状況

【問15で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問15-1 ちがさき体操の実施状況を教えてください。(ひとつだけに○)

ちがさき体操を「知っている」と回答した方に、実施状況をたずねたところ、「実施したことがある」が46.5%で最も高く、「現在実施している」が19.0%となっています。これらを合わせた《ちがさき体操経験者》は65.5%です。一方、「実施していない」が33.0%みられます。



## 7 日常生活について

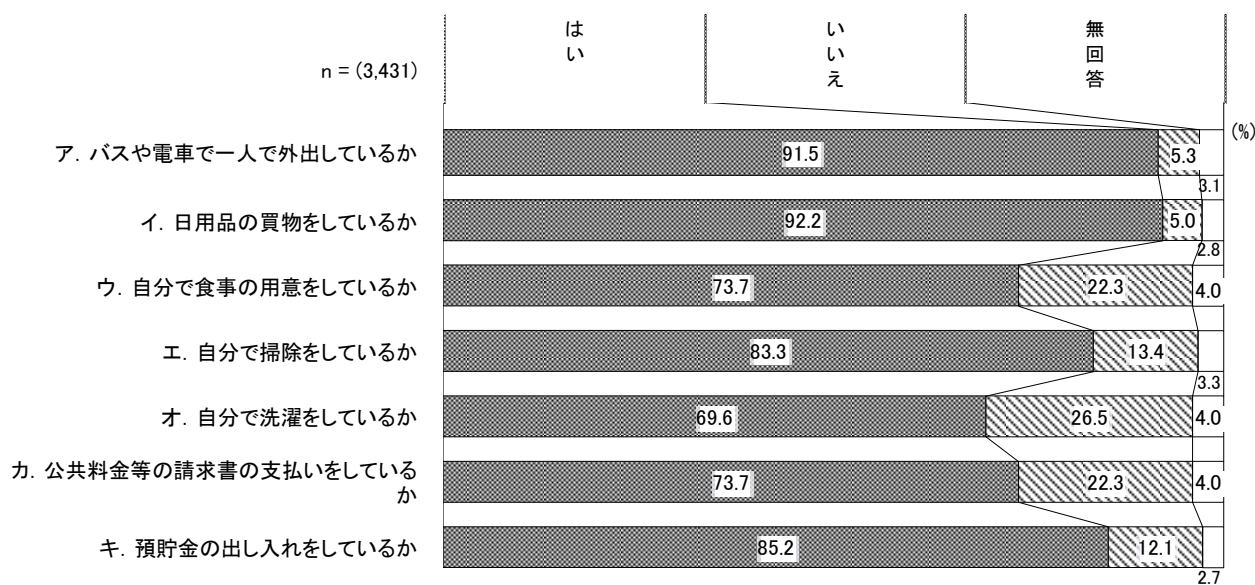
### (1) 日常生活動作

問16 あなたは、下記のようなことが一人でできますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活動作について、7つの設問をたずねました。

“ア バスや電車で一人で外出していますか”、“イ 日用品の買物をしていますか”、“ウ 自分で食事の用意をしていますか”、“カ 公共料金等の請求書の支払いをしていますか”、“キ 預貯金の出し入れをしていますか”の5つの設問は、特に、手段的日常生活動作（IADL）を把握する設問です。これらの設問で、「はい」は、“イ 日用品の買物をしていますか”が92.2%、“ア バスや電車で一人で外出していますか”が91.5%と高くなっています。一方、「いいえ」は、“ウ 自分で食事の用意をしていますか”と“カ 公共料金等の請求書の支払いをしていますか”でともに22.3%となっています。

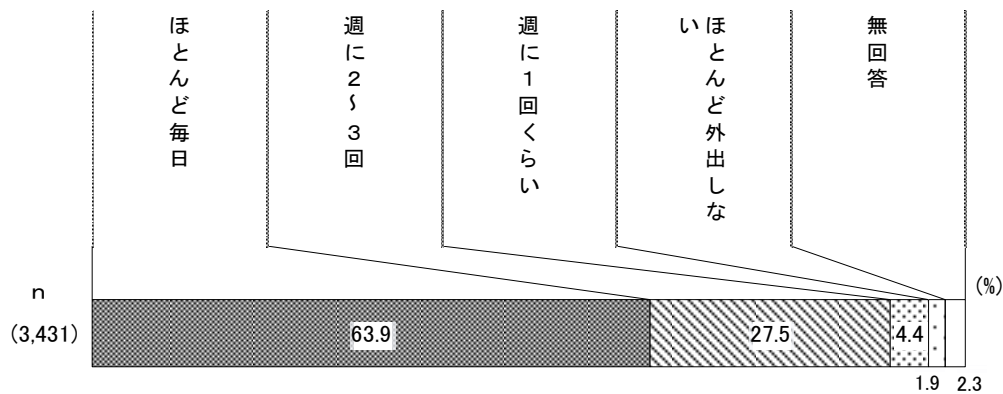
また、“エ 自分で掃除をしていますか”、“オ 自分で洗濯をしていますか”については、“オ 自分で洗濯をしていますか”で「いいえ」が26.5%となっています。



## (2) 外出頻度

問17 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。  
（ひとつだけに○）

外出頻度は、「ほとんど毎日」が63.9%で最も高く、次いで「週に2～3回」が27.5%となっています。「週に1回くらい」(4.4%)と「ほとんど外出しない」(1.9%)を合わせた《閉じこもり傾向》は6.3%です。

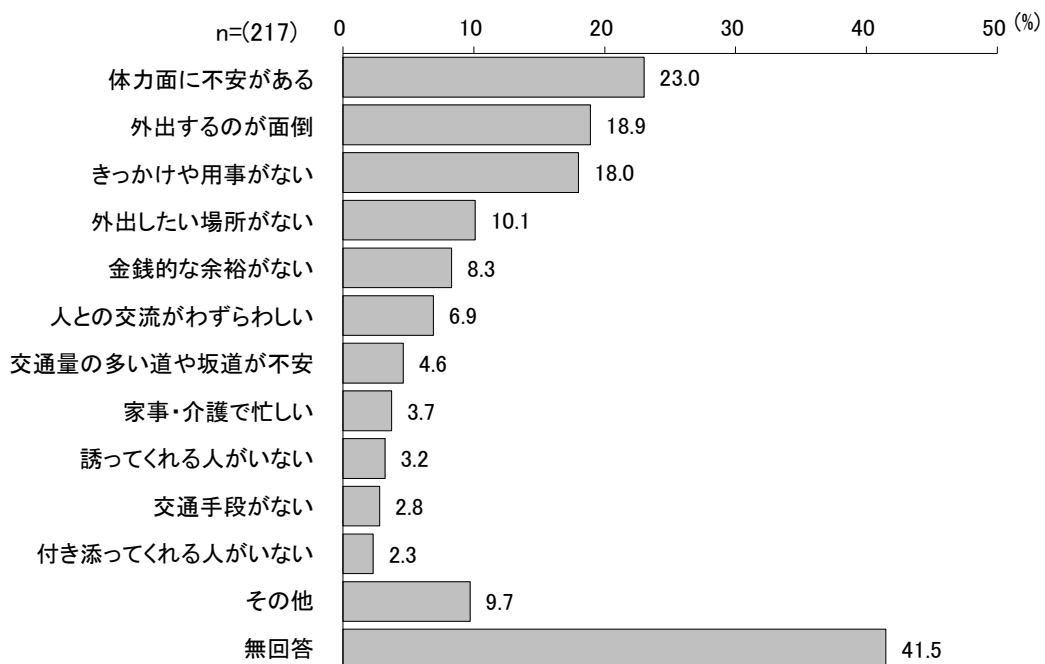


### (2-1) あまり外出しない理由

**【問17で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】**

問17-1 あまり外出しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、その理由をたずねたところ、「体力面に不安がある」が23.0%で最も高く、次いで「外出するのが面倒」が18.9%、「きっかけや用事がない」が18.0%などとなっています。

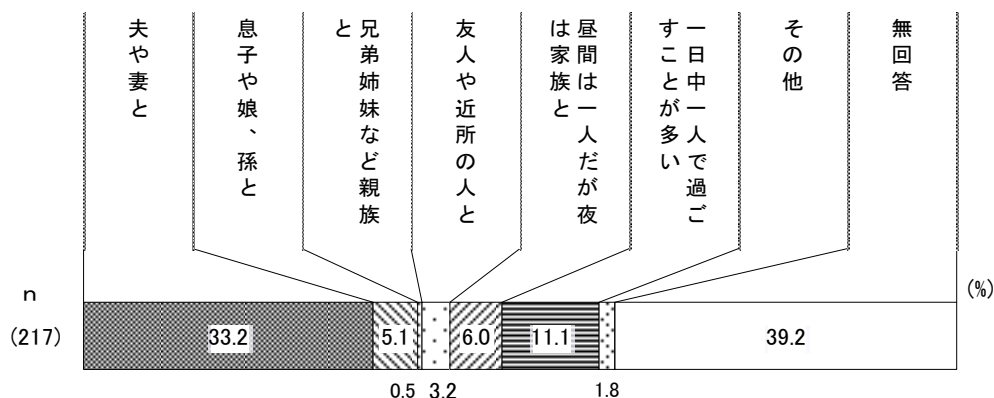


### (2-2) 外出しない日に過ごすことが多い人

【問17で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問17-2 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、外出しない日に過ごすことが多い人をたずねたところ、「夫や妻と」が33.2%で最も高くなっています。一方、「一日中一人で過ごすことが多い」が11.1%みられます。

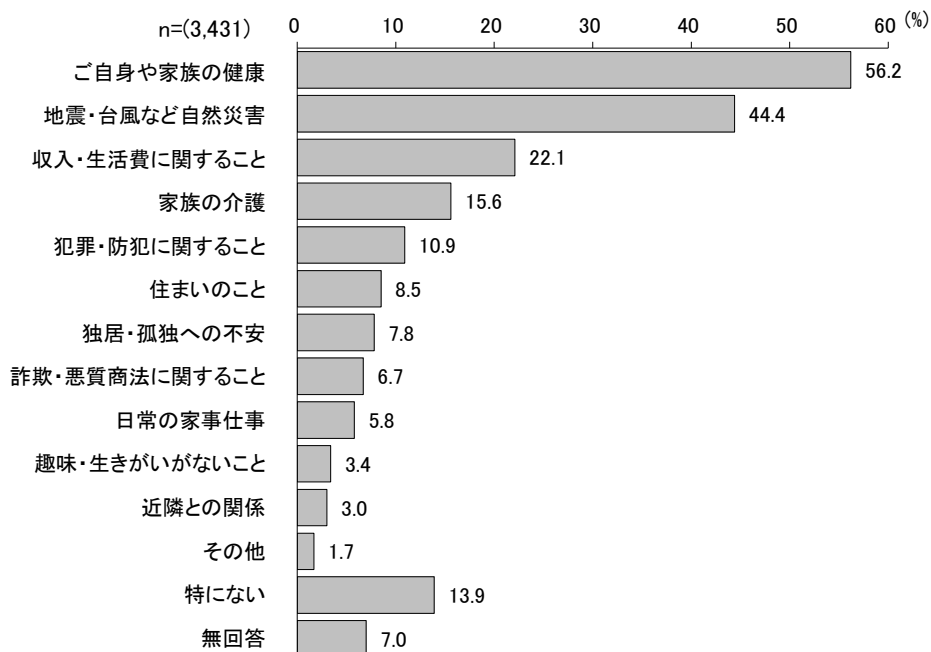


### (3) 現在のくらしで不安に思っていること

問18 現在のくらしで、不安に思っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

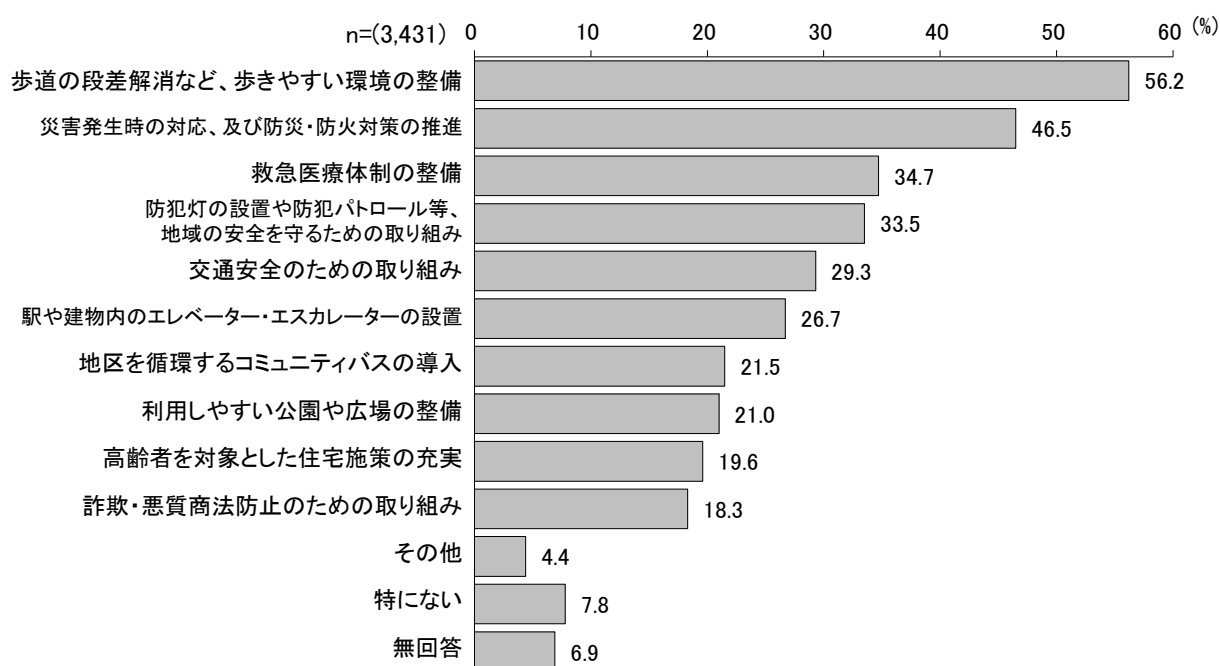
現在のくらしで不安に思っていることとしては、「ご自身や家族の健康」が56.2%で最も高く、次いで「地震・台風など自然災害」が44.4%、「収入・生活費に関すること」が22.1%などとなっています。



#### (4) 安全で安心なまちづくりで必要だと思うこと

問19 あなたは、安全で安心なまちづくりを進めるうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

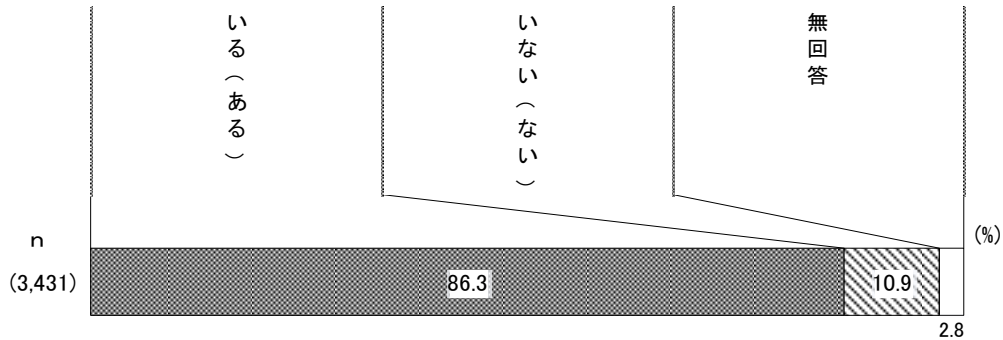
安全で安心なまちづくりで必要だと思うこととしては、「歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備」が56.2%で最も高く、次いで「災害発生時の対応、及び防災・防火対策の推進」が46.5%、「救急医療体制の整備」が34.7%、「防犯灯の設置や防犯パトロール等、地域の安全を守るための取り組み」が33.5%などとなっています。



(5) 悩みや心配ごとを相談できる人や場所の有無

問20 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人や相談できる場所がありますか。  
(ひとつだけに○)

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が、「いる(ある)」は86.3%と高くなっていますが、「いない(ない)」が10.9%みられます。

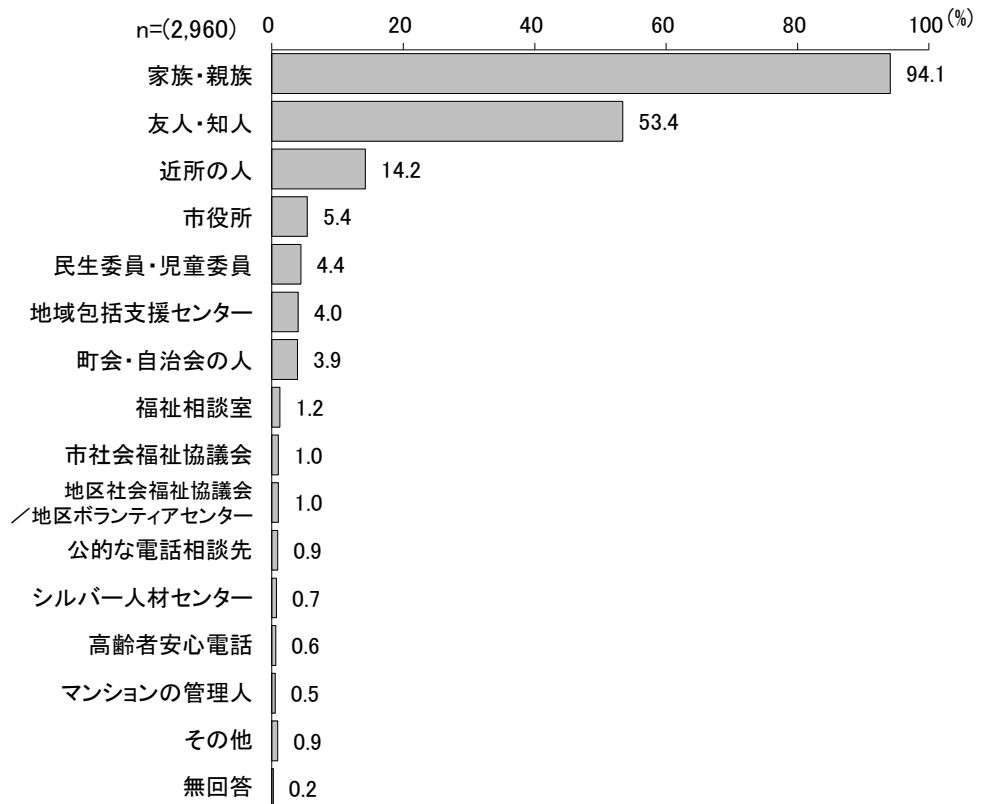


(5-1) 悩みや心配ごとの相談先

【問20で「1. いる(ある)」に○をつけた方におたずねします。】

問20-1 それは誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が「いる(ある)」と回答した人に、その相談先をたずねたところ、「家族・親族」が94.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が53.4%となっています。このほか、「近所の人」が14.2%、「市役所」が5.4%、「民生委員・児童委員」が4.4%、「地域包括支援センター」が4.0%、「町会・自治会の人」が3.9%などとなっています。

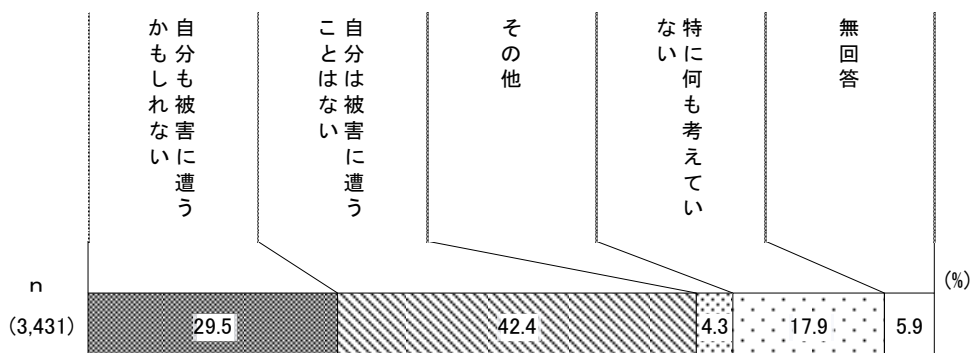


## 8 日常生活について

### (1) 振り込め詐欺に対する考え

問21 あなたは、振り込め詐欺についてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

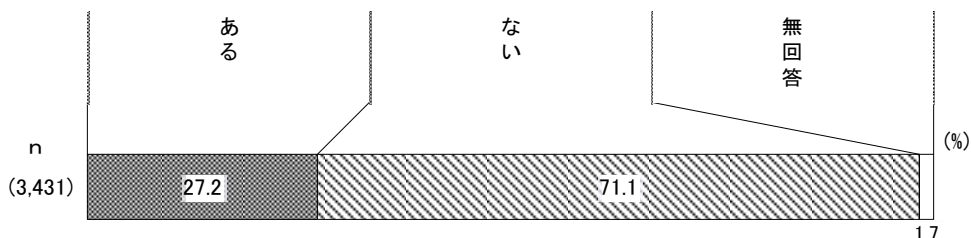
振り込め詐欺について、「自分は被害に遭うことはない」が42.4%で最も高くなっています。また、「特に何も考えていない」が17.9%みられます。



### (2) 振り込め詐欺等の電話を受けた経験

問22 あなたは、振り込め詐欺や還付金詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。(ひとつだけに○)

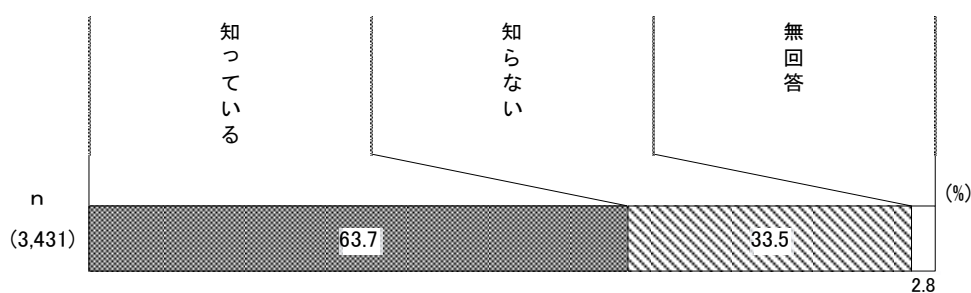
振り込め詐欺等の電話を受けた経験が「ある」は27.2%となっています。



### (3) 振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識

問23 振り込め詐欺の犯人は、留守番電話に自分の声を残すことは稀ですが、振り込め詐欺に留守番電話が有効であることを知っていますか。(ひとつだけに○)

振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることを、「知っている」は63.7%と高くなっていますが、「知らない」が33.5%みられます。

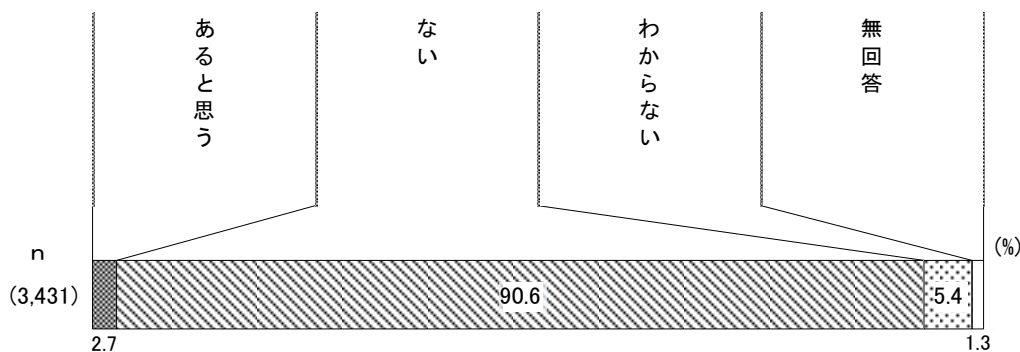




(4) 公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて

問24 市役所等の公的機関が保険料や医療費の還付（お金が戻ってくる）があることを電話で知らせたりすることがあると思いますか。（ひとつだけに○）

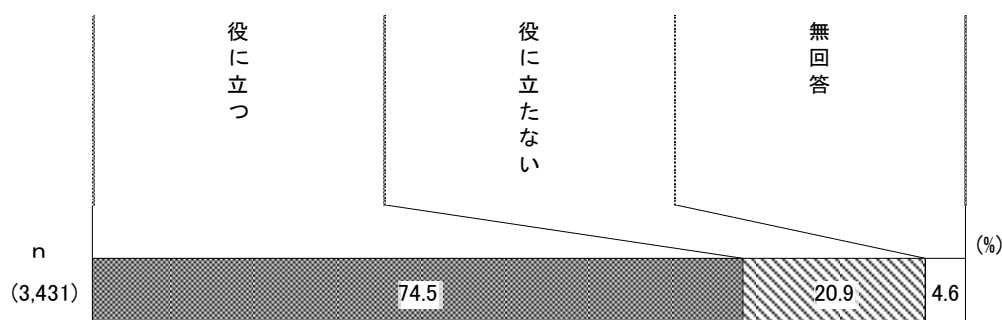
公的機関が還付金について電話で知らせたりすることが、「ない」が90.6%と高くなっていますが、「あると思う」が2.7%みられます。



(5) 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の役立ち度

問25 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の放送についておたずねします。役に立ちますか。（ひとつだけに○）

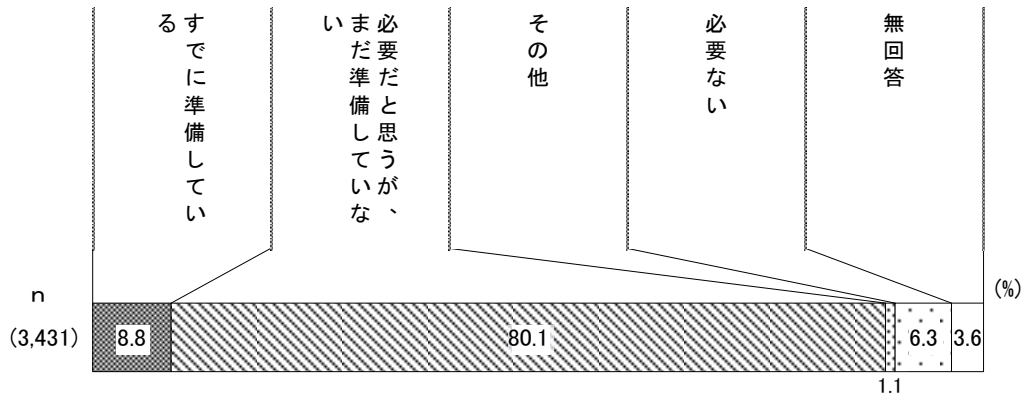
防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起は、「役に立つ」が74.5%で高く、「役に立たない」が20.9%となっています。



(6) 自分らしい最期を迎えるための準備

問26 あなたは自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。  
(ひとつだけに○)

自分らしい最期を迎えるための準備については、「すでに準備している」が8.8%で、「必要だと思うが、まだ準備していない」が80.1%と高くなっています。

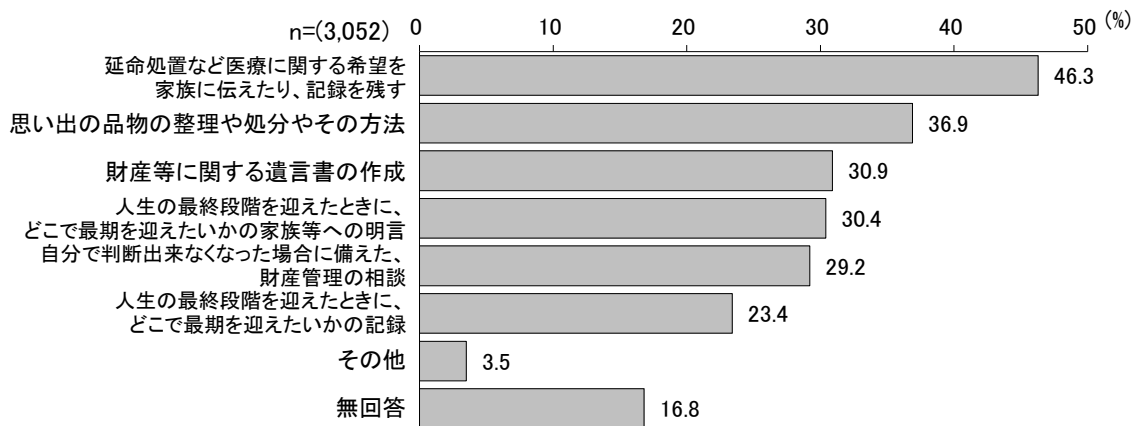


(6-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備

【問26で「1. すでに準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問26-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

自分らしい最期を迎えるために「すでに準備している」、「必要だと思うが、まだ準備していない」と回答した方に、必要だと思う準備をたずねたところ、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が46.3%で最も高く、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が36.9%となっています。



### 【自分らしい最期を迎えるための準備の現状別にみた割合の詳細】

この設問は、問26自分らしい最期を迎えるための準備（32ページ参照）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問26の回答状況を掛け合わせることで、すでに準備している方と、まだ準備していない方の必要だと思う準備の割合を算出しました。

その結果、すでに準備している方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が50.5%で最も高く、次いで「財産等に関する遺言書の作成」が40.9%などとなっています。一方、まだ準備していない方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が45.9%で最も高いのは、すでに準備している方と同様ですが、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が37.1%となっています。

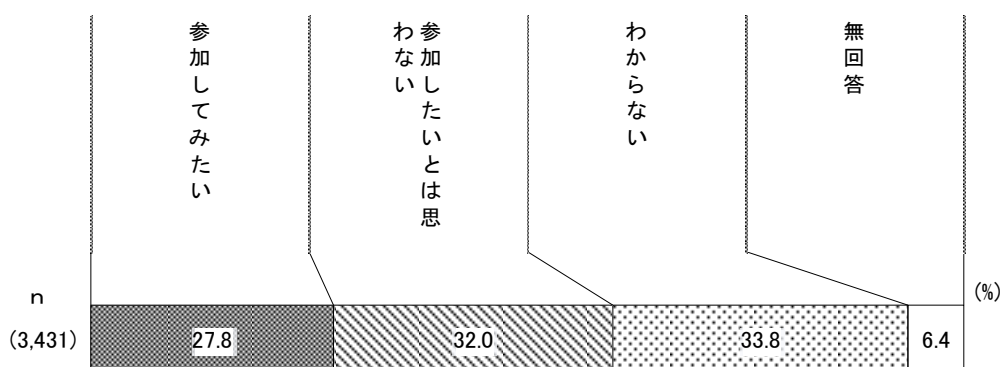
すでに準備している方とまだ準備していない方で大きく違うのは、「財産等に関する遺言書の作成」で、すでに準備している方が約11ポイント高くなっています。

	n	録希望を 残す	延命処 置など 家族に 伝え たり 関 する 記 録	や思 その 出 方 法	成財 産等 に 関 する 遺 言 書 の 作 成	いき か の 家 族 等 へ の 明 言	人 生 の 最 終 段 階 を 迎 え た と	相 場 合 に 備 え た 、 来 な く な る 財 産 管 理 の た	い か の 記 録	人 生 の 最 終 段 階 を 迎 え た と	そ の 他	無 回 答
全 体	3,052	46.3	46.3	36.9	30.9	30.4	29.2	23.4	3.5	16.8		
すでに準備している	303	50.5	50.5	35.6	40.9	32.3	23.4	22.8	7.6	6.6		
必要だと思うが、まだ準備していない	2,749	45.9	45.9	37.1	29.8	30.2	29.9	23.5	3.0	18.0		

### (7) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向

問27 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノートや家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。(ひとつだけに○)

自分らしい最期を迎えるために具体的に考えがある機会に、「参加してみたい」が27.8%、「参加したいとは思わない」が32.0%、「わからない」が33.8%と、それぞれの意向がおおむね並んでいます。



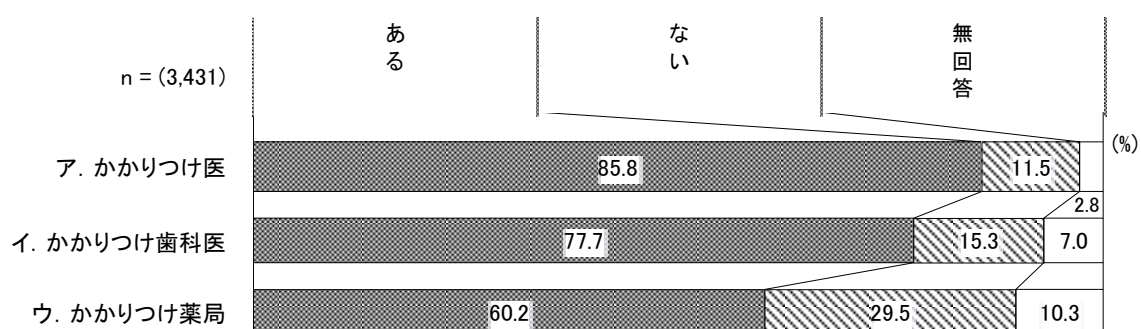
(8) かかりつけの医療機関の有無

問28 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。  
(ひとつずつ○)

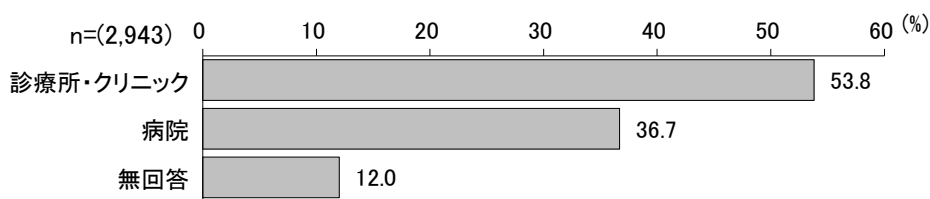
また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

かかりつけの医療機関について、「ある」は、“ア かかりつけ医”が85.8%で最も高く、次いで“イ かかりつけ歯科医”が77.7%、“ウ かかりつけ薬局”が60.2%となっています。



“ア かかりつけ医”が「ある」と回答した方に、医療機関の種類をたずねたところ、「診療所・クリニック」が53.8%、「病院」が36.7%となっています。



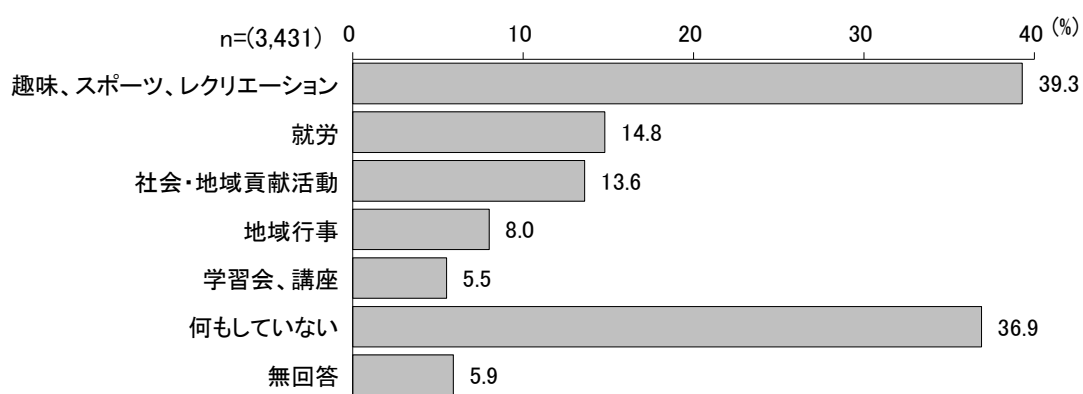
## 9 社会参加について

### (1) 社会参加の状況

問29 あなたの社会参加の状況や今後の意向についておたずねします。

(1) あなたは、現在、下記のような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

社会参加の状況では、「活動をしている」が57.2%で、「何もしていない」が36.9%となっています。活動している中では、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が39.3%で最も高く、次いで「就労」が14.8%、「社会・地域貢献活動」が13.6%などとなっています。



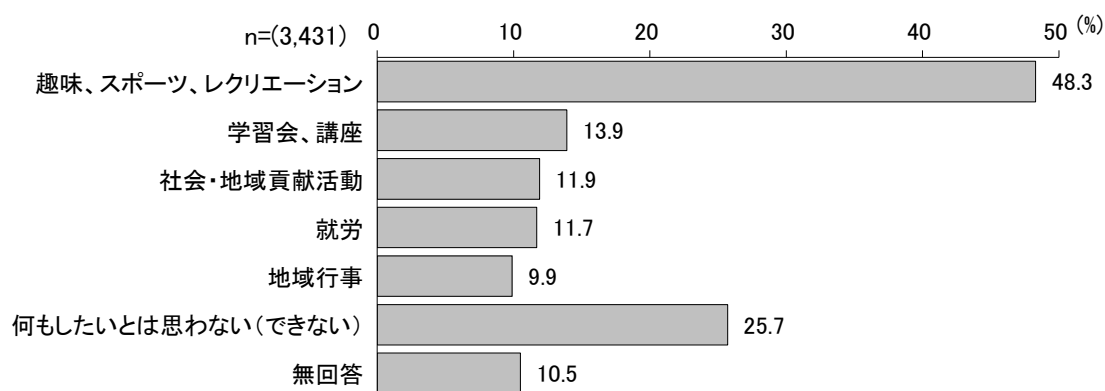
※《活動をしている》=100%－「何もしていない」－無回答

## (2) 社会参加の今後の意向

(2) あなたは、今後、どのような活動をしたい(活動をし続けたい) と思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向では、《今後活動したい(活動をし続けたい) ことがある》が63.8%で、「何もしたいとは思わない(できない)」が25.7%となっています。

今後活動したい(活動をし続けたい) 中では、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が48.3%で最も高くなっています。このほか、「学習会、講座」が13.9%、「社会・地域貢献活動」が11.9%、「就労」が11.7%などとなっています。



※ 《今後活動したい(活動をし続けたい) ことがある》 = 100% - 「何もしたいとは思わない(できない)」 - 無回答

### 【活動をし続けたい方の割合と今後活動したい方の割合の詳細】

この設問は、問29（1）社会参加の状況（35ページ参照）とも関連する設問で、問29（1）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問29（1）の回答状況を整理し、（活動をしていて）活動し続けたい方の割合と、（現在活動してなくて）今後活動したい方の割合を、活動別に算出しました。

現在、それぞれの活動に参加していて、今後も活動し続けたい方の割合については、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が84.4%で最も高く、次いで「学習会、講座」が76.3%などとなっています。また、それ以外も活動し続けたい方の割合は5割以上です。

#### ○活動別にみた、現在活動していて、活動し続けたい方の割合

	A	B	B/A×100
活動	問29（1） 各活動を回答した人数 ＜現在の活動者＞	問29（2） 各活動を回答した人数	活動し続けたい方の 割合
趣味、スポーツ、レクリエーション	1,349	1,139	84.4
学習会、講座	190	145	76.3
地域行事	274	141	51.5
社会・地域貢献活動	468	246	52.6
就労	507	288	56.8

現在、それぞれの活動には参加していないが、今後活動したい方の割合については、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が27.6%で最も高く、次いで「学習会、講座」が13.2%などとなっています。

#### ○活動別にみた、現在活動してなくて、今後活動したい方の割合

	C	D	D/C×100
活動	問29（1） 各活動を 回答しなかった人数 ＜現在の未活動者＞	問29（2） 各活動を回答した人数	活動したい方の 割合
趣味、スポーツ、レクリエーション	615	170	27.6
学習会、講座	1,774	235	13.2
地域行事	1,690	150	8.9
社会・地域貢献活動	1,496	101	6.8
就労	1,457	48	3.3

※各活動を回答しなかった人数は、1つひとつの活動について、全体の人数－「その活動に参加している人数」－「何もしていない」－無回答により算出しています。

### (3-1) 社会参加の活動をしやすく(続けやすく)なる条件

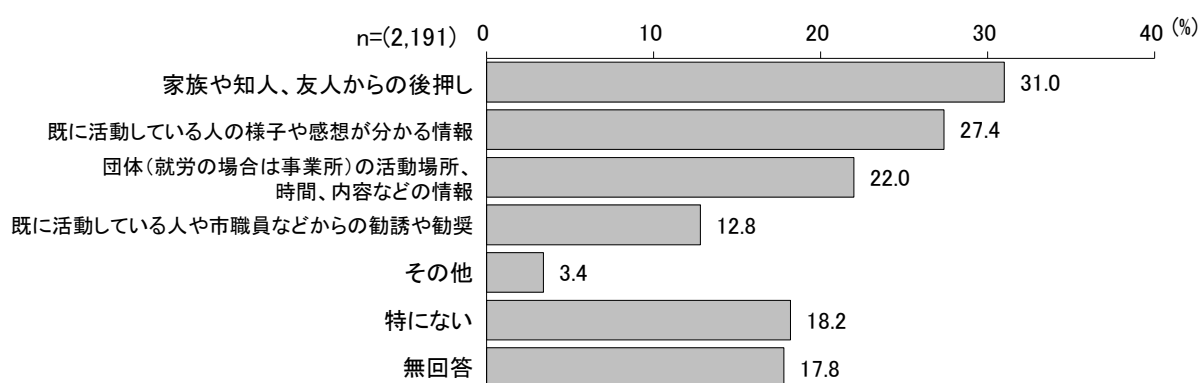
【問29(2)で「1.」～「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問29-1 何があれば、より活動をしやすく(続けやすく)なりますか。

(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向で、「趣味、スポーツ、レクリエーション」、「学習会、講座」、「社会・地域貢献活動」、「就労」、「地域行事」のいずれかを回答した方に、社会参加の活動をしやすく(続けやすく)なる条件をたずねました。

その結果、「家族や知人、友人からの後押し」が31.0%で最も高く、次いで「既に活動している人の様子や感想が分かる情報」が27.4%などとなっています。一方で、「特にない」が18.2%みられます。





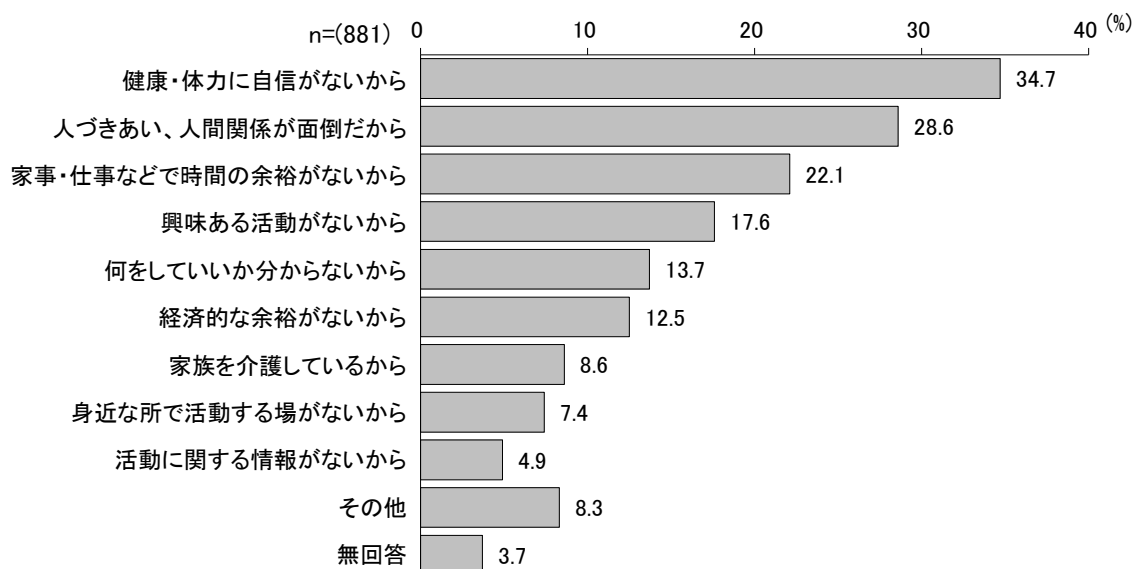
### (3-2) 活動したいとは思わない(できない)理由

【問29(2)で「6. 何もしたいとは思わない(できない)」に○をつけた方におたずねします。】

問29-2 活動をしたいとは思わない(できない)理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向で、「何もしたいとは思わない(できない)」と回答した方に、活動したいとは思わない(できない)理由をたずねたところ、「健康・体力に自信がないから」が34.7%で最も高く、次いで「人づきあい、人間関係が面倒だから」が28.6%、「家事・仕事などで時間の余裕がないから」が22.1%などとなっています。

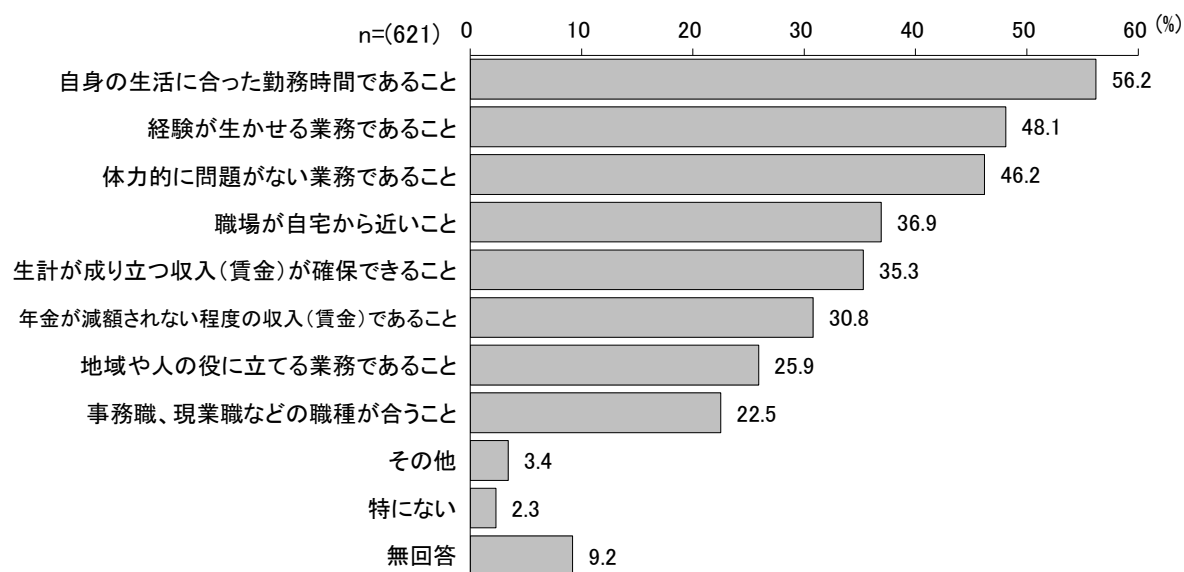


### (3-3) 就労するうえで重視すること

【問29(1)で「5. 就労」、又は、問29(2)で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29-3 就労するうえで、重視することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

社会参加の状況で「就労」と回答した方、又は社会参加の今後の意向で「就労」と回答した方に、就労するうえで重視することをたずねたところ、「自身の生活に合った勤務時間であること」が56.2%で最も高く、次いで「経験が生かせる業務であること」が48.1%、「体力的に問題がない業務であること」が46.2%などとなっています。



#### 【現在の就労状況と今後の就労意向の場合分けの分析】

この設問は、問29(1) 社会参加の状況(35ページ参照)と問29(2) 社会参加の今後の意向(36ページ参照)における、就労に焦点をあてた設問です。

問29(1)と問29(2)はそれぞれ独立した設問ですが、就労についての回答状況を場合分けして分析を行いました。場合分けの考え方は、次のとおりです。

- ・問29(1)で「就労」と回答+問29(2)でも「就労」と回答  
＝現在就労していて、今後も就労し続けたい方
- ・問29(1)でのみ「就労」を回答(問29(2)では「就労」を回答していない)  
＝現在就労していて、今後就労意向のない方
- ・問29(2)でのみ「就労」を回答(問29(1)では「就労」を回答していない)  
＝現在就労していないが、今後、就労したい方

いずれの回答状況でも、「自身の生活に合った勤務時間であること」と「経験が生かせる業務であること」が上位2項目であることは変わりません。そして、“現在就労していて、今後も就労し続けたい方”と“現在就労していて、今後就労意向のない方”では、「体力的に問題がない業務であること」が3番目に続いています。一方、“現在就労していないが、今後、就労したい方”では、「職場が自宅から近いこと」が3番目に続き、おおむね並んで「体力的に問題がない業務であること」であるなど、他の回答状況との違いがみられます。また、“現在就労していて、今後も就労し続けたい方”では、「生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること」も42.4%と4割を超えています。

(%)

	n	自身の生活に合った勤務時間であること	経験が生かせる業務であること	体力的に問題がない業務であること	職場が自宅から近いこと	生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること	年金が減額されない程度の収入（賃金）であること	地域や人の役に立てる業務であること	事務職、現業職などの職種が合うこと	その他	特になし	無回答
全体	621	56.2	48.1	46.2	36.9	35.3	30.8	25.9	22.5	3.4	2.3	9.2
現在就労していて、今後も就労し続けたい方	288	59.0	52.4	48.6	35.4	42.4	31.6	29.2	22.2	4.2	2.8	2.8
現在就労しているが、今後就労意向のない方	219	48.9	45.2	42.0	32.4	27.4	25.1	21.5	22.8	1.8	2.3	19.6
現在就労していないが、今後、就労したい方	114	63.2	43.0	48.2	49.1	32.5	39.5	26.3	22.8	4.4	0.9	5.3

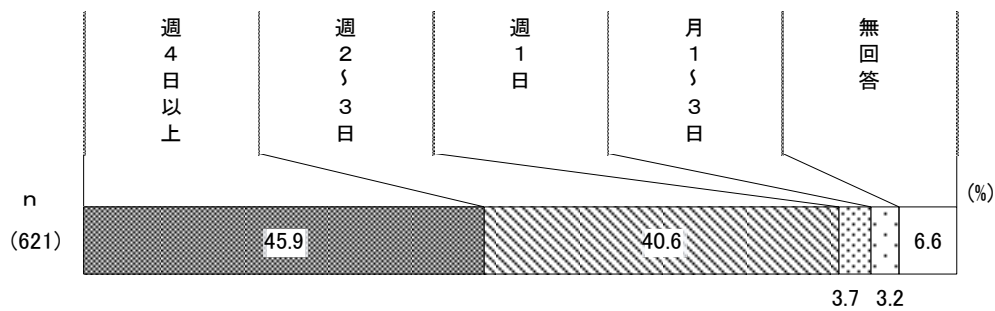
(3-4) 就労(したい)日数

【問29(1)で「5. 就労」、又は、問29(2)で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29-4 あなたは週にどれくらい仕事をしていますか(したいですか)。

(ひとつだけに○)

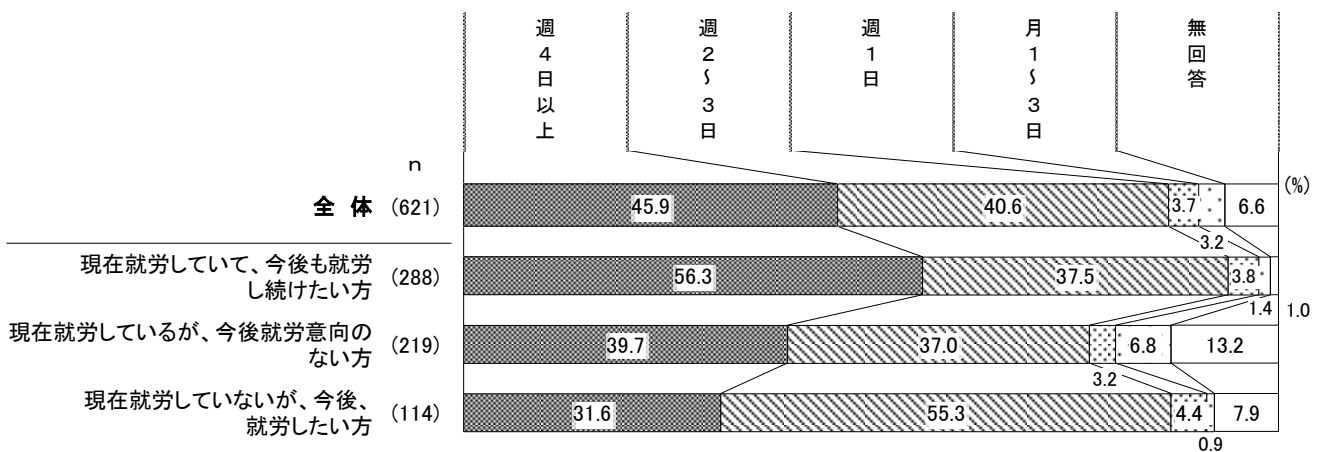
社会参加の状況で「就労」と回答した方、又は社会参加の今後の意向で「就労」と回答した方に、就労(したい)日数をたずねたところ、「週4日以上」が45.9%で最も高く、次いで「週2~3日」が40.6%となっています。



【現在の就労状況と今後の就労意向の場合分けの分析】

この設問についても、就労の回答状況の場合分けの分析を行いました(40ページ参照)。

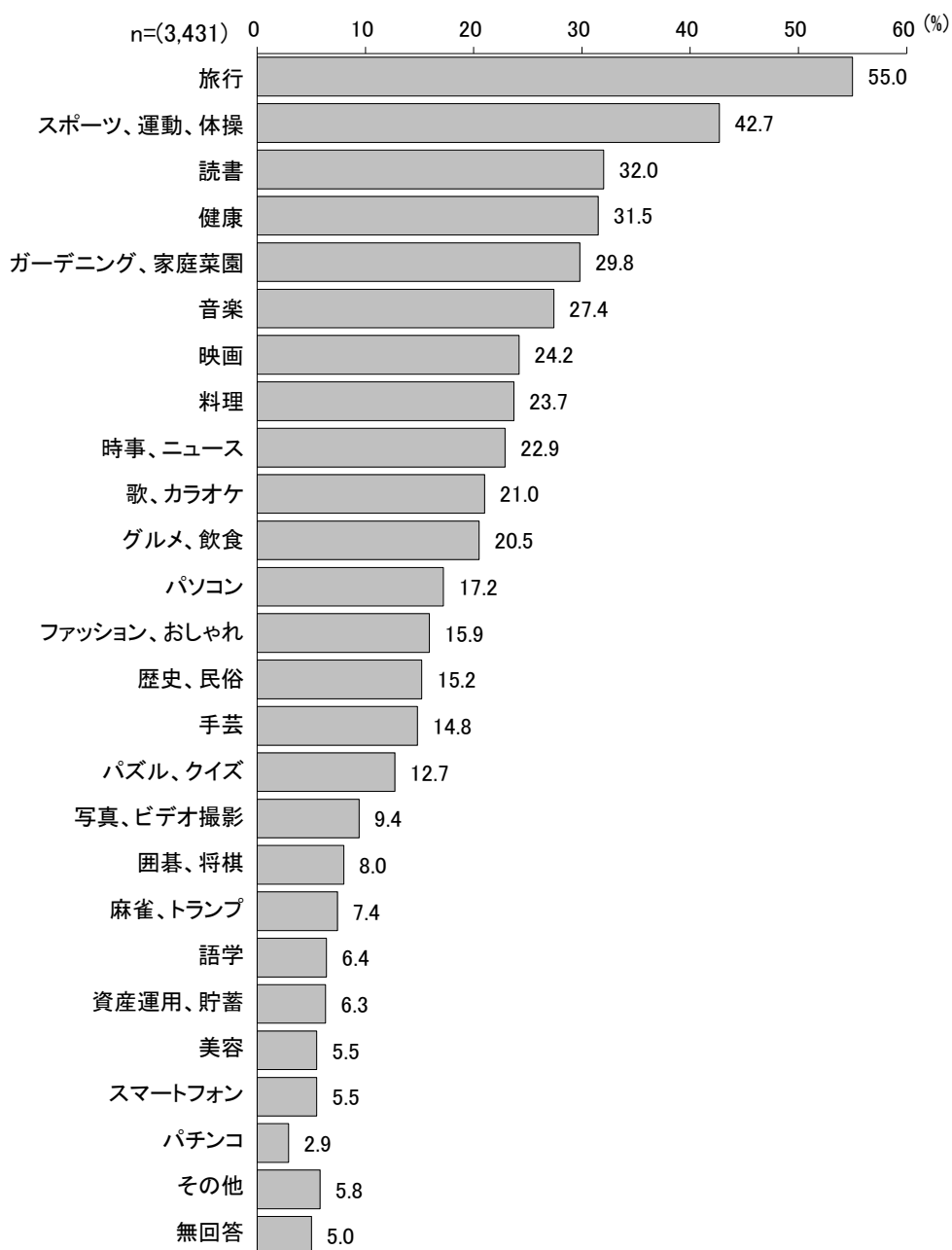
「週4日以上」は“現在就労していて、今後も就労し続けたい方”で56.3%、「週2~3日」は“現在就労していないが、今後、就労したい方”で55.3%と、それぞれ他の回答状況よりも高くなっています。



#### (4) 興味を持っていること

問30 あなたが興味を持っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

興味を持っていることとしては、「旅行」が55.0%で最も高く、次いで「スポーツ、運動、体操」が42.7%、「読書」が32.0%、「健康」が31.5%、「ガーデニング、家庭菜園」が29.8%、「音楽」が27.4%などとなっています。

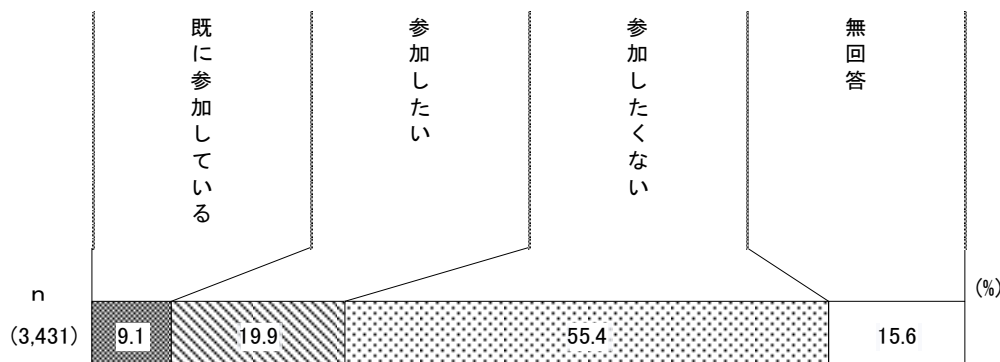


## 10 今後の「支え合い」のあり方について

### (1) 地域のボランティア活動への参加意向

問31 あなたは、地域のボランティア活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけに○)

地域のボランティア活動への参加意向では、「既に参加している」が9.1%で、「参加したい」が19.9%となっています。しかし、「参加したくない」が55.4%で最も高くなっています。

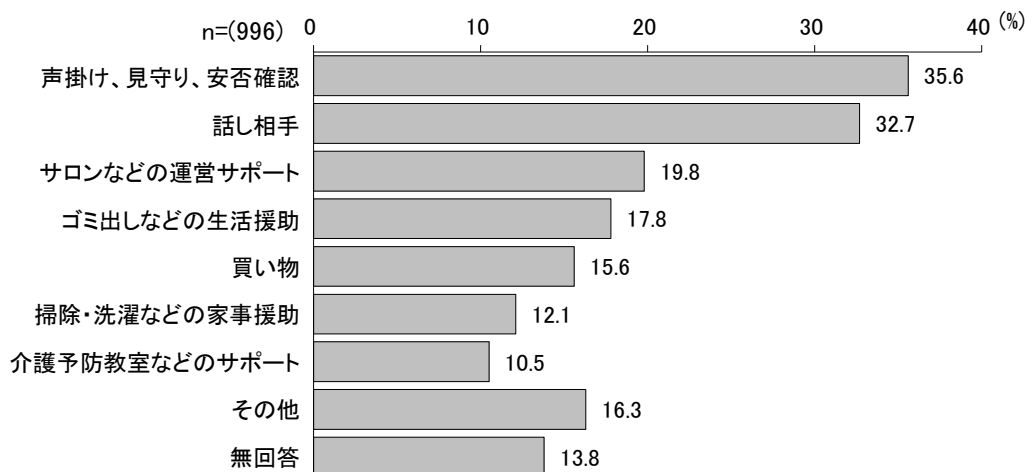


#### (1-1) ボランティア等で支える側として参加したい(している)活動

【問31で「1. 既に参加している」、又は「2. 参加したい」に○をつけた方におたずねします】

問31-1 あなたがボランティア等で「支える側」として活動したい(している)内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

地域のボランティア活動への参加意向で、「既に参加している」、又は「参加したい」と回答した方に、支える側として参加したい(している)活動をたずねたところ、「声掛け、見守り、安否確認」が35.6%で最も高く、次いで「話し相手」が32.7%となっています。このほか、「サロンなどの運営サポート」が19.8%、「ゴミ出しなどの生活援助」が17.8%、「買い物」が15.6%などと続きます。



### 【地域のボランティア活動への参加意向別にみた割合の詳細】

この設問は、問31地域のボランティア活動への参加意向（44ページ参照）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問31の回答状況を掛け合わせることによって、既に参加している方と、参加したい方の参加している、又は参加したいボランティア活動の割合を算出しました。

その結果、既に参加している方は、現状として参加している内容となりますが、「声掛け、見守り、安否確認」が26.3%、「話し相手」が23.7%などとなっています。

参加したい方の内容でも、「声掛け、見守り、安否確認」が39.9%、「話し相手」が36.8%と高くなっています。

	n	声掛け、見守り、安否確認	話し相手	サロンなどの運営サポート	ゴミ出しなどの生活援助	買い物	掃除・洗濯などの家事援助	ト介護予防教室などのサポート	その他	無回答
全体	996	35.6	32.7	19.8	17.8	15.6	12.1	10.5	16.3	13.8
既に参加している	312	26.3	23.7	20.2	9.9	7.4	9.3	4.8	42.3	12.8
参加したい	684	39.9	36.8	19.6	21.3	19.3	13.5	13.2	4.4	14.2

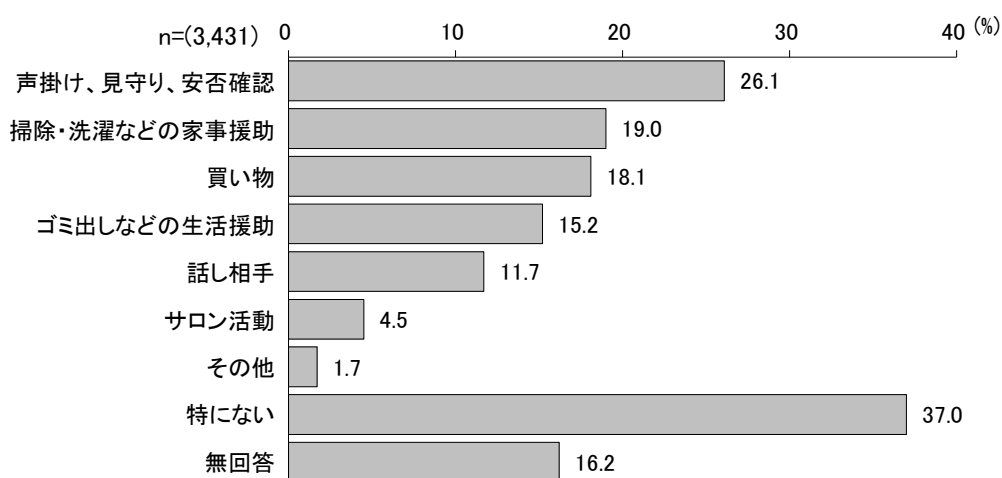
## (2) ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容

問32 あなたは将来、ボランティア等に「支えられる側」としてお願いしたいと思う内容又はボランティア等に既にお願している内容はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容では、《お願いしたい内容がある》が46.8%で、「特にない」が37.0%となっています。

お願いしたい内容の中では、「声掛け、見守り、安否確認」が26.1%で最も高く、次いで「掃除・洗濯などの家事援助」が19.0%、「買い物」が18.1%などとなっています。

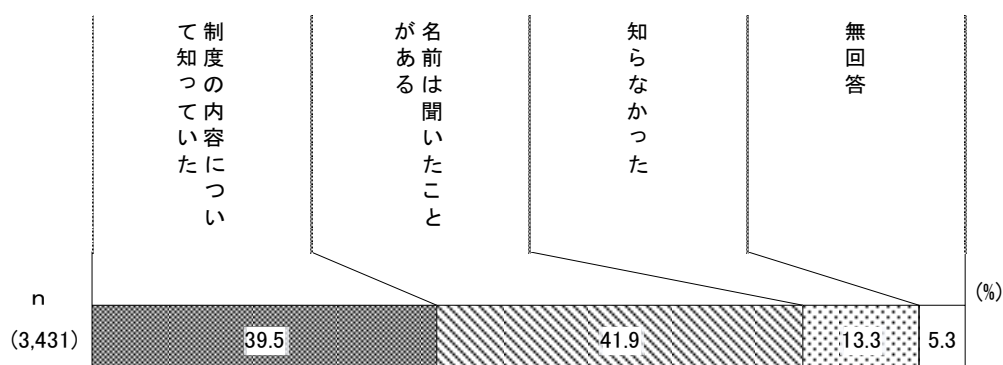


※《お願いしたい内容がある》＝100%－「特にない」－無回答

## (3) 成年後見制度の認知度

問33 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(ひとつだけに○)

成年後見制度について、「制度の内容について知っていた」が39.5%、「名前は聞いたことがある」が41.9%と、4割前後でおおむね並んでいます。これらを合わせた《知っている》は81.4%です。一方、「知らなかった」が13.3%みられます。

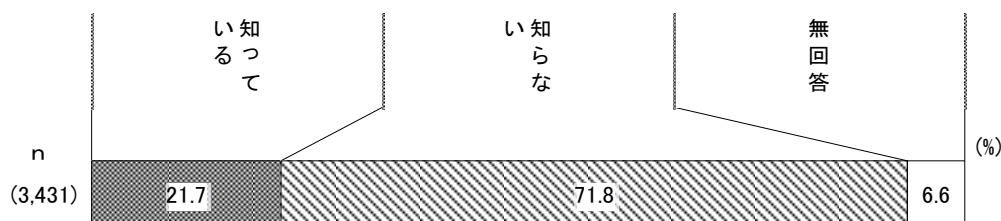




#### (4) 成年後見制度の利用・相談窓口の認知度

問34 本市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを知っていますか。  
(ひとつだけに○)

市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを、「知っている」は21.7%で、「知らない」が71.8%と高くなっています。

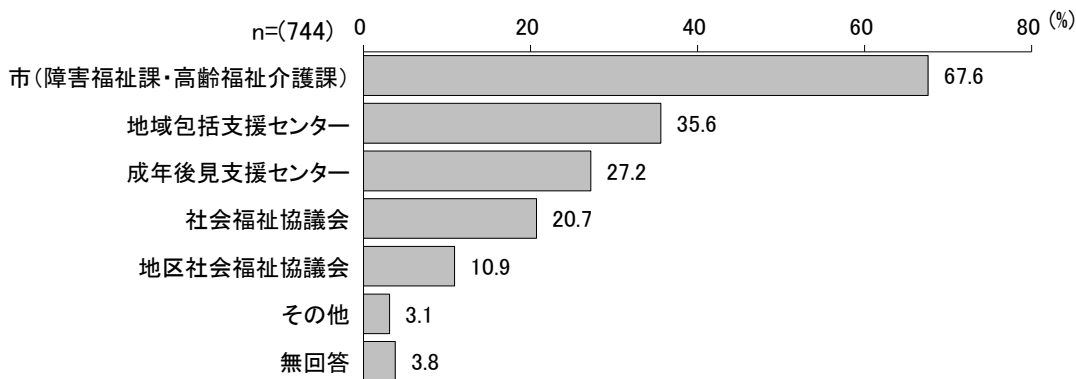


#### (4-1) 知っている相談窓口

【問34で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問34-1 あなたの知っている相談窓口はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

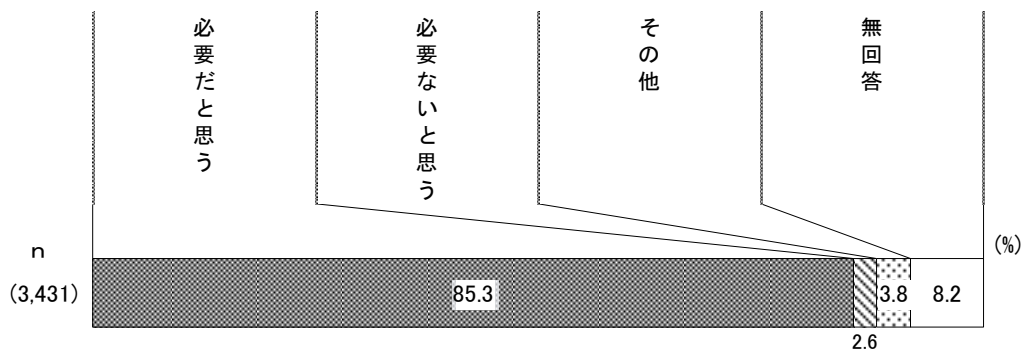
市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを、「知っている」と回答した方に、どの相談窓口を知っているかたずねたところ、「市(障害福祉課・高齢福祉介護課)」が67.6%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が35.6%、「成年後見支援センター」が27.2%などとなっています。



(5) 防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについての考え

問35 あなたは、防災無線を使って、行方不明の高齢者等を市民に呼びかけて捜していることについて、どうお考えですか。(ひとつだけに○)

防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについては、「必要だと思う」が85.3%と高くなっています。

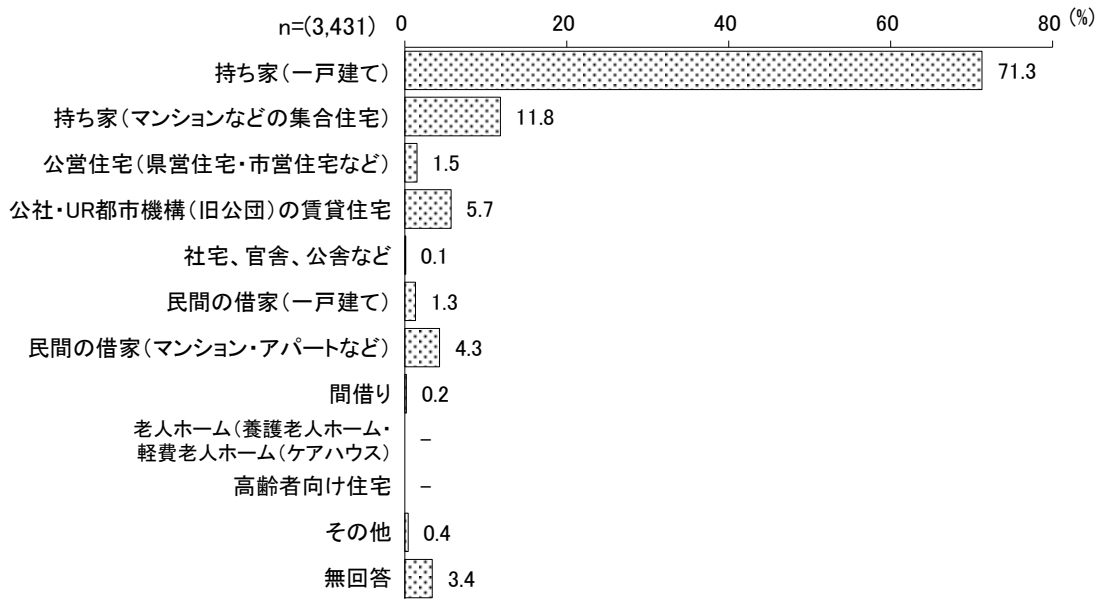


# 11 住まいについて

## (1) 住まいの種類

**問36 あなたのお住まいについておたずねします。(ひとつだけに○)**

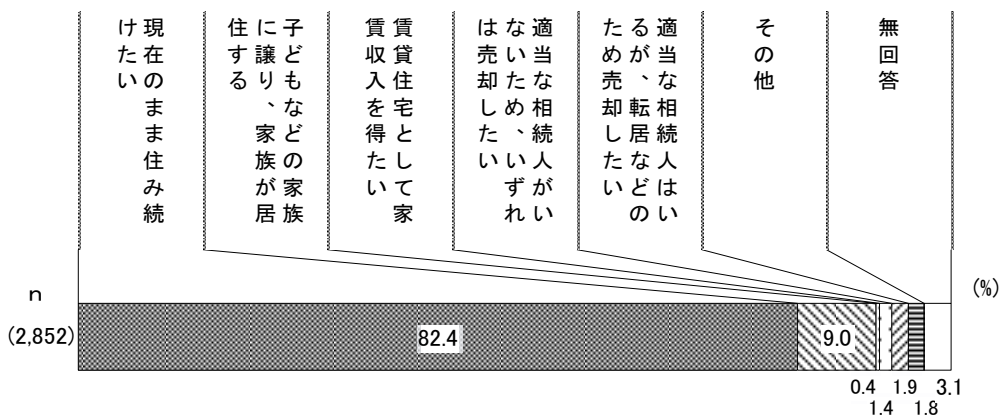
住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が71.3%で最も高く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が11.8%などとなっています。



## (1-1) 今後10年間の間の住宅の利用予定

**【問36で「1. 持ち家（一戸建て）」、「2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）」に○をつけた方におたずねします。】**  
**問36-1 今後10年間に、住宅（持ち家）はどのように利用される予定ですか。(ひとつだけに○)**

住まいの種類で、「持ち家（一戸建て）」、「持ち家（マンションなどの集合住宅）」と回答した方に、今後10年間の間の利用予定をたずねたところ、「現在のまま住み続けたい」が82.4%で最も高く、次いで「子どもなどの家族に譲り、家族が居住する」が9.0%となっています。

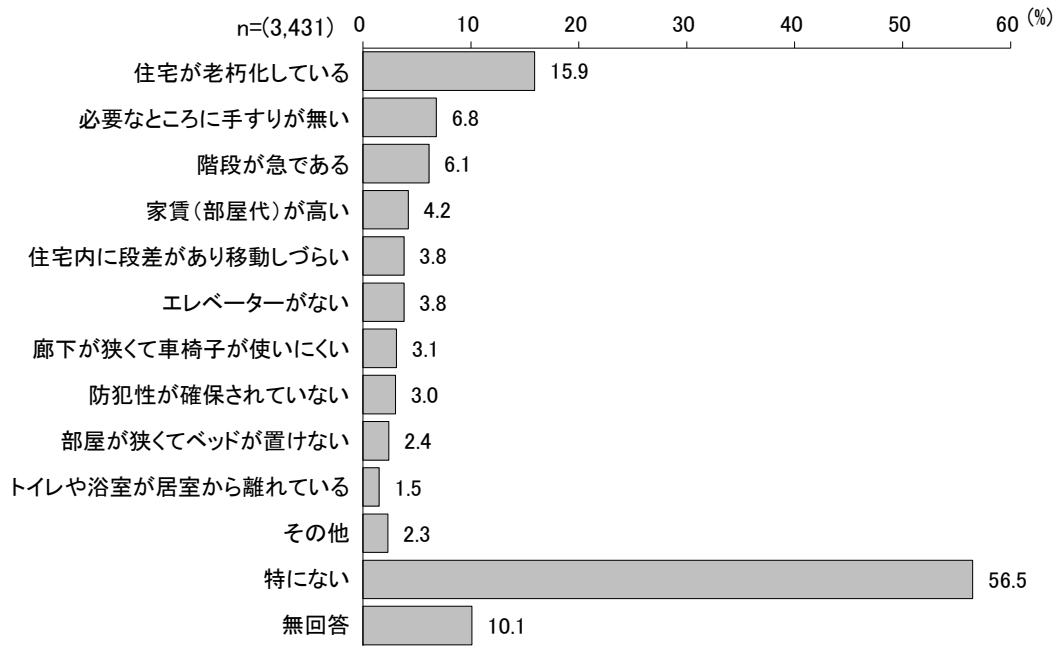


(2) 現在の住まいで困っていること

問37 あなたは、現在のお住まいで困っていることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

現在の住まいで困っていることでは、《困っていることがある》が33.4%で、「特にない」が56.5%となっています。

困っていることの中では、「住宅が老朽化している」が15.9%で最も高くなっています。

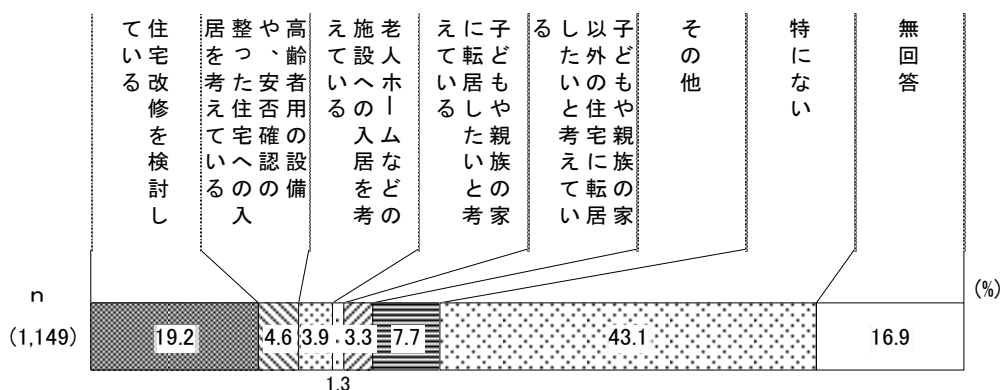


※《困っていることがある》=100%－「特にない」－無回答

(2-1) 住まいで困っていることを解消するための対策

**【問37で「1.」～「11.」に○をつけた方におたずねします。】**  
問37-1 あなたは、お住まいで困っていることを解消するため何か対策を考えていますか。(ひとつだけに○)

現在の住まいで困っているで、《困っていることがある》と回答した方に、解消するための対策を考えているかたずねたところ、「特にない」が43.1%で最も高くなっています。「住宅改修を検討している」は19.2%です。



## 12 防災について

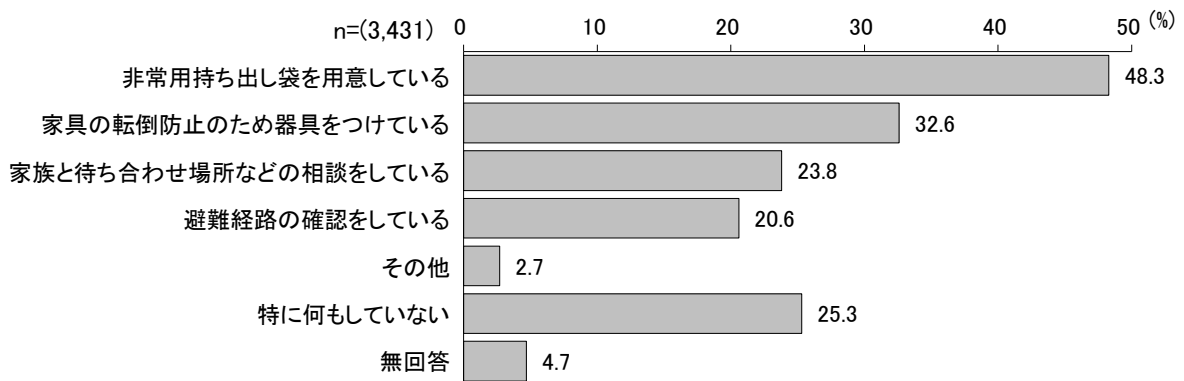
### (1) 大きな災害に備えた対策

問38 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

大きな災害に備えた対策では、《対策をしている》が70.0%で、「特に何もしていない」が25.3%となっています。

対策をしている中では、「非常用持ち出し袋を用意している」が48.3%で最も高く、次いで「家具の転倒防止のため器具をつけている」が32.6%などとなっています。



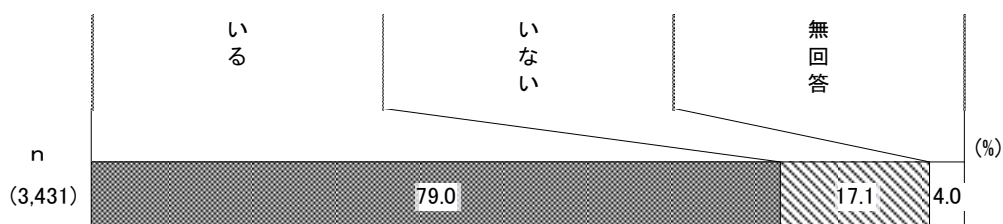
※《対策をしている》=100%－「特に何もしていない」－無回答

### (2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無

問39 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

(ひとつだけに○)

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が、「いる」が79.0%で高くなっていますが、「いない」が17.1%みられます。

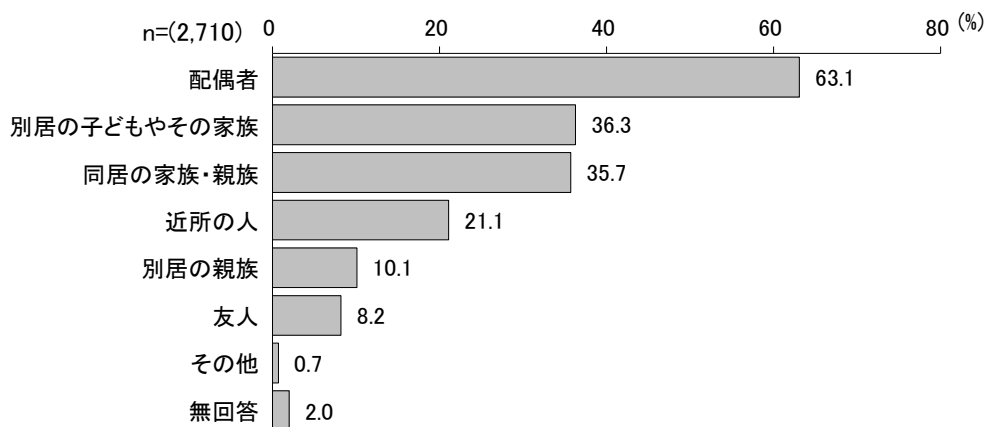


(2-1) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人

【問39で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問39-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」と回答した方に、誰が手助けしてくれるのかをたずねたところ、「配偶者」が63.1%で最も高く、次いで「別居の子どもやその家族」が36.3%、「同居の家族・親族」が35.7%などとなっています。



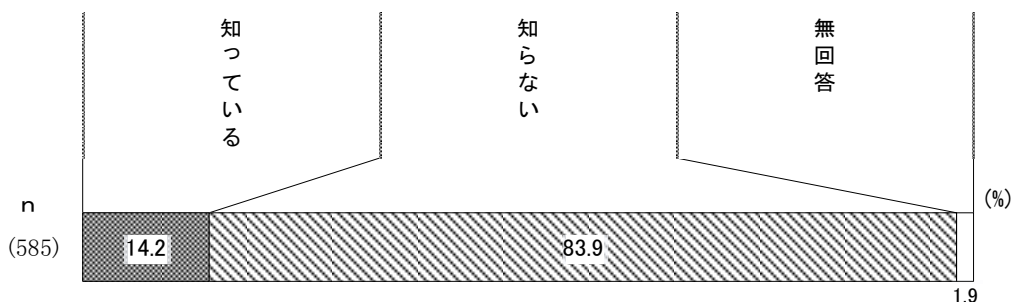
(2-2) 災害時要援護者支援制度の認知度

【問39で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

問39-2 市では、災害時要援護者支援制度という、障害者や高齢者など、日常生活の中で手助けを必要とする人に対して、災害時などに地域の中で支援を受けられるようにする制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。(ひとつだけに○)

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いない」と回答した方に、災害時要援護者支援制度の認知度をたずねたところ、「知っている」が14.2%で、「知らない」が83.9%と高くなっています。

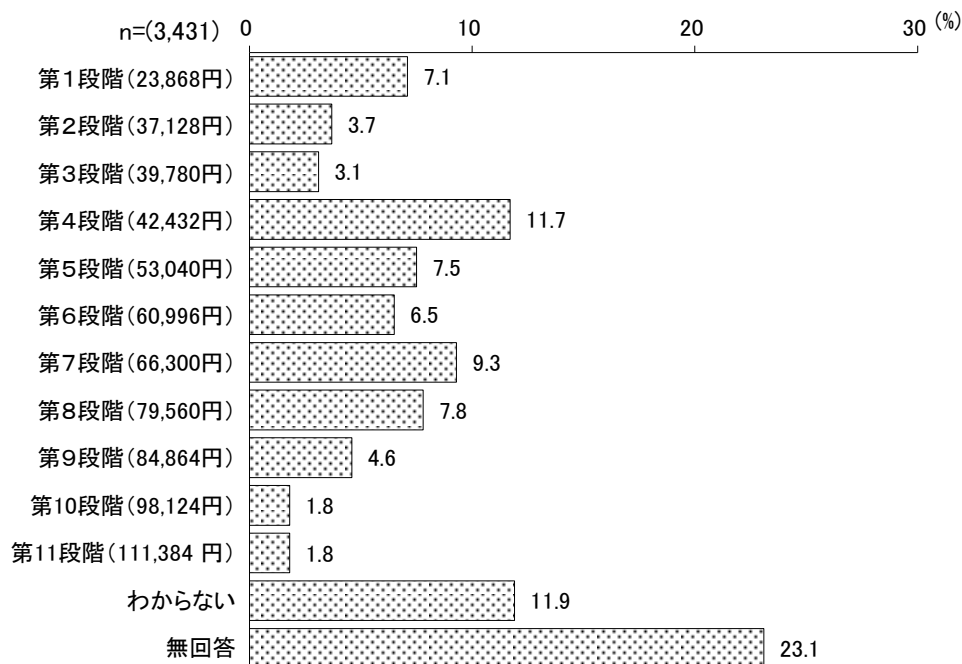


### 13 介護保険について

#### (1) 介護保険の所得段階区分

問40 あなたの介護保険の「所得段階区分」は、どの段階ですか。  
 平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)

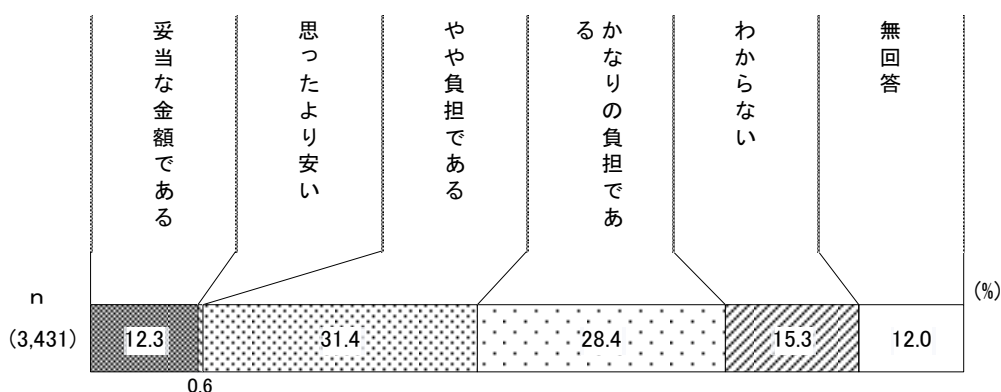
介護保険の所得段階区分では、「第4段階(42,432円)」が11.7%で最も高く、次いで「第7段階(66,300円)」が9.3%となっています。このほか、「第8段階(79,560円)」が7.8%、「第5段階(53,040円)」が7.5%、「第1段階(23,868円)」が7.1%などと続いています。



#### (2) 介護保険料の支払い額について

問41 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

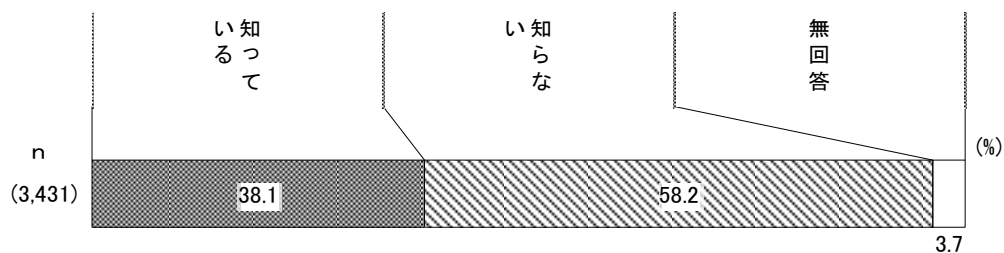
介護保険料の支払い額については、「妥当な金額である」が12.3%、「思ったより安い」が0.6%となっています。一方、「やや負担である」が31.4%で最も高く、「かなりの負担である」(28.4%)を合わせた《負担である》は59.8%です。



### (3) 地域を担当している地域包括支援センターの認知度

問42 あなたは、あなたの地域を担当している「地域包括支援センター」がどこにあるか知っていますか。(ひとつだけに○)

地域を担当している地域包括支援センターについて、「知っている」は38.1%で、「知らない」が58.2%と高くなっています。

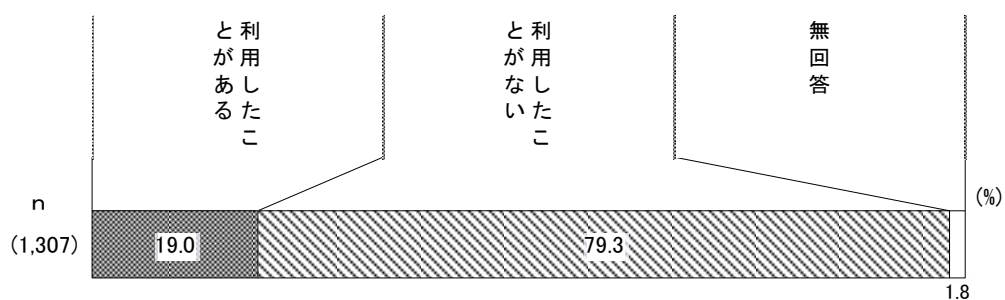


#### (3-1) 地域包括支援センターの利用状況

【問42で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問42-1 あなたは、「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。(ひとつだけに○)

地域を担当している地域包括支援センターを、「知っている」と回答した方に、利用状況をたずねたところ、「利用したことがある」は19.0%で、「利用したことがない」が79.3%と高くなっています。



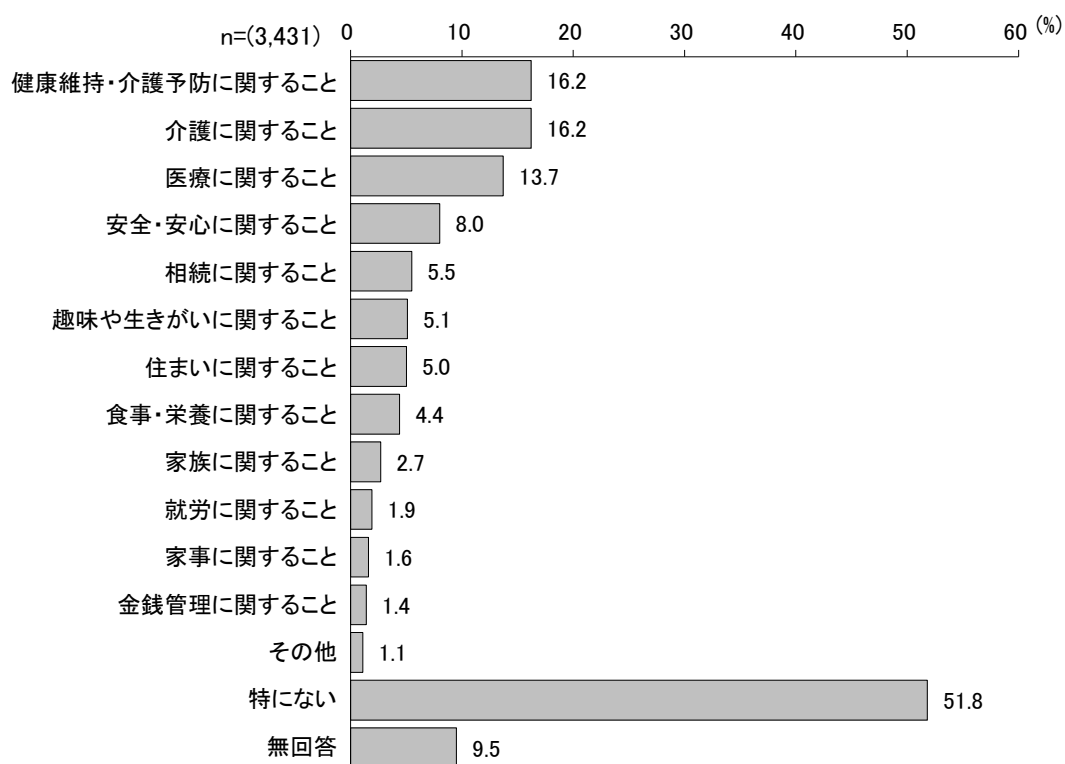


#### (4) 身近な公的機関等に相談したいこと

問43 あなたは、身近な公的機関等に対し、どのようなことを相談したいですか。  
(あてはまるものすべてに○)

身近な公的機関等に相談したいことでは、「相談したいことがある」が38.7%で、「特にない」が51.8%となっています。

相談したいことの中では、「健康維持・介護予防に関すること」と「介護に関すること」が16.2%で並んで高く、次いで「医療に関すること」が13.7%などとなっています。

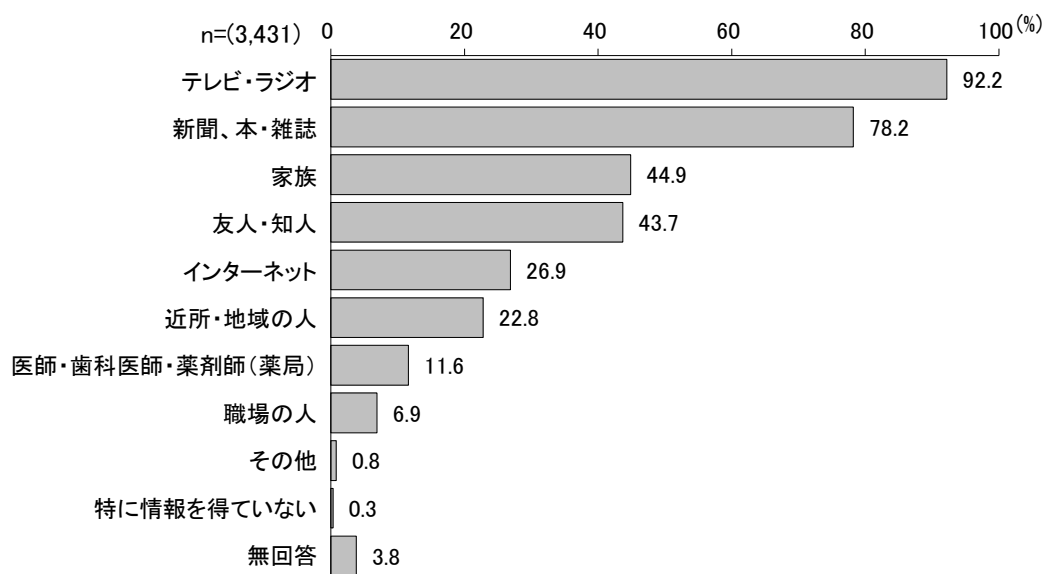


※《相談したいことがある》＝100%－「特にない」－無回答

## (5) 生活の情報源

問44 あなたは普段生活をしている中で、どのようなところで様々な情報を得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

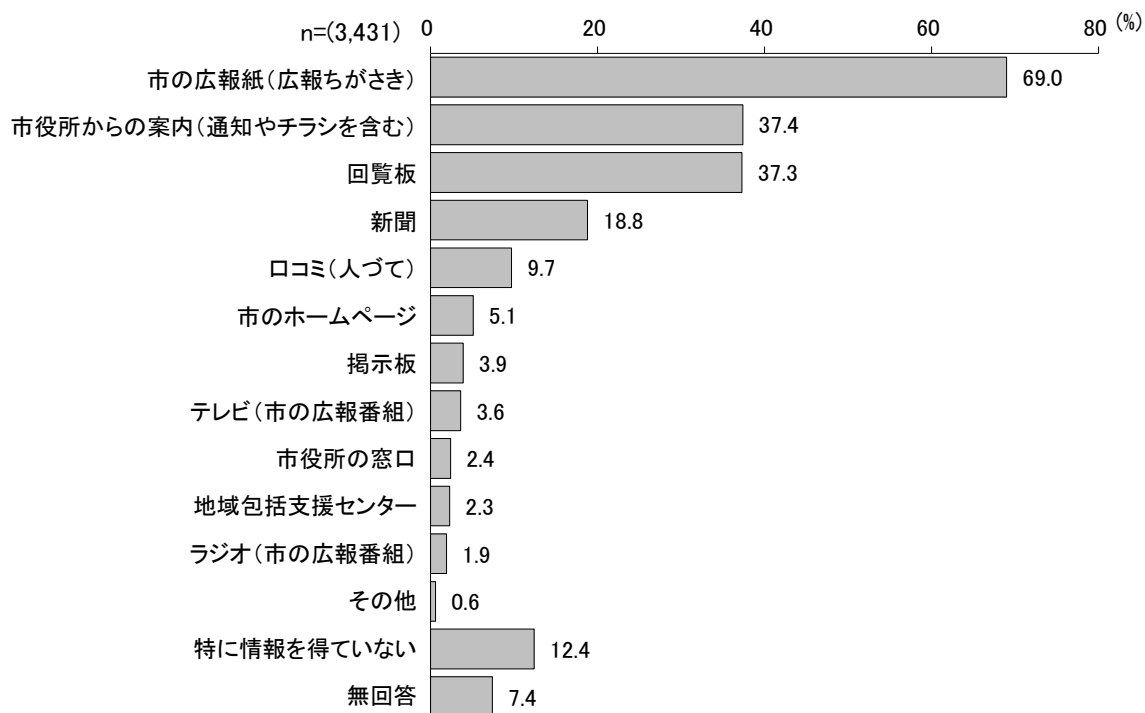
生活の情報源としては、「テレビ・ラジオ」が92.2%で最も高く、次いで「新聞、本・雑誌」が78.2%となっています。このほか、「家族」が44.9%、「友人・知人」が43.7%などとなっています。



## (6) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源

問45 市からの、介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのようなところで得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

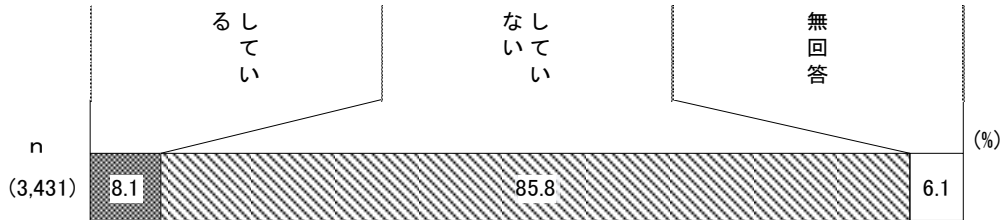
市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源としては、「市の広報紙（広報ちがさき）」が69.0%で最も高く、次いで「市役所からの案内（通知やチラシを含む）」が37.4%、「回覧板」が37.3%、「新聞」が18.8%などとなっています。一方、「特に情報を得ていない」が12.4%みられます。



(7) 家族介護の状況

問46 あなたは現在、家族の介護をしていますか。(ひとつだけに○)

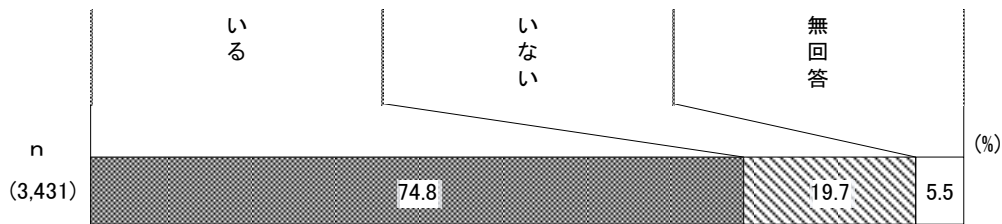
家族の介護を「している」は8.1%で、「していない」が85.8%と高くなっています。



(8) 介護が必要となったときの介護予定者の有無

問47 あなたは、介護が必要となったとき、日常生活の世話をしてくれる人(介護予定者)はいますか。(ひとつだけに○)

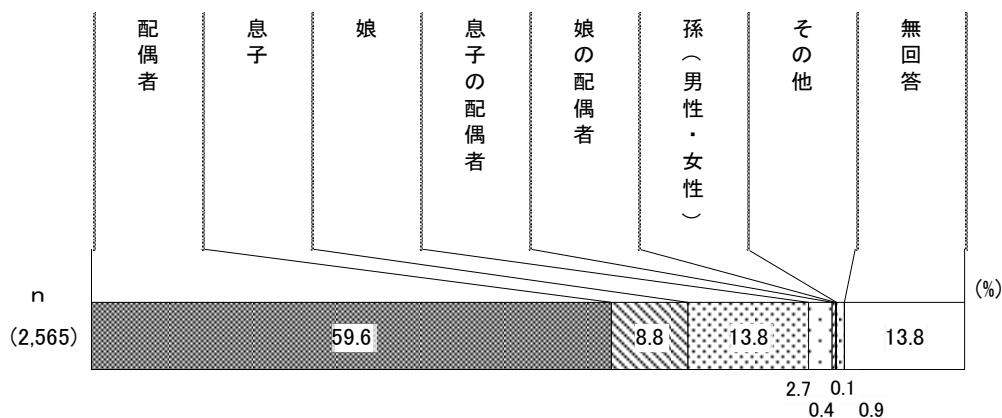
介護が必要となったときに、介護予定者が「いる」は74.8%と高く、「いない」が19.7%となっています。



(8-1) 主な介護予定者

【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】  
問47-1 主な介護予定者はどなたですか。(ひとつだけに○)

介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者をたずねたところ、「配偶者」が59.6%で最も高く、次いで「娘」が13.8%などとなっています。

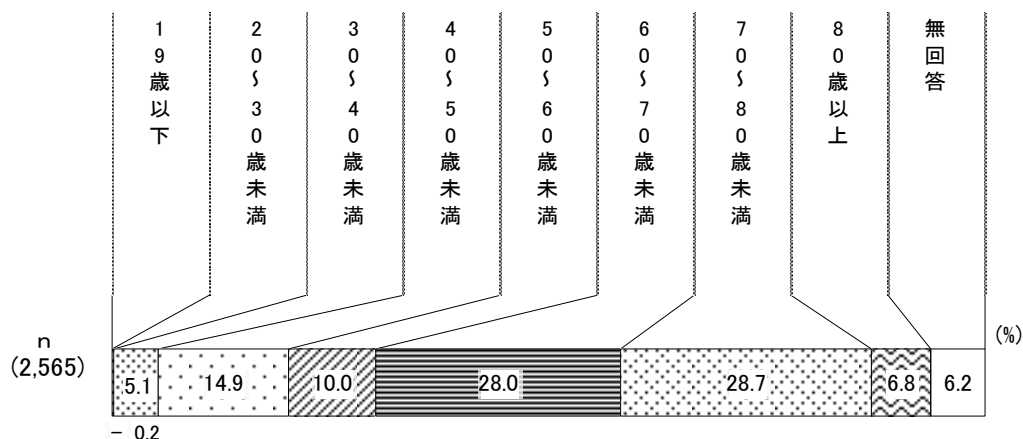


### (8-2) 主な介護予定者の年齢

**【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】**

問47-2 主な介護予定者の年齢についておたずねします。(ひとつだけに○)

介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者の年齢がたずねたところ、「70～80歳未満」が28.7%で最も高く、次いで「60～70歳未満」が28.0%となっています。これらに「80歳以上」(6.8%)を合わせると、「60歳以上」は63.5%です。

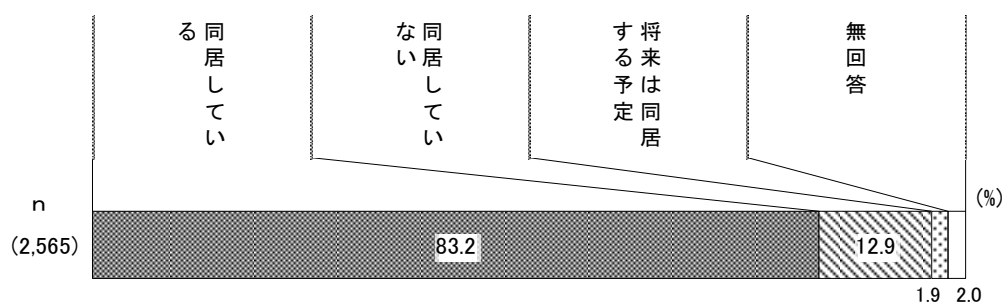


### (8-3) 主な介護予定者の同居の有無

**【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】**

問47-3 主な介護予定者は、あなたと同居していますか。(ひとつだけに○)

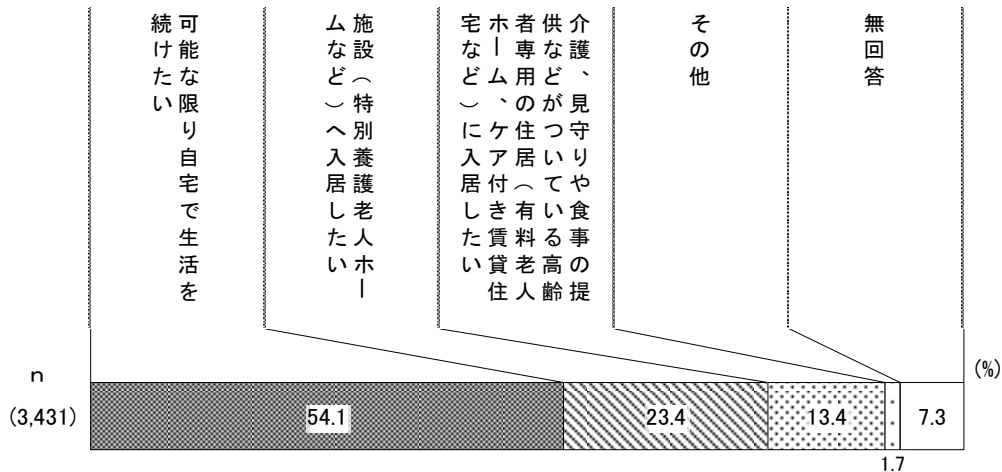
介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者の同居の有無をたずねたところ、「同居している」が83.2%と高く、「同居していない」が12.9%となっています。



(9) 介護が必要となったときに希望する介護

問48 あなたは、寝たきりや認知症になるなど、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

介護が必要となったときに希望する介護では、「可能な限り自宅で生活したい」が54.1%で最も高くなっています。次いで「施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい」が23.4%、「介護、見守りや食事の提供などがついていいる高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅など）に入居したい」が13.4%です。

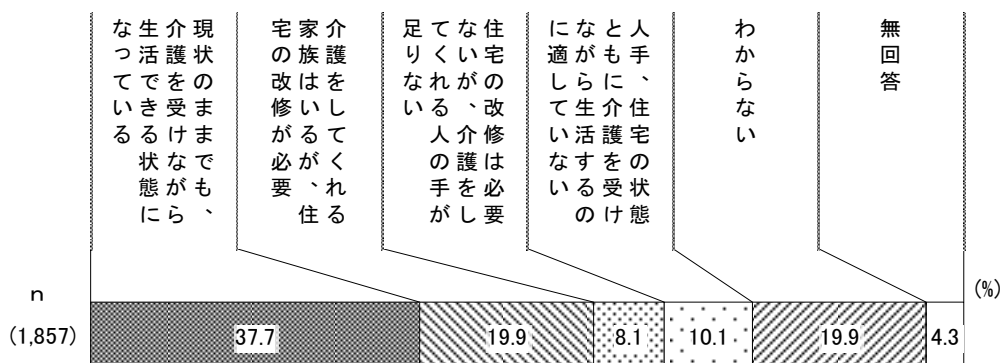


(9-1) 自宅等の介護対応度

【問48で「1. 可能な限り自宅で生活したい」に○をつけた方におたずねします。】  
問48-1 あなたの自宅、もしくは子どもや親戚の家は、介護を受けながら生活するのに適した状態になっていると思いますか。(ひとつだけに○)

介護が必要となったときに希望する介護で、「可能な限り自宅で生活したい」と回答した方に、自宅等が介護を受けながら生活するのに適した状態になっているかたずねました。

その結果、「現状のままだでも、介護を受けながら生活できる状態になっている」が37.7%で最も高くなっています。一方、「介護をしてくれる家族はいるが、住宅の改修が必要」は19.9%、「住宅の改修は必要ないが、介護をしてくれる人の手が足りない」(8.1%)と「人手、住宅の状態ともに介護を受けながら生活するのに適していない」(10.1%)は1割前後となっています。



# **第3章 要支援・要介護認定者 個別調査（在宅）**





### 第3章 要支援・要介護認定者個別調査（在宅）

#### 1 記入者等について

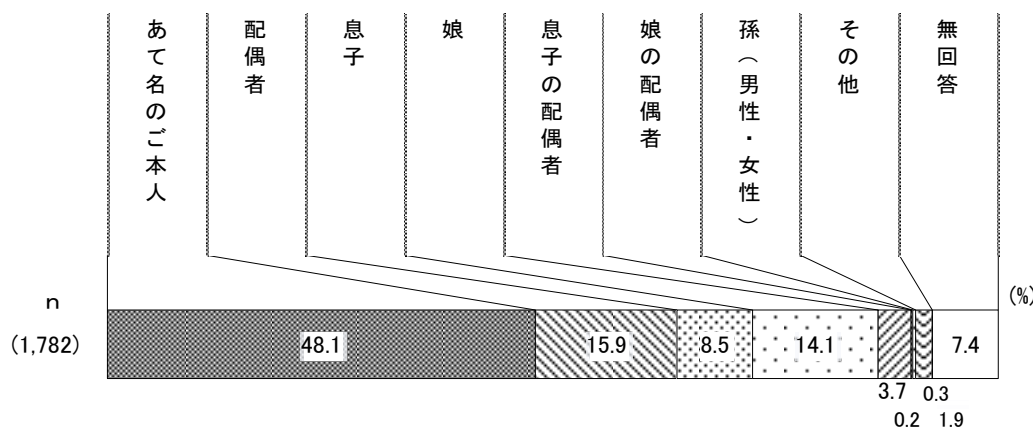
##### (1) 資格喪失や施設入所の有無

回収された調査票1,979件のうち、調査実施時点で「要支援・要介護認定を受けていない、または市外転出などにより資格を喪失している」との回答が36件、「要支援・要介護認定を受けていて、施設に入所している」との回答が161件ありました。そのため、本調査の有効回答数は1,782件です。

##### (2) 調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。（ひとつだけに○）

調査回答者は、「あて名のご本人」が48.1%で最も高く、次いで「配偶者」が15.9%、「娘」が14.1%などとなっています。

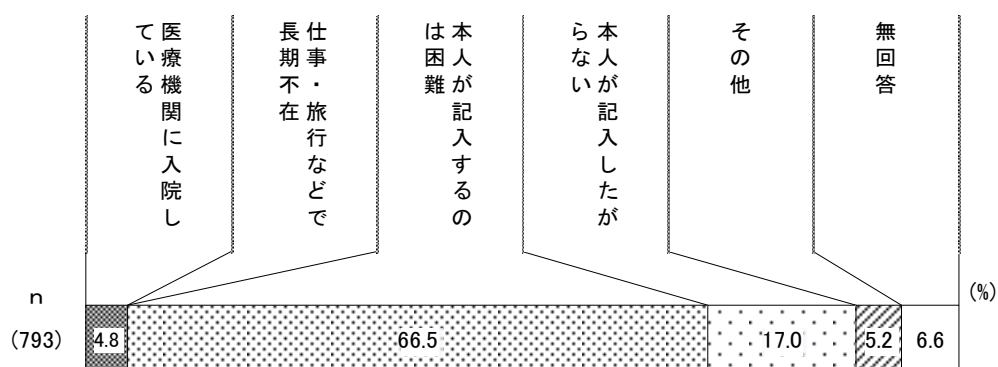


##### (2-1) 本人に代わって記入した理由

【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。（ひとつだけに○）

本人以外が記入していると回答した方に、代わって記入した理由をたずねたところ、「本人が記入するのは困難」が66.5%で最も高く、次いで「本人が記入したがる」が17.0%となっています。

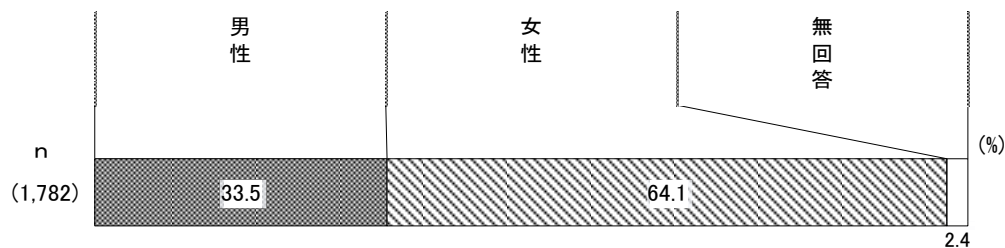


## 2 回答者（調査対象者）について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

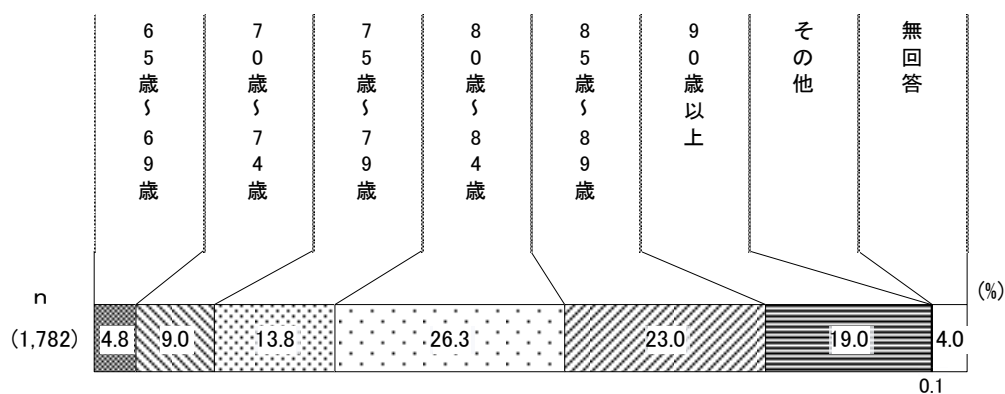
調査対象者の性別は、「男性」が33.5%、「女性」が64.1%となっています。



### (2) 年齢

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年10月1日現在の満年齢)  
(ひとつだけに○)

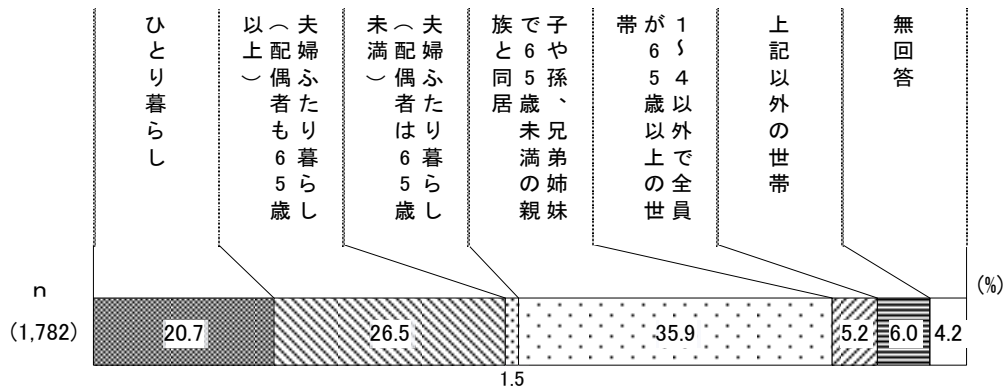
調査対象者の年齢は、「65歳～69歳」が4.8%、「70歳～74歳」が9.0%で、これらを合わせた《前期高齢者》は13.8%となっています。一方、「75歳～79歳」(13.8%)、「80歳～84歳」(26.3%)、「85歳～89歳」(23.0%)、「90歳以上」(19.0%)を合わせた《後期高齢者》は82.1%です。



### (3) 家族構成

問3 あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。  
(ひとつだけに○)

調査対象者の家族構成は、「子や孫、兄弟姉妹で65歳未満の親族と同居」が35.9%で最も高く、次いで「夫婦ふたり暮らし(配偶者も65歳以上)」が26.5%となっています。なお、「ひとり暮らし」は20.7%です。

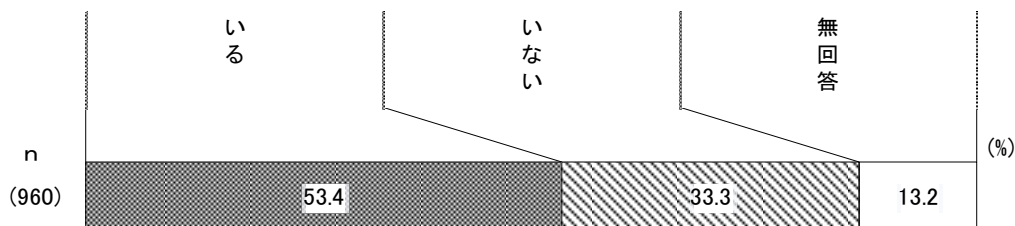


#### (3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無

**【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】**

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。(ひとつだけに○)

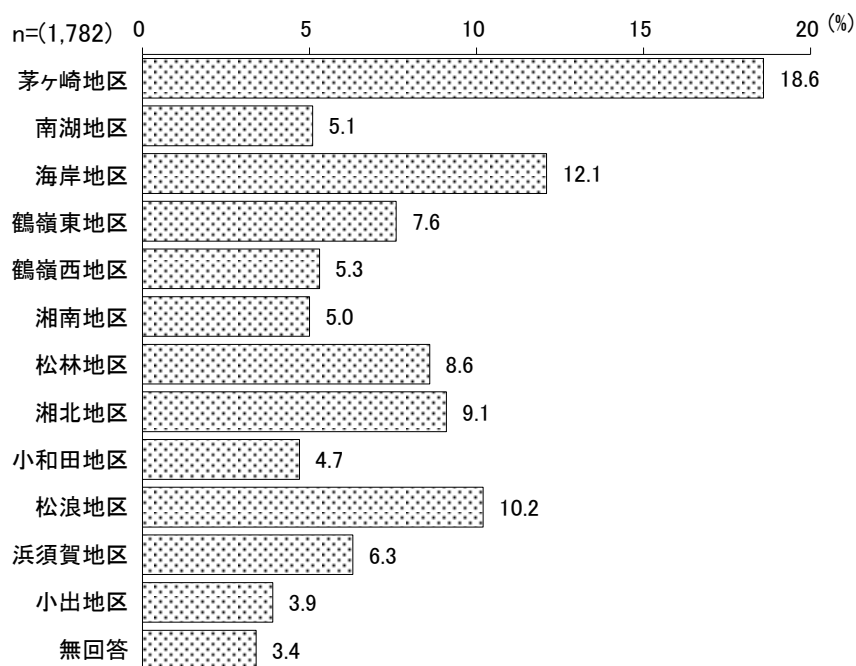
「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり暮らし(配偶者も65歳以上)」、「夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)」、「(同居者の)全員が65歳以上の世帯」と回答した方に、30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無をたずねたところ、「いる」が53.4%で、「いない」が33.3%となっています。



#### (4) 居住地区

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)  
※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

調査対象者の居住地区は、「茅ヶ崎地区」が18.6%で最も高くなっています。次いで「海岸地区」が12.1%、「松浪地区」が10.2%、「湘北地区」が9.1%、「松林地区」が8.6%と1割前後です。

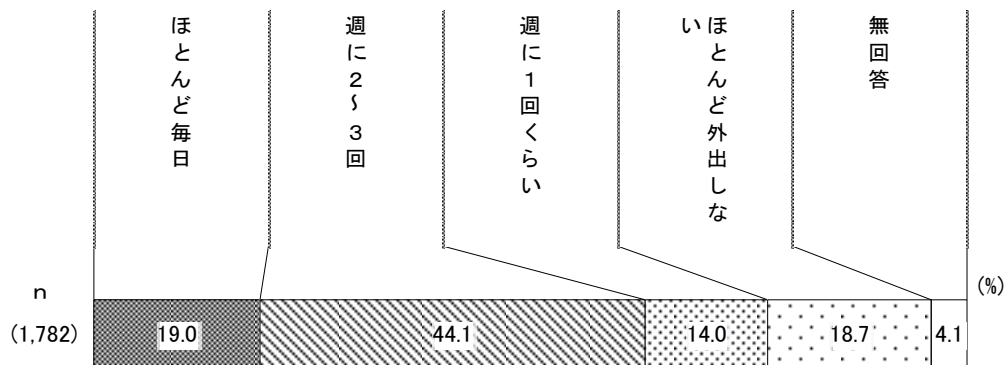


### 3 日常生活について

#### (1) 外出頻度

問5 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。  
(ひとつだけに○)

外出頻度は、「ほとんど毎日」が19.0%、「週に2～3回」が44.1%で最も高くなっています。「週に1回くらい」(14.0%)と「ほとんど外出しない」(18.7%)を合わせた《閉じこもり傾向》は32.7%です。

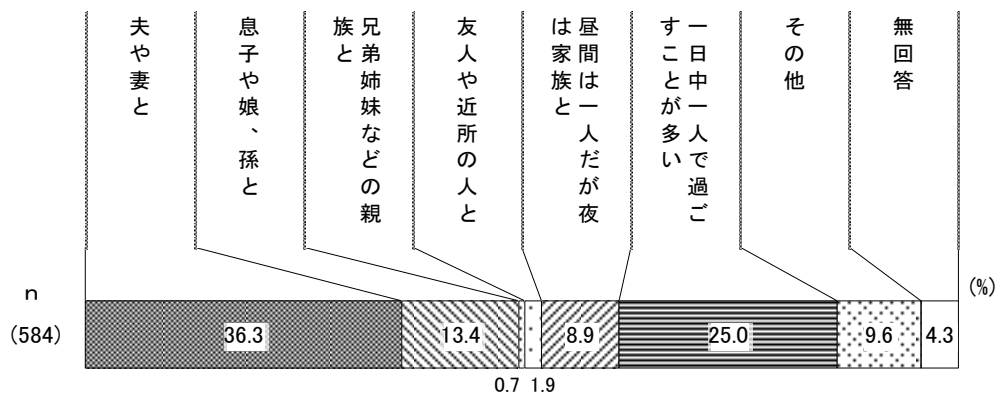


#### (1-1) 外出しない日に過ごすことが多い人

**【問5で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】**

問5-1 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、外出しない日に過ごすことが多い人をたずねたところ、「夫や妻と」が36.3%で最も高く、次いで「息子や娘、孫と」が13.4%となっています。一方、「一日中一人で過ごすことが多い」が25.0%みられます。

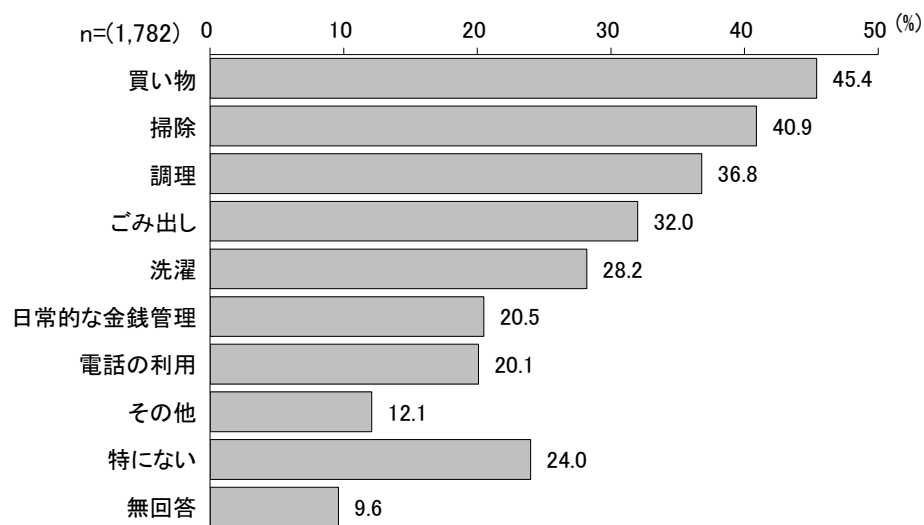


## (2) 日常生活の中で不自由を感じること

問6 あなたは、日常生活の中で不自由を感じることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

日常生活の中で不自由を感じることは、《不自由を感じることもある》が66.4%で、「特にない」が24.0%となっています。

不自由を感じることの中では、「買い物」が45.4%で最も高く、次いで「掃除」が40.9%、「調理」が36.8%、「ごみ出し」が32.0%、「洗濯」が28.2%などとなっています。



※ 《不自由を感じることもある》 = 100% - 「特にない」 - 無回答

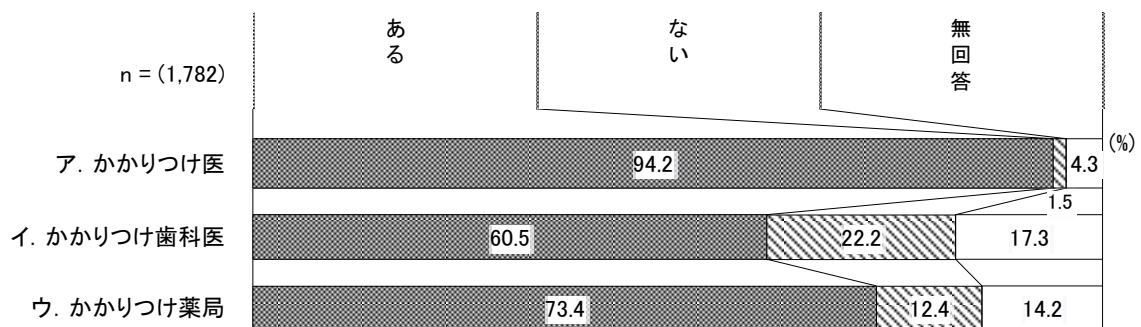
(3) かかりつけの医療機関の有無

問7 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。  
(ひとつずつ○)

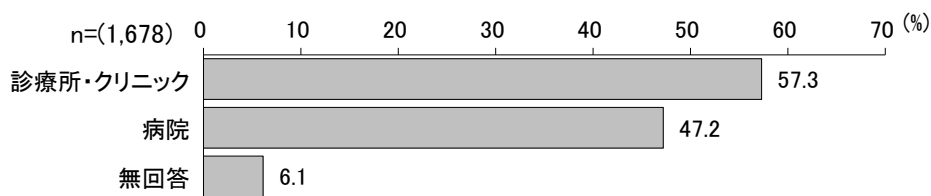
また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答え  
ください。(あてはまるものすべてに○)

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる  
薬局のこと

かかりつけの医療機関について、「ある」は、“ア かかりつけ医”が94.2%で最も高く、次いで“ウ  
かかりつけ薬局”が73.4%、“イ かかりつけ歯科医”が60.5%となっています。



“ア かかりつけ医”が「ある」と回答した方に、医療機関の種類をたずねたところ、「診療所・ク  
リニック」が57.3%、「病院」が47.2%となっています。

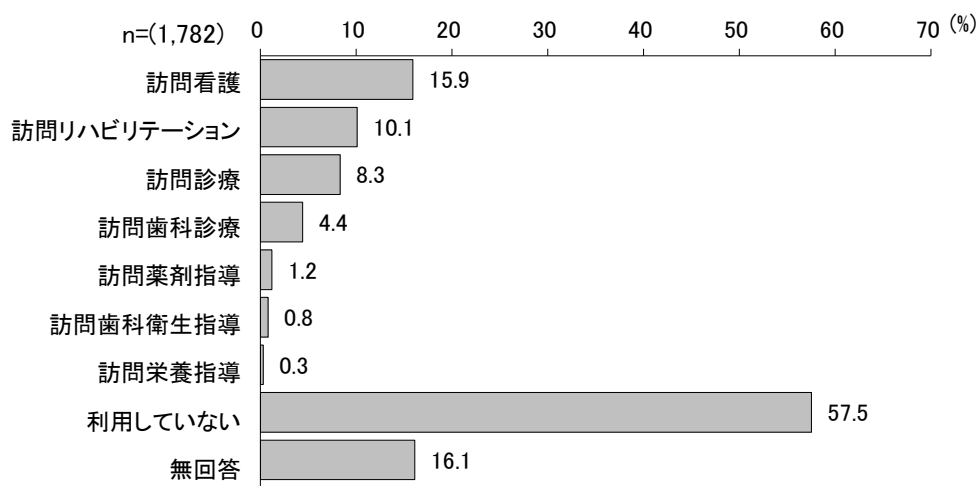


#### (4) 在宅医療サービスの利用状況

問8 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

在宅医療サービスの利用状況では、《利用している》が26.4%で、「利用していない」が57.5%となっています。

利用している中では、「訪問看護」が15.9%で最も高く、次いで「訪問リハビリテーション」が10.1%、「訪問診療」が8.3%などとなっている。

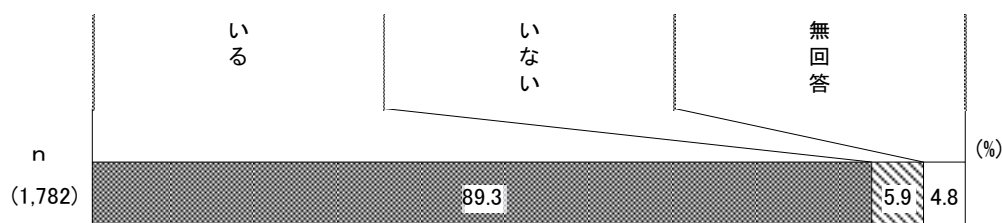


※《利用している》=100%－「利用していない」－無回答

#### (5) 悩みや心配ごとを相談できる人の有無

問9 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。(ひとつだけに○)

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が、「いる」は89.3%と高くなっていますが、「いない」が5.9%みられます。



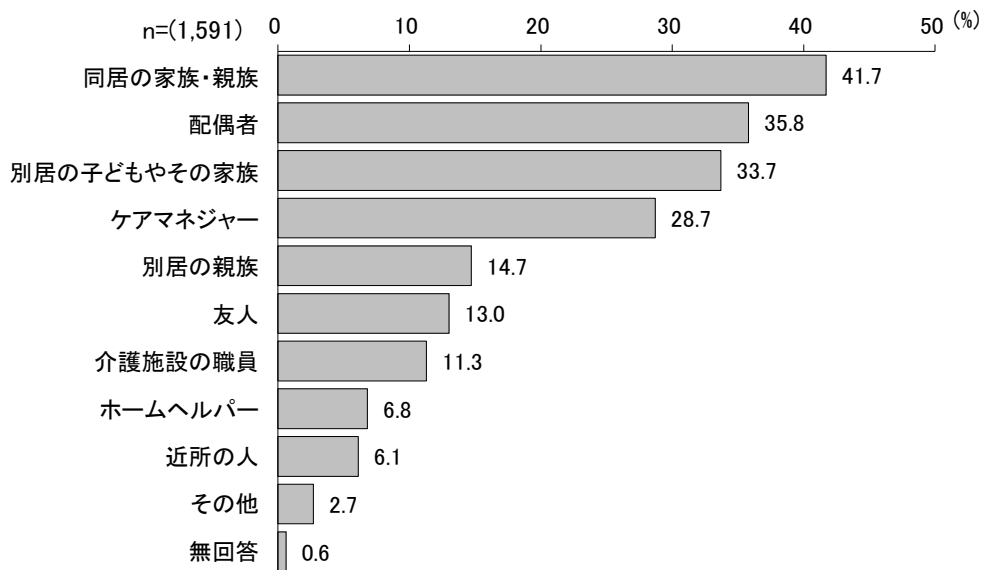


### (5-1) 悩みや心配ごとの相談先

【問9で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

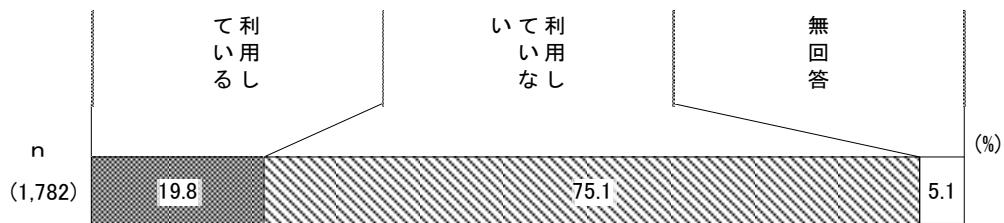
悩みや心配ごとを相談できる人が「いる」と回答した人に、誰に相談するかたずねたところ、「同居の家族・親族」が41.7%で最も高く、次いで「配偶者」が35.8%、「別居の子どもやその家族」が33.7%、「ケアマネジャー」が28.7%などとなっています。



(6) 民間事業者によるサービスの利用状況

問10 日常生活の中で民間事業者による家事代行サービスや配食サービスなどを利用していますか。(ひとつだけに○)

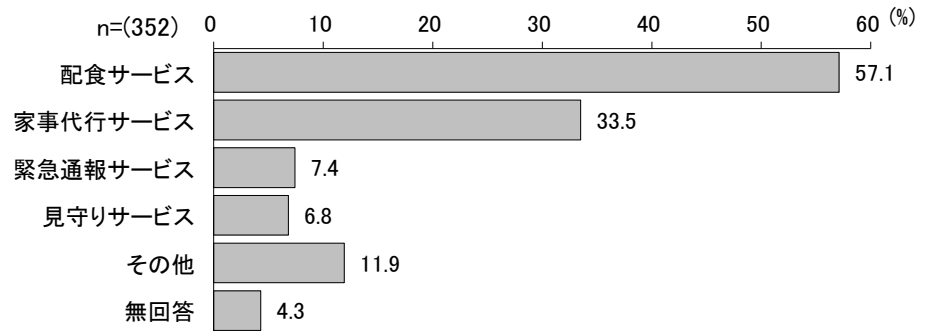
民間事業者によるサービスを、「利用している」が19.8%で、「利用していない」が75.1%と高くなっています。



(6-1) 利用している民間事業者によるサービス

**【問10で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。】**  
 問10-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

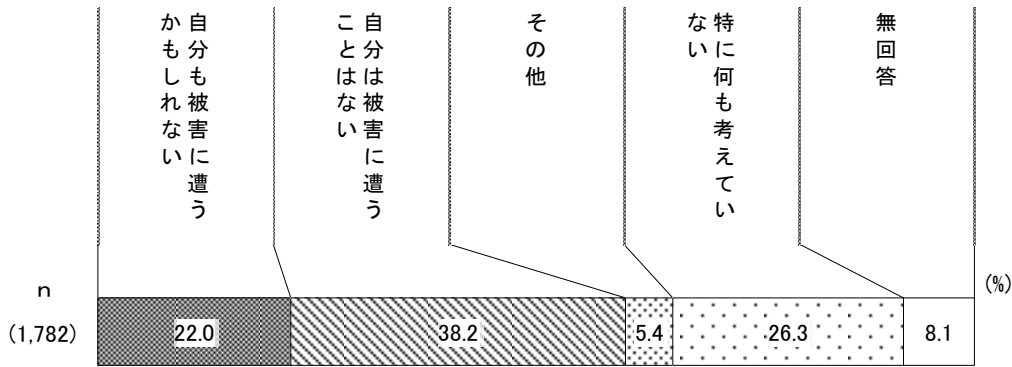
民間事業者によるサービスを「利用している」と回答した方に、どのようなサービスを利用しているかたずねたところ、「配食サービス」が57.1%で最も高く、次いで「家事代行サービス」が33.5%となっています。



(7) 振り込め詐欺に対する考え

問11 あなたは、振り込め詐欺についてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

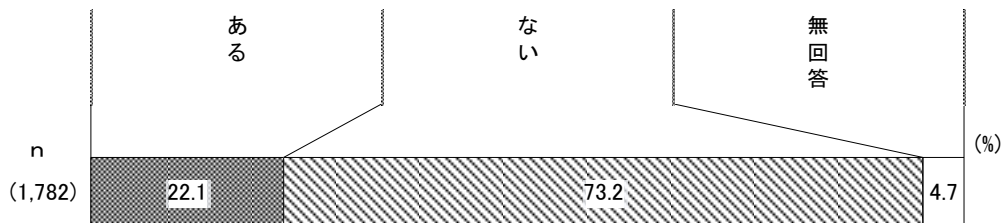
振り込め詐欺について、「自分は被害に遭うことはない」が38.2%で最も高くなっています。また、「特に何も考えていない」が26.3%みられます。



(8) 振り込め詐欺等の電話を受けた経験

問12 あなたは、振り込め詐欺や還付金詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。(ひとつだけに○)

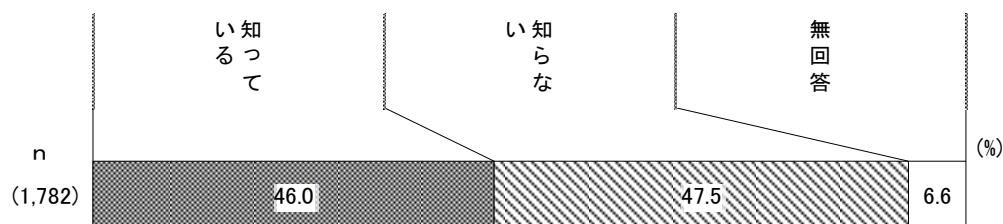
振り込め詐欺等の電話を受けた経験が「ある」は22.1%となっています。



(9) 振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識

問13 振り込め詐欺の犯人は、留守番電話に自分の声を残すことはまれですが、振り込め詐欺に留守番電話が有効であることを知っていますか。(ひとつだけに○)

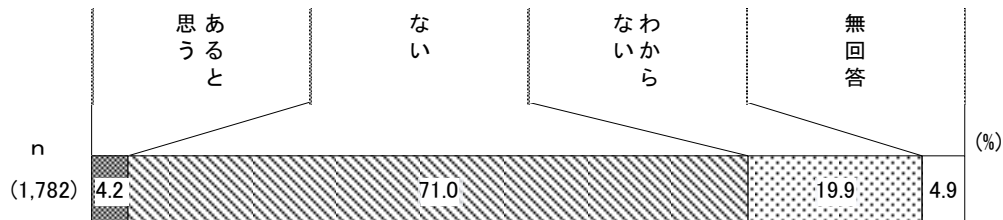
振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることを、「知っている」は46.0%、「知らない」が47.5%とおおむね並んでいます。



(10) 公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて

問14 市役所等の公的機関が保険料や医療費の還付（お金が戻ってくる）があることを電話で知らせたりすることがあると思いますか。（ひとつだけに○）

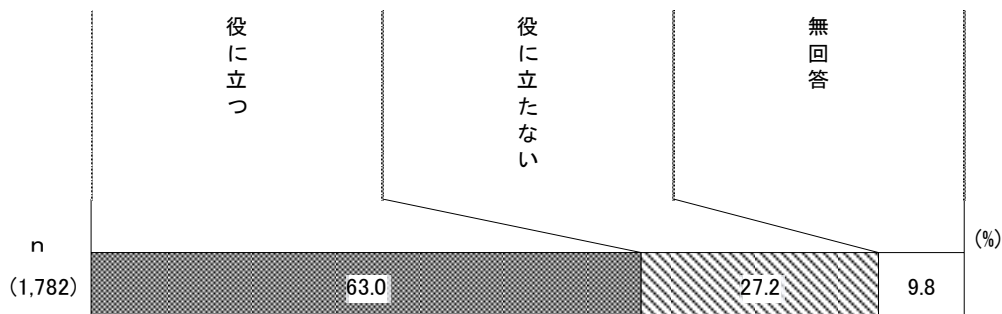
公的機関が還付金について電話で知らせたりすることが、「ない」が71.0%と高くなっていますが、「あると思う」が2.7%、「わからない」が19.9%みられます。



(11) 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の役立ち度

問15 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の放送についておたずねします。役に立ちますか。（ひとつだけに○）

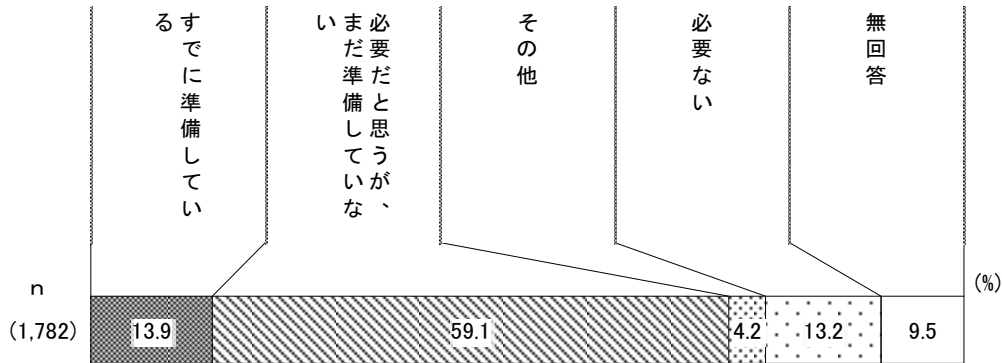
防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起は、「役に立つ」が63.0%で高く、「役に立たない」が27.2%となっています。



(12) 自分らしい最期を迎えるための準備

問16 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。  
(ひとつだけに○)

自分らしい最期を迎えるための準備については、「すでに準備している」が13.9%で、「必要だと思うが、まだ準備していない」が59.1%と高くなっています。

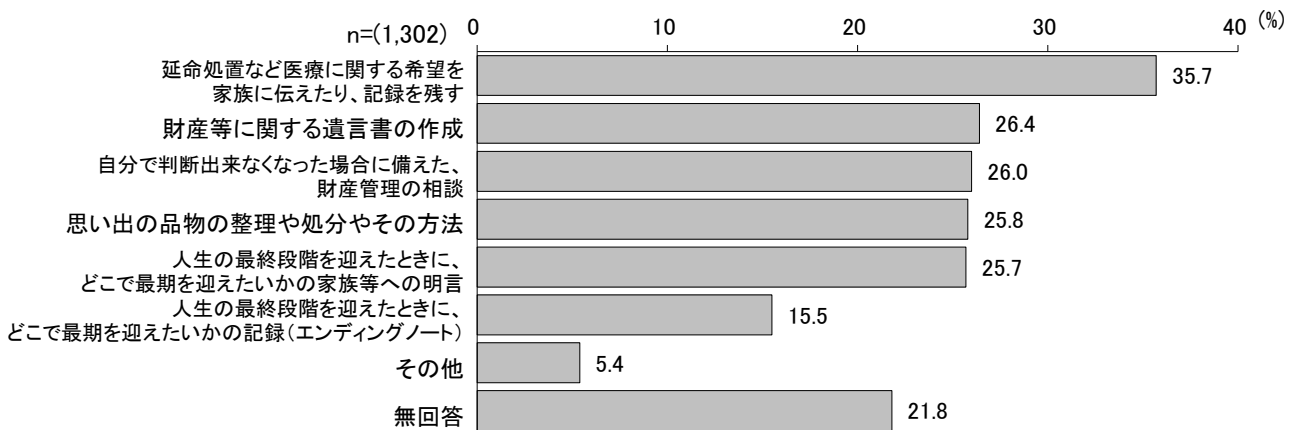


(12-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備

【問16で「1. すでに準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問16-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

自分らしい最期を迎えるために「すでに準備している」、「必要だと思うが、まだ準備していない」と回答した方に、必要だと思う準備をたずねたところ、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が35.7%で最も高くなっています。次いで「財産等に関する遺言書の作成」が26.4%、「自分で判断出来なくなった場合に備えた、財産管理の相談」が26.0%、「思い出の品物の整理や処分やその方法」が25.8%、「人生の最終段階を迎えたときに、どこで最期を迎えたいかの家族等への明言」が25.7%、「人生の最終段階を迎えたときに、どこで最期を迎えたいかの記録(エンディングノート)」が15.5%、「その他」が5.4%、「無回答」が21.8%です。



### 【自分らしい最期を迎えるための準備の現状別にみた割合の詳細】

この設問は、問16自分らしい最期を迎えるための準備（75ページ参照）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問16の回答状況を掛け合わせることによって、すでに準備している方と、まだ準備していない方の必要だと思う準備の割合を算出しました。

その結果、すでに準備している方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が48.8%で最も高く、次いで「財産等に関する遺言書の作成」が42.3%などとなっています。一方、まだ準備していない方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が32.6%で最も高いのは、すでに準備している方と同様ですが、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が26.2%、「自分で判断出来なくなった場合に備えた、財産管理の相談」が24.3%となっています。

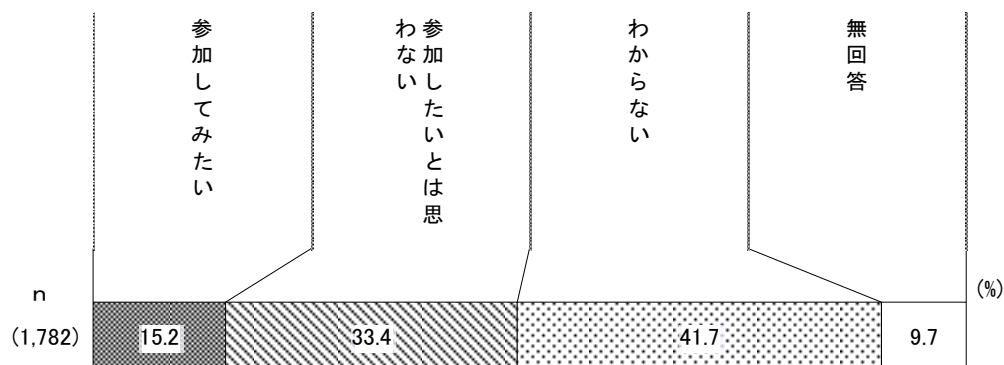
すでに準備している方とまだ準備していない方で大きく違うのは、「財産等に関する遺言書の作成」で、すでに準備している方が約20ポイント高くなっています。また、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」でも、すでに準備している方が約16ポイント高くなっています。

	n	延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す	財産等に関する遺言書の作成	自分で判断出来なくなった場合に備えた、財産管理の相談	思い出の品物の整理や処分	いきの家の最終段階の明言	いきの最終段階の明言	その他	無回答
全体	1,302	35.7	26.4	26.0	25.8	25.7	15.5	5.4	21.8
すでに準備している	248	48.8	42.3	33.5	24.2	25.8	15.3	8.1	6.5
必要だと思うが、まだ準備していない	1,054	32.6	22.7	24.3	26.2	25.6	15.6	4.7	25.4

### (13) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向

問17 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノートや家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。（ひとつだけに○）

自分らしい最期を迎えるために具体的に考えがある機会に、「参加してみたい」が15.2%、「参加したいとは思わない」が33.4%です。なお、「わからない」が41.7%で最も高くなっています。

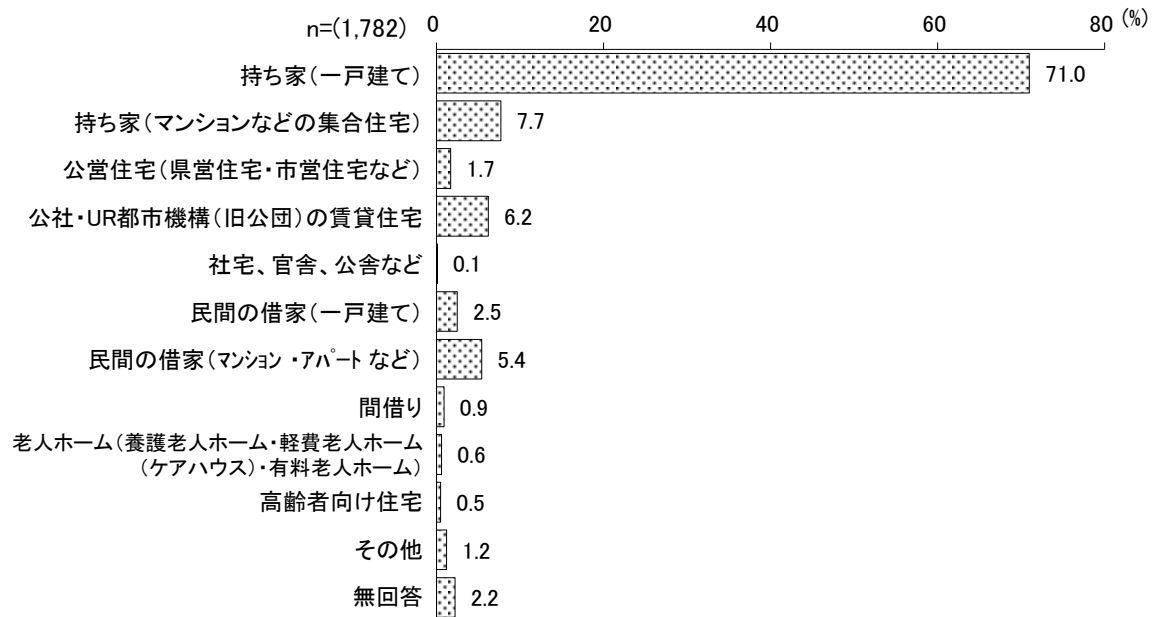


## 4 住まいについて

### (1) 住まいの種類

問18 あなたのお住まいについておたずねします（ひとつだけに○）

住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が71.0%で最も高く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が7.7%などとなっています。



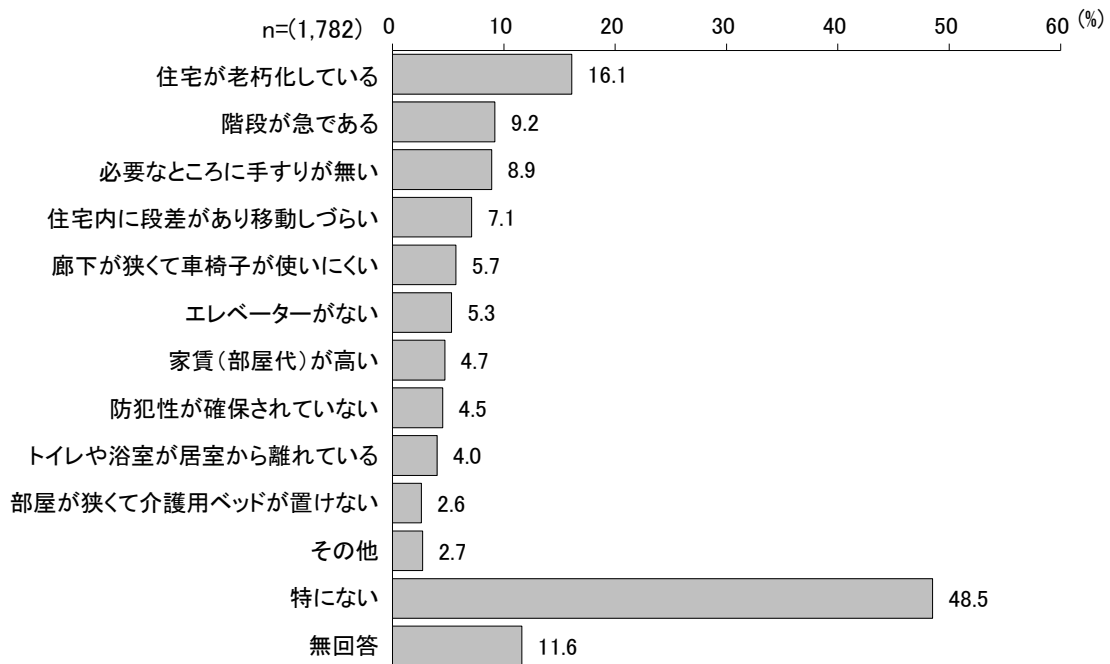
## (2) 現在の住まいで困っていること

問19 あなたは、現在のお住まいで困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

現在の住まいで困っていることでは、《困っていることがある》が35.4%で、「特にない」が48.5%となっています。

困っていることの中では、「住宅が老朽化している」が16.1%で最も高くなっています。



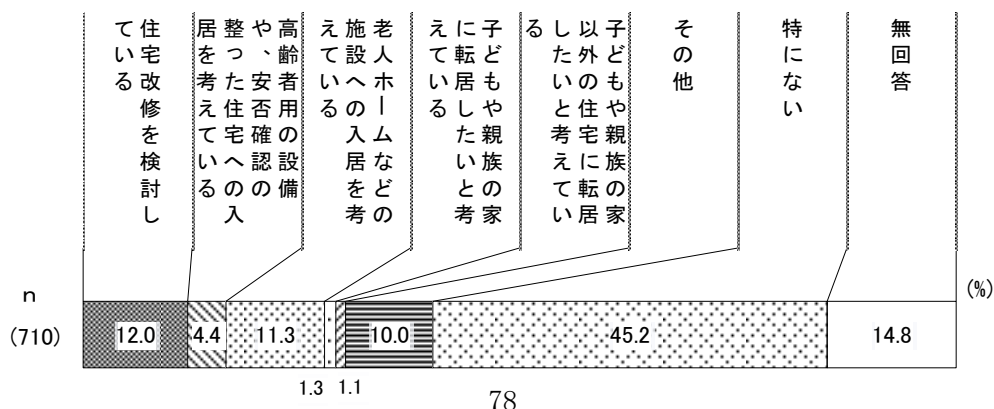
※《困っていることがある》=100%－「特にない」－無回答

### (2-1) 住まいで困っていることを解消するための対策

【問19で「1.」～「11.」に○をつけた方におたずねします。】

問19-1 あなたは、お住まいで困っていることを解消するため何か対策を考えていますか。(ひとつだけに○)

現在の住まいで困っているで、《困っていることがある》と回答した方に、解消するための対策を考えているかたずねたところ、「特にない」が45.2%で最も高くなっています。「住宅改修を検討している」が12.0%、「老人ホームなどの施設への入居を考えている」が11.3%などとなっています。





## 5 防災について

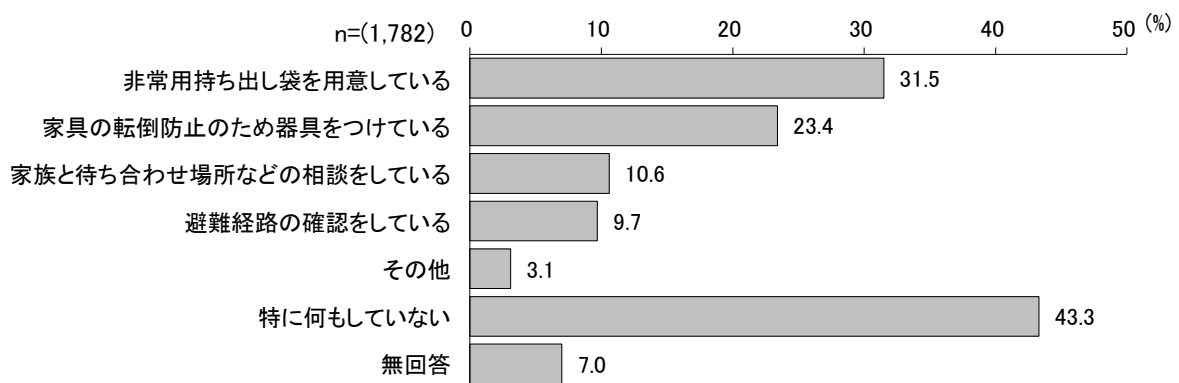
### (1) 大きな災害に備えた対策

問20 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

大きな災害に備えた対策では、《対策をしている》が49.7%で、「特に何もしていない」が43.3%となっています。

対策をしている中では、「非常用持ち出し袋を用意している」が31.5%で最も高く、次いで「家具の転倒防止のため器具をつけている」が23.4%などとなっています。

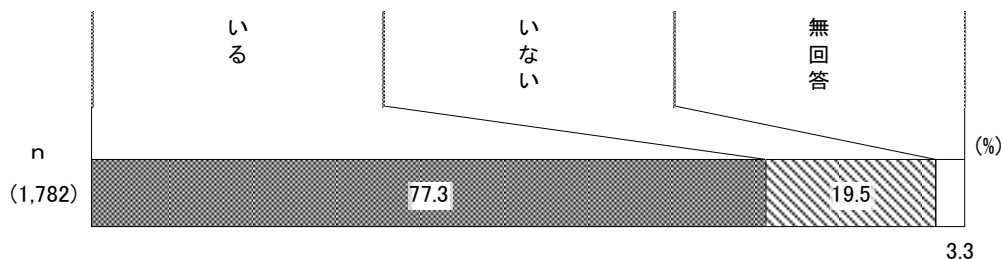


※《対策をしている》=100%－「特に何もしていない」－無回答

### (2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無

問21 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が、「いる」が77.3%で高くなっていますが、「いない」が19.5%みられます。

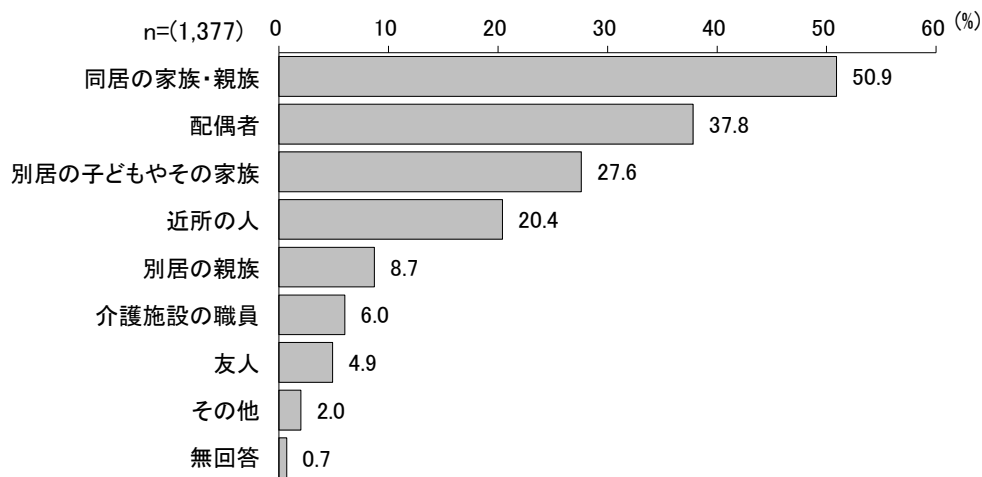


(2-1) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人

【問 21 で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問21-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」と回答した方に、誰が手助けしてくれるのかをたずねたところ、「同居の家族・親族」が50.9%で最も高く、次いで「配偶者」が37.8%、「別居の子どもやその家族」が27.6%などとなっています。



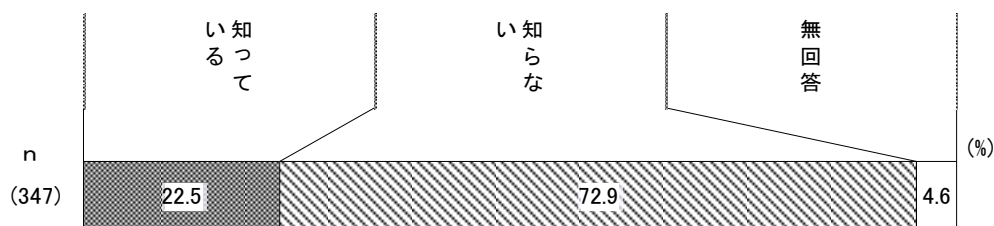
(2-2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人

【問 21 で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

問21-2 市では、災害時要援護者支援制度という、障害者や高齢者など、日常生活の中で手助けを必要とする人に対して、災害時などに地域の中で支援を受けられるようにする制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。(ひとつだけに○)

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いない」と回答した方に、災害時要援護者支援制度の認知度をたずねたところ、「知っている」が22.5%で、「知らない」が72.9%と高くなっています。

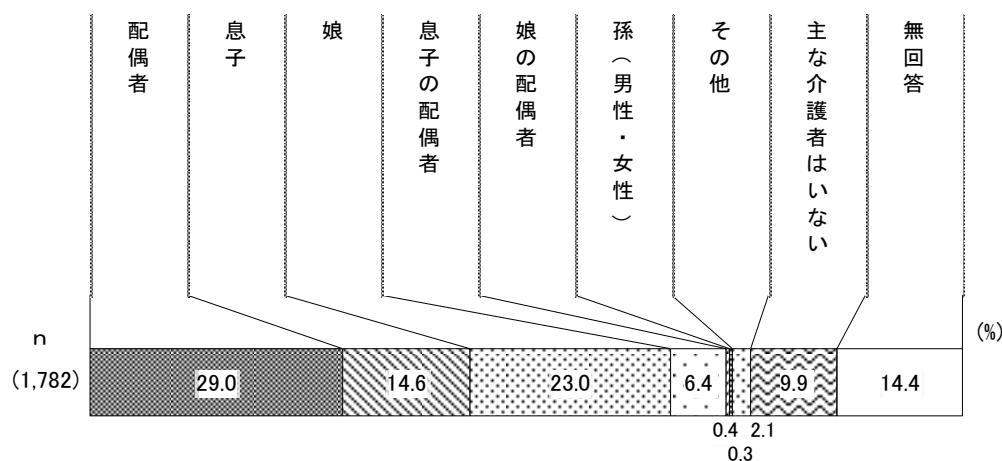


## 6 介護者について

### (1) 主な介護者

問22 あなたの主な介護者はどなたですか。なお、ヘルパーなどの介護職はのぞきます。  
(ひとつだけに○)

主な介護者は、「配偶者」が29.0%で最も高く、次いで「娘」が23.0%、「息子」が14.6%などとなっています。一方、「主な介護者はいない」が9.9%みられます。

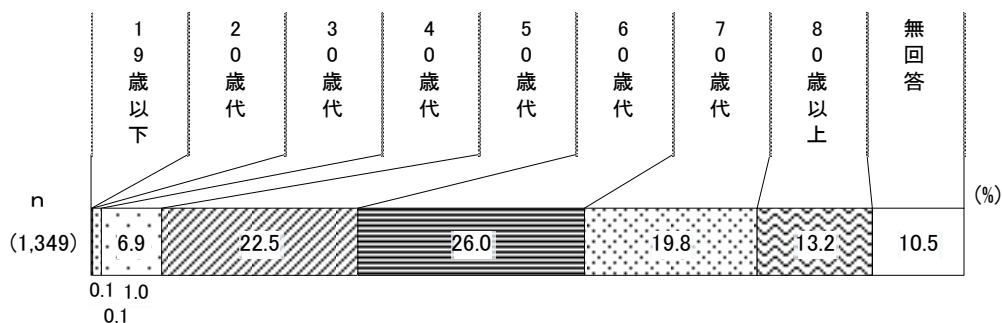


### (2) 主な介護者の年齢

【問23～問32は、問22で「8. 主な介護者はいない」以外に○をつけた方におたずねします。】

問23 主な介護者の年齢をおたずねします。(ひとつだけに○)

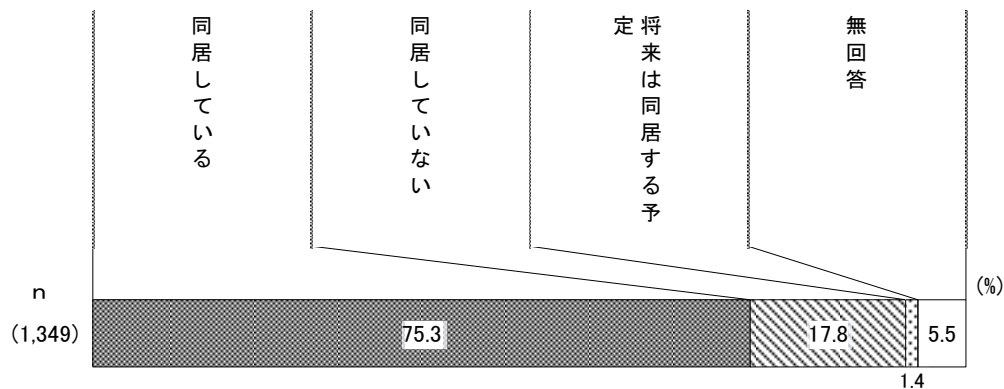
主な介護者の年齢は、「60歳代」が26.0%で最も高く、次いで「50歳代」が22.5%、「70歳代」が19.8%、「80歳以上」が13.2%などとなっています。



### (3) 主な介護者の同居の有無

問24 主な介護者は、あなたと同居していますか。(ひとつだけに○)

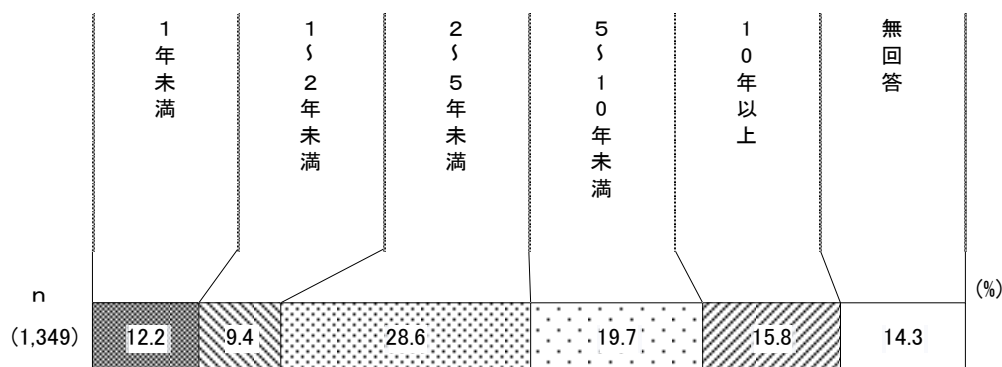
主な介護者の同居の有無は、「同居している」が75.3%と高く、「同居していない」が17.8%となっています。



### (4) 主な介護者の介護期間

問25 主な介護者のこれまでの介護期間をおたずねします。(ひとつだけに○)

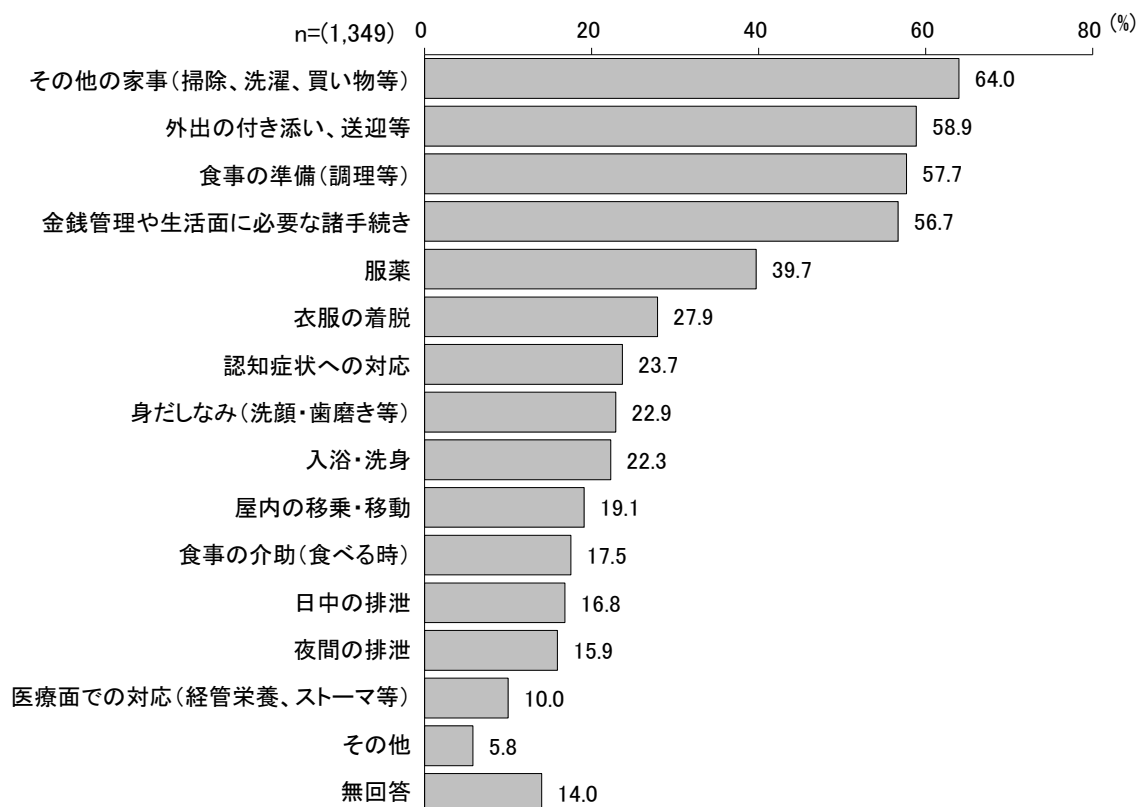
主な介護者の介護期間は、「2～5年未満」が28.6%で最も高く、次いで「5～10年未満」が19.7%、「10年以上」が15.8%などとなっています。



## (5) 主な介護者が行っている介護等の内容

問26 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、おたずねします。  
(あてはまるものすべてに○)

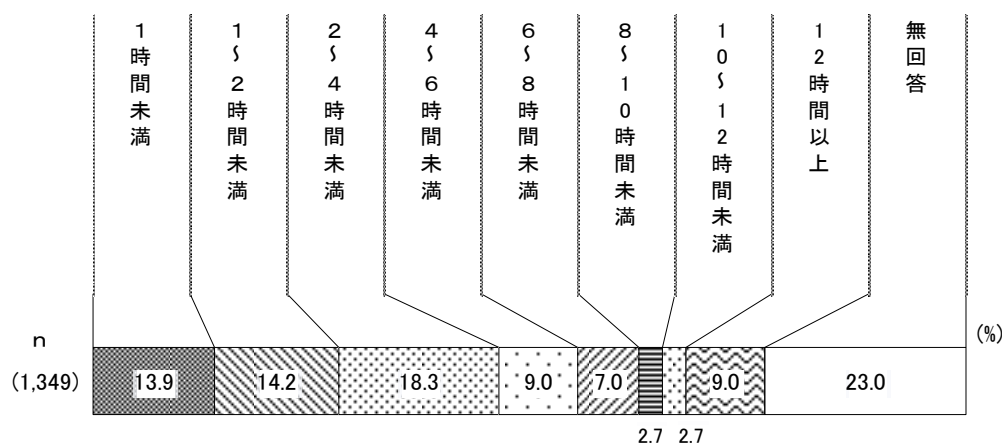
主な介護者が行っている介護等の内容としては、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が64.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が58.9%、「食事の準備（調理等）」が57.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が56.7%などとなっています。



## (6) 主な介護者の1日あたりの介護時間

問27 主な介護者が介護を行う時間は1日あたりおよそどのくらいですか。  
(ひとつだけに○)

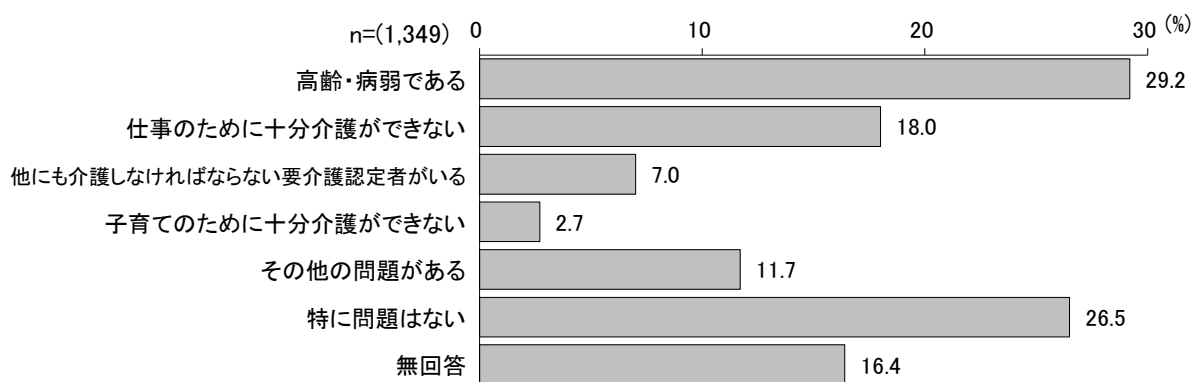
主な介護者の1日あたりの介護時間は、「2～4時間未満」が18.3%で最も高く、次いで「1～2時間未満」が14.2%、「1時間未満」が13.9%などとなっています。



## (7) 主な介護者を取り巻く状況

問28 主な介護者の状況についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者を取り巻く状況は、「高齢・病弱である」が29.2%で最も高く、次いで「仕事のために十分介護ができない」が18.0%などとなっています。一方、「特に問題はない」が26.5%です。

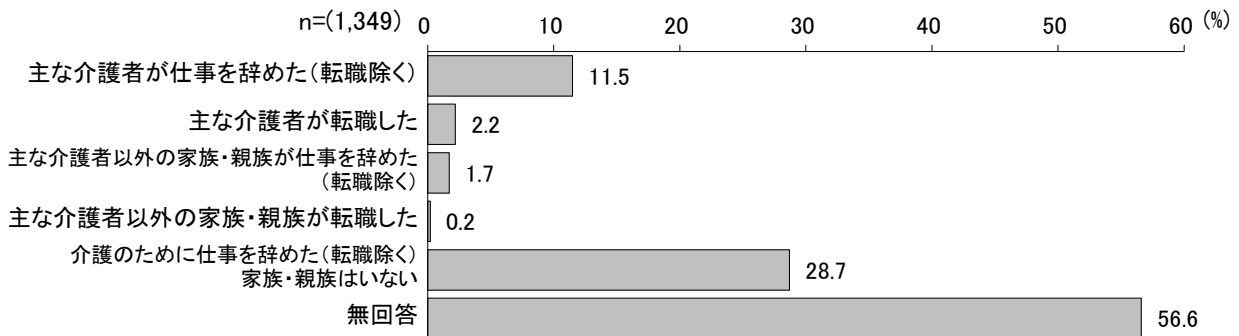


(8) 家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無

問29 ご家族やご親族の中で、あなたの介護のために、過去に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)

(あてはまるものすべてに○)

家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無では、「仕事を辞めた家族や親族がいる」が14.7%で、「介護のために仕事を辞めた(転職除く)家族・親族はいない」が28.7%となっています。仕事を辞めた家族や親族の中では、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が11.5%です。



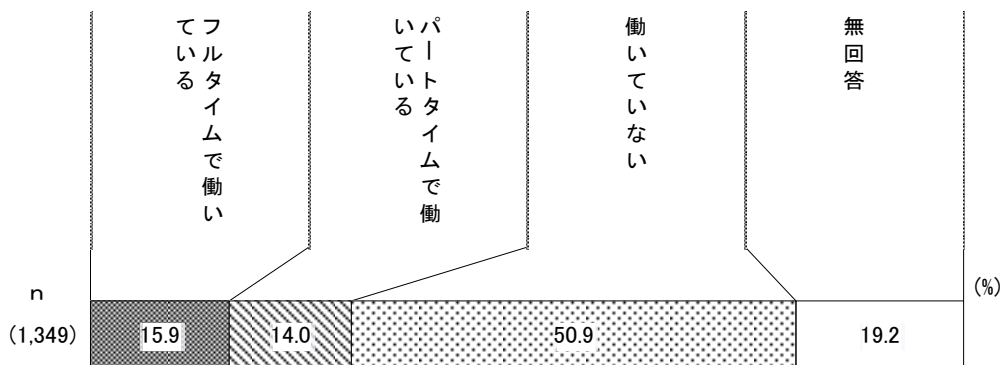
※《仕事を辞めた家族や親族がいる》=100%－「介護のために仕事を辞めた(転職除く)家族・親族はいない」－無回答

(9) 主な介護者の勤務形態

問30 主な介護者の方の現在の勤務形態について、おたずねします。(ひとつだけに○)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」など、呼び方は異なっても、この条件にあてはまる場合は「パートタイム」になります。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかに○をつけてください。

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が50.9%で最も高くなっています。なお、「フルタイムで働いている」は15.9%、「パートタイムで働いている」は14.0%です。



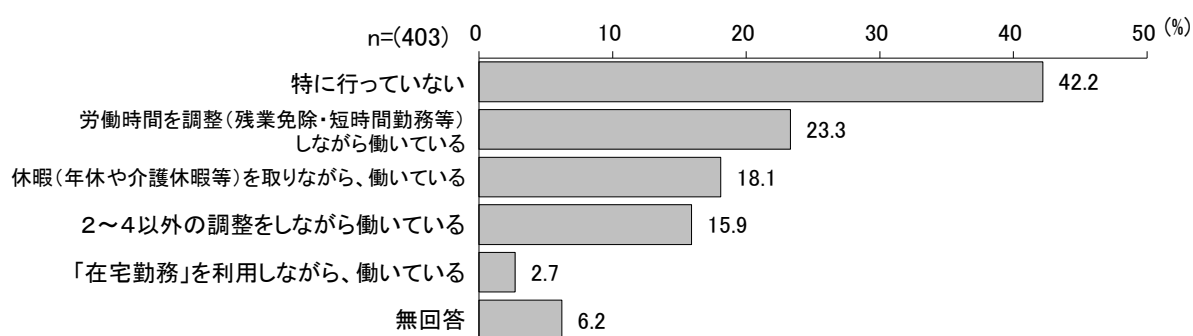
### (9-1) 主な介護者の勤務形態の調整等

【問30で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」に○をつけた方におたずねします。】

問30-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の勤務形態で、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方に、勤務形態の調整等を行っているかたずねたところ、《調整等を行っている》が51.6%で、「特に行っていない」が42.2%となっています。

調整等を行っている中では、「労働時間を調整(残業免除・短時間勤務等)しながら働いている」が23.3%で最も高くなっています。

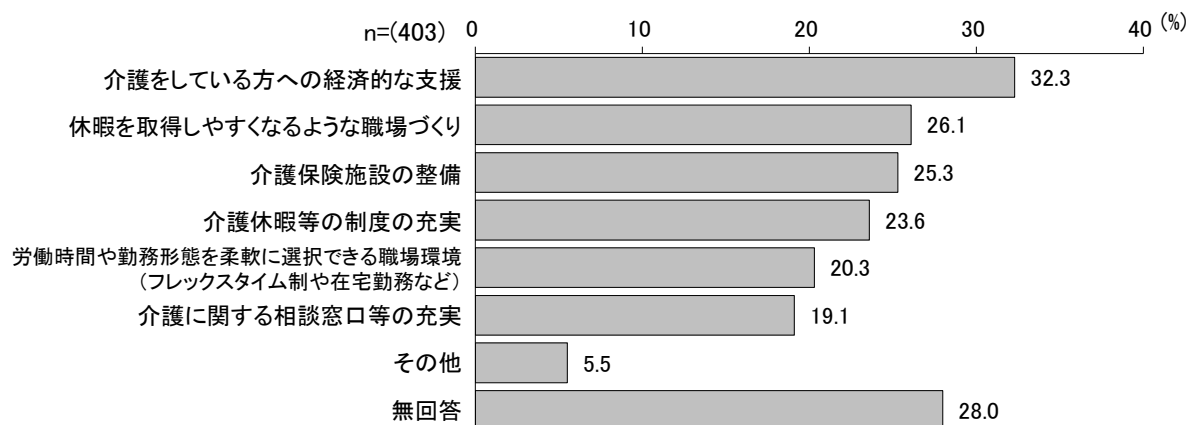


※《調整等を行っている》=100% - 「特に行っていない」 - 無回答

### (9-2) 仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等

問30-2 主な介護者の方は、仕事と介護を両立するために、どのような支援等があれば効果があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の勤務形態で、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方に、仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等をたずねましたところ、「介護をしている方への経済的な支援」が32.3%で最も高くなっています。次いで「休暇を取得しやすくなるような職場づくり」が26.1%、「介護保険施設の整備」が25.3%、「介護休暇等の制度の充実」が23.6%などとなっています。

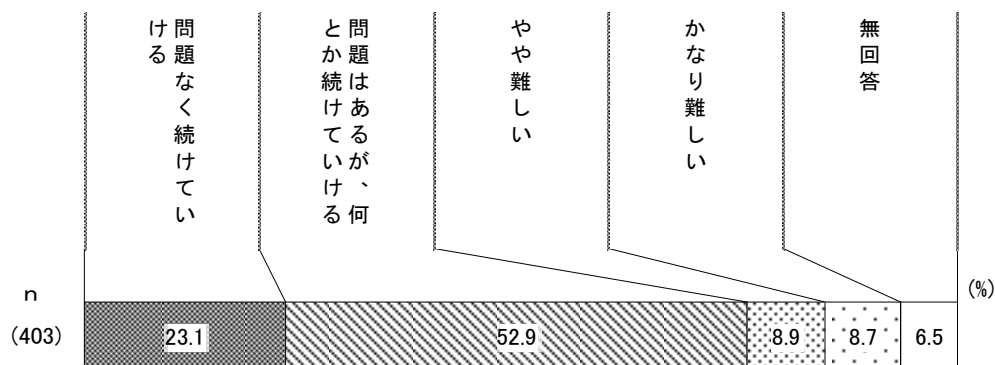




### (9-3) 働きながら介護を続けることの今後の見込み

問30-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。  
(ひとつだけに○)

働きながら介護を続けることの今後の見込みは、「問題なく続けていける」が23.1%で、「問題はあ  
るが、何とか続けていける」が52.9%と最も高くなっています。これらを合わせた《続けていける》  
は76.0%です。一方、「やや難しい」(8.9%)と「かなり難しい」(8.7%)を合わせた、《難しい》は  
17.6%みられます。

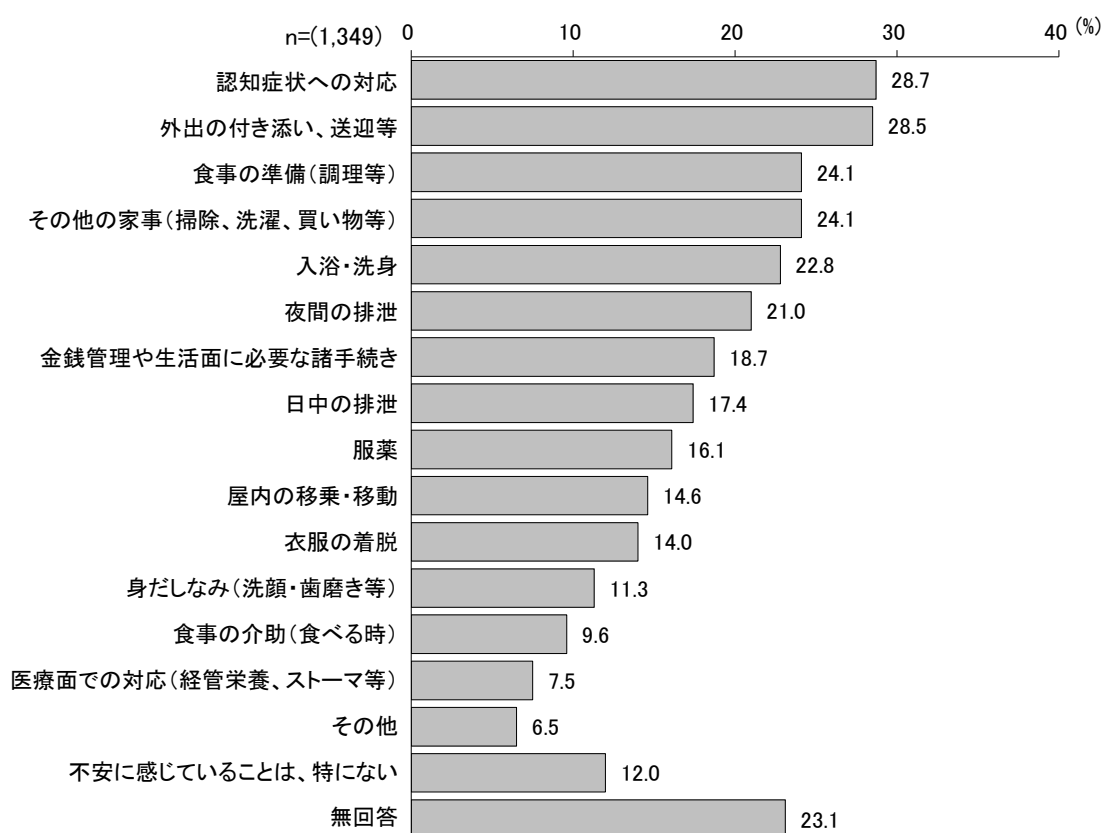


## (10) 主な介護者が不安に感じている介護等

問31 主な介護者の方が不安に感じている介護等について、おたずねします。  
(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が不安に感じている介護等では、《不安を感じている介護等がある》が64.9%で、「不安を感じていることは、特にない」が12.0%となっています。

不安を感じている介護等の中では、「認知症状への対応」が28.7%、「外出の付き添い、送迎等」が28.5%と約3割でおおむね並んで高くなっています。次いで「食事の準備（調理等）」と「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が24.1%、「入浴・洗身」が22.8%、「夜間の排泄」が21.0%などとなっています。



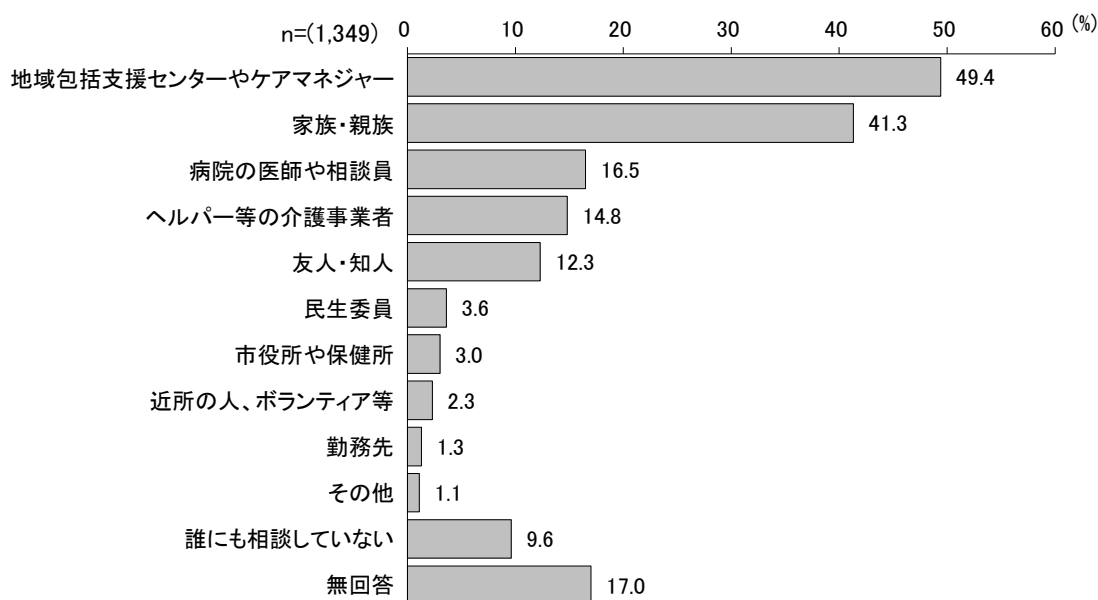
※《不安を感じている介護等がある》＝100%－「不安を感じていることは、特にない」－無回答

## (11) 主な介護者の相談先

問32 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の相談先としては、「地域包括支援センターやケアマネジャー」が49.4%で最も高く、次いで「家族・親族」が41.3%となっています。一方、「誰にも相談していない」が9.6%みられます。

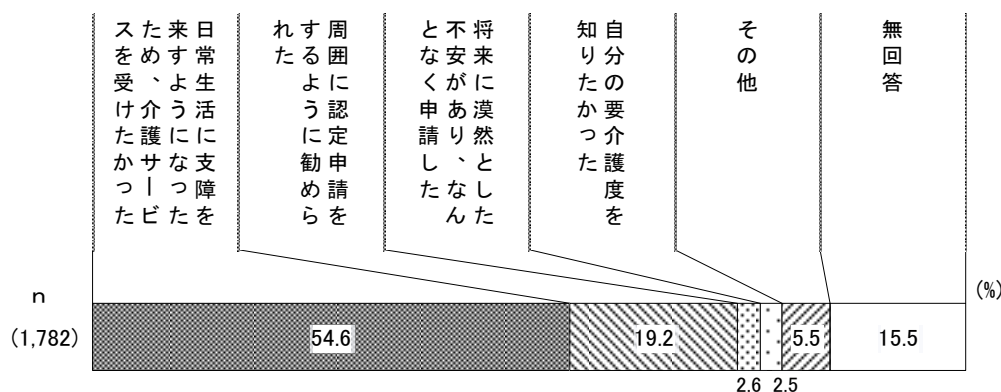


## 7 介護保険について

### (1) 要介護認定を申請した理由

問33 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

要介護認定を申請した理由は、「日常生活に支障を来すようになったため、介護サービスを受けたかった」が54.6%で最も高く、次いで「周囲に認定申請をするように勧められた」が19.2%となっています。

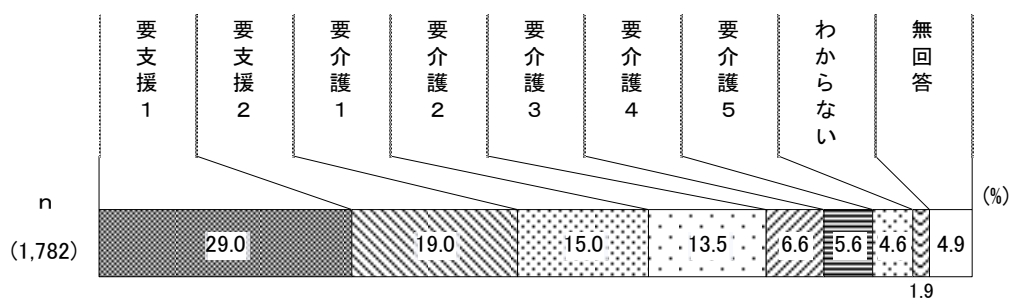


### (2) 要介護度

問34 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

要介護度は、「要支援1」が29.0%で最も高く、次いで「要支援2」が19.0%、「要介護1」が15.0%などとなっています。

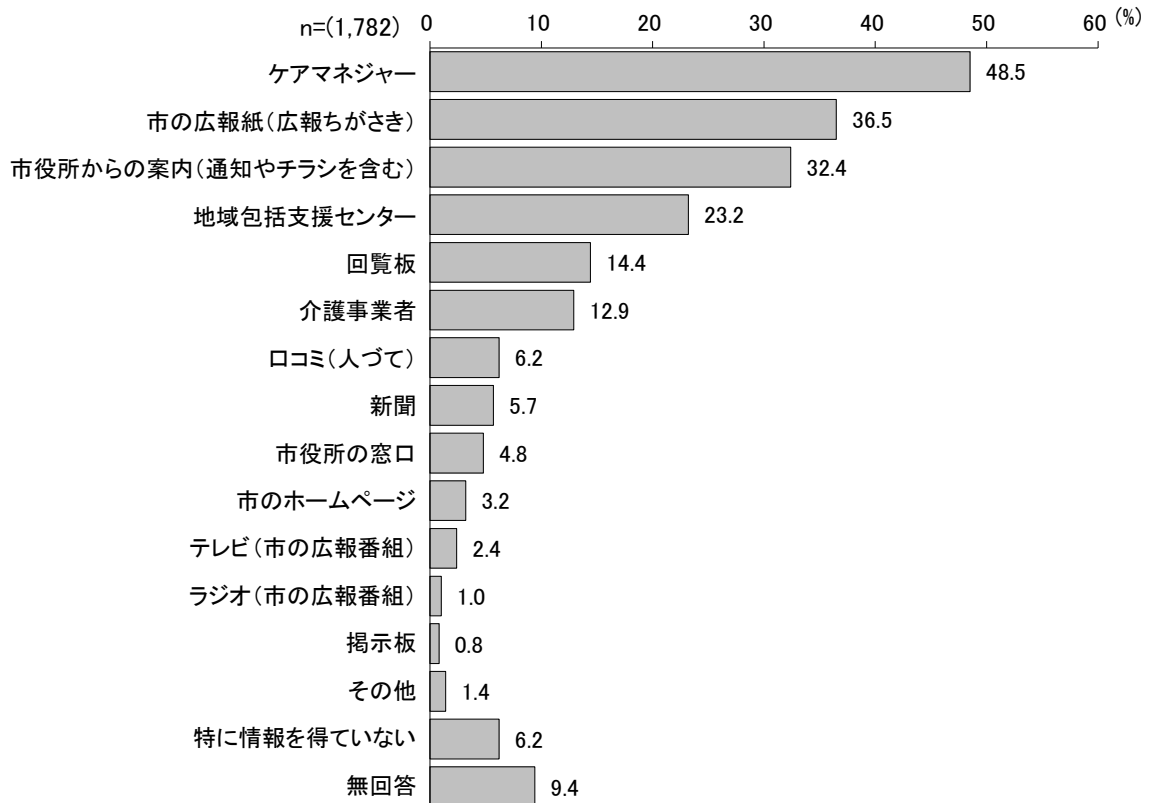
「要支援1」と「要支援2」を合わせた《要支援》は48.0%、「要介護1」と「要介護2」(13.5%)を合わせた《軽度要介護者》は28.5%、「要介護3」(6.6%)、「要介護4」(5.6%)、「要介護5」(4.6%)を合わせた《中重度要介護者》は16.8%です。



### (3) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源

問35 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのような手段を通じて入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

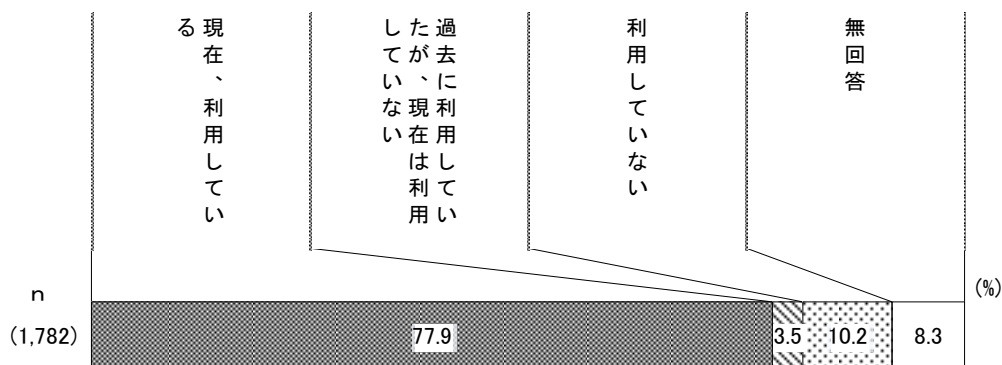
市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源としては、「ケアマネジャー」が48.5%で最も高く、次いで「市の広報紙(広報ちがさき)」が36.5%、「市役所からの案内(通知やチラシを含む)」が32.4%、「地域包括支援センター」が23.2%などとなっています。一方、「特に情報を得ていない」が6.2%みられます。



### (4) 介護保険サービスの利用状況

問36 介護保険サービスの利用についておたずねします。(ひとつだけに○)

介護保険サービスの利用状況は、「現在、利用している」が77.9%となっています。一方、「過去に利用していたが、現在は利用していない」が3.5%、「利用していない」が10.2%で、これらを合わせた《未利用》は13.7%です。



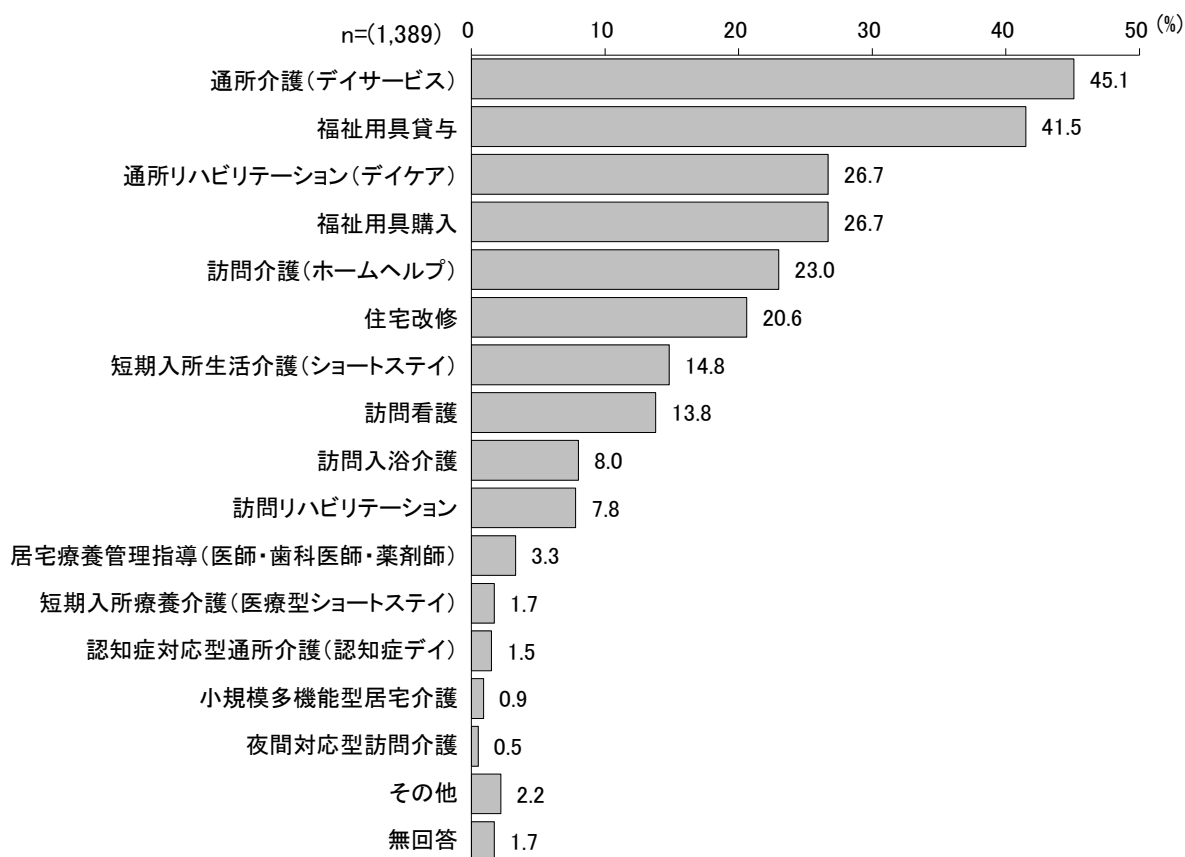
#### (4-1) 利用している介護保険サービスの種類

**【問 36 で「1. 現在、利用している」に○をつけた方におたずねします。】**

問36-1 利用されている介護サービスの種類に○をしてください。

(あてはまるものすべてに○)

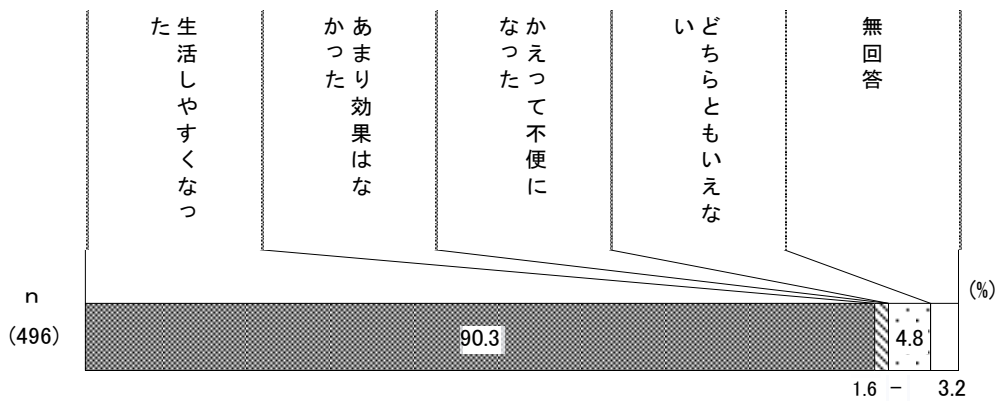
介護保険サービスを「現在、利用している」と回答した方に、利用している介護サービスの種類をたずねたところ、「通所介護（デイサービス）」が45.1%で最も高く、次いで「福祉用具貸与」が41.5%となっています。このほか、「通所リハビリテーション（デイケア）」と「福祉用具購入」が26.7%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が23.0%などとなっています。



(4-1-1) 福祉用具購入や住宅改修の効果

**【問 36-1 で「9. 福祉用具購入」、「11. 住宅改修」に○をつけた方におたずねします。】**  
 問36-1-1 福祉用具や住宅改修を利用した効果はありましたか。(ひとつだけに○)

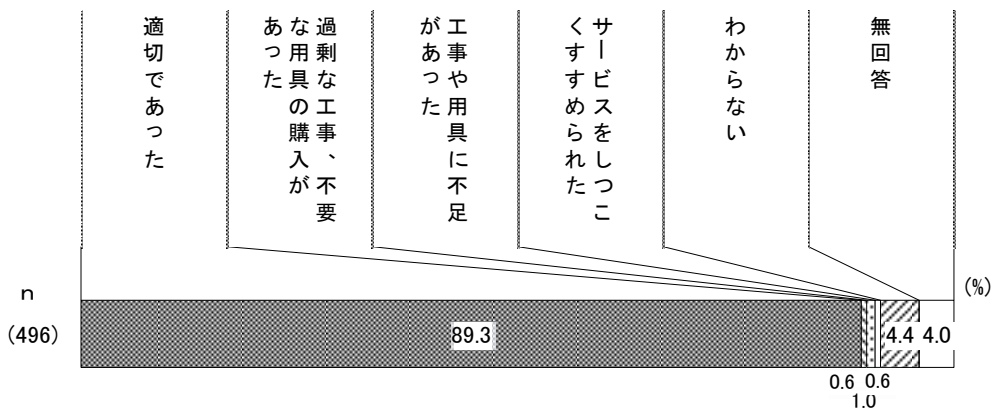
利用している介護保険サービスの種類で、「福祉用具購入」、「住宅改修」を回答した方に、利用した効果をたずねたところ、「生活しやすくなった」が90.3%となっています。



(4-1-2) 福祉用具購入や住宅改修の内容の適切さ

問36-1-2 福祉用具や住宅改修の内容は適切でしたか。(ひとつだけに○)

利用している介護保険サービスの種類で、「福祉用具購入」、「住宅改修」を回答した方に、福祉用具購入や住宅改修の内容の適切さをたずねたところ、「適切であった」が89.3%となっています。



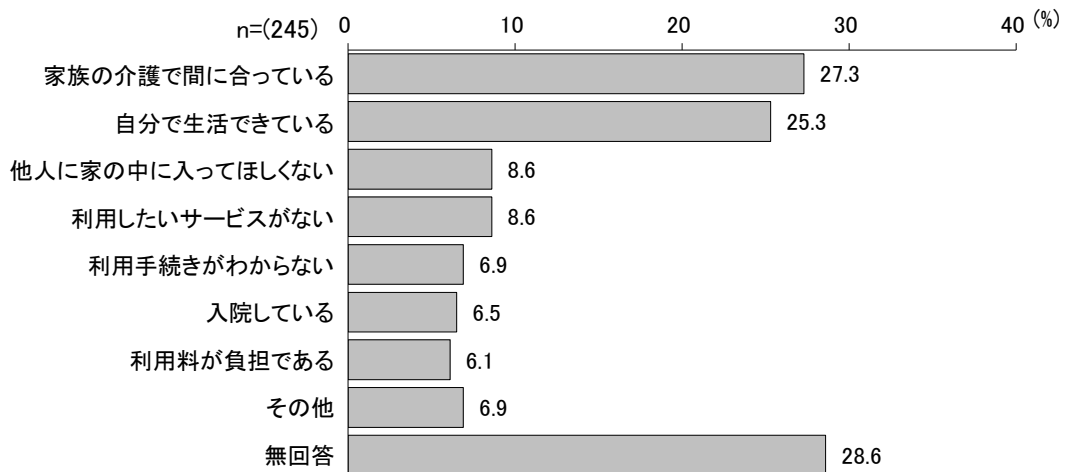
(4-2) 介護保険サービスを利用していない理由

【問36で「2. 過去に利用していたが、現在は利用していない」、「3. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。】

問36-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを《未利用》と回答した方に、その理由をたずねたところ、「家族の介護で間に合っている」が27.3%、「自分で生活できている」が25.3%とおおむね並んで高くなっています。

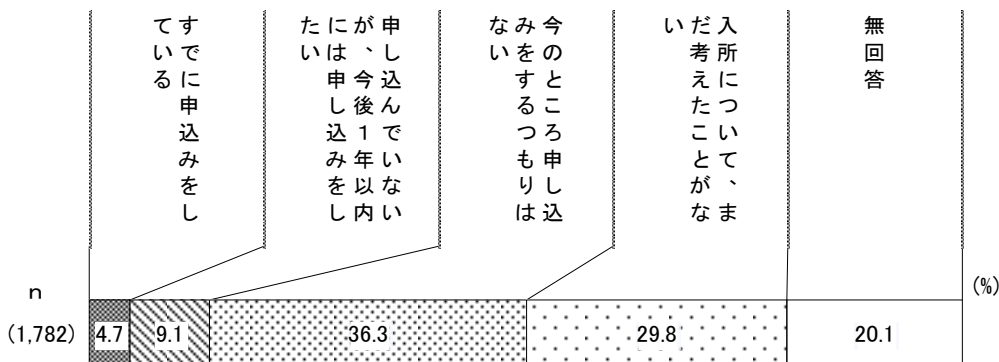


(5) 施設等への入所・入居の検討状況

問37 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、おたずねします。

(ひとつだけに○)

施設等への入所・入居の検討状況は、「すでに申込みをしている」が4.7%、「申し込んでいないが、今後1年以内には申込みをしたい」が9.1%となっています。一方、「今のところ申込みをするつもりはない」が36.3%で最も高く、次いで「入所について、まだ考えたことがない」が29.8%となっています。

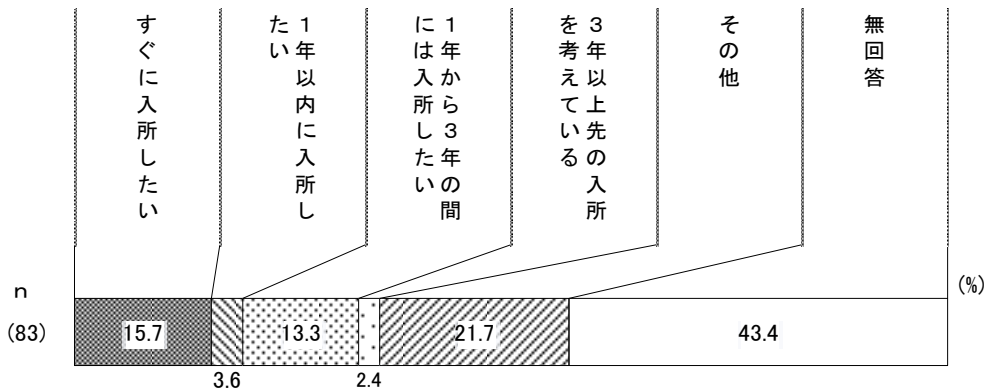




(5-1) 入所希望時期

**【問37で「1. すでに申し込みをしている」に○をつけた方におたずねします。】**  
**問37-1 入所の時期は、いつごろをご希望ですか。(ひとつだけに○)**

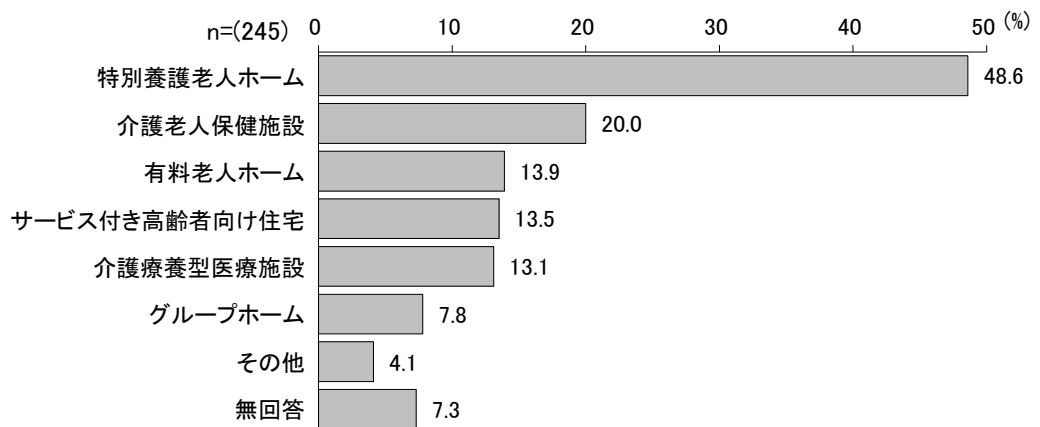
施設等への入所・入居の検討状況で、「すでに申し込みをしている」と回答した方に、入所希望時期をたずねたところ、「すぐに入所したい」が15.7%、「1年以内に入所したい」が3.6%、「1年から3年の間に1年以内に入所したい」が21.7%、「3年以上先の入所を考慮している」が13.3%、「その他」が43.4%、「無回答」が2.4%となっていました。



(5-2) 入所・入居の申し込みをしている (申し込みをしたい) 施設等

**【問37で「1. すでに申し込みをしている」、「2. 申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい」に○をつけた方におたずねします。】**  
**問37-2 申し込みをしている (申し込みをしたい) 施設等は、どちらですか。(あてはまるものすべてに○)**

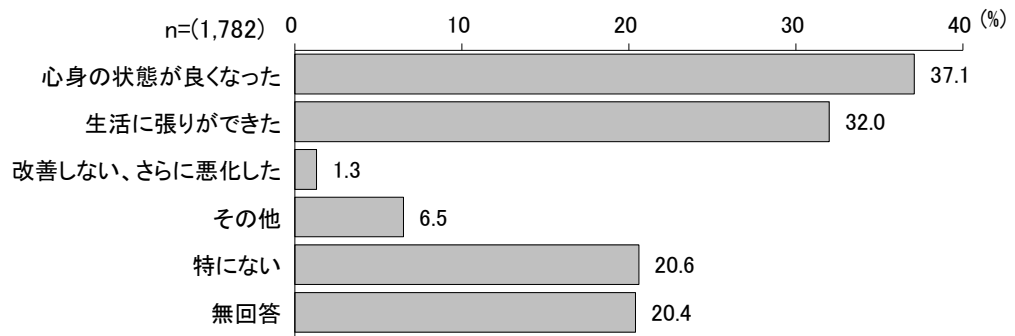
施設等への入所・入居の検討状況で、「すでに申し込みをしている」、「申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい」と回答した方に、申し込みをしている (申し込みをしたい) 施設等をたずねたところ、「特別養護老人ホーム」が48.6%で最も高く、次いで「介護老人保健施設」が20.0%となっています。



(6) 介護保険サービスを利用したことによる変化

問38 介護保険サービスを利用したことで、次にあげるような変化はありましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

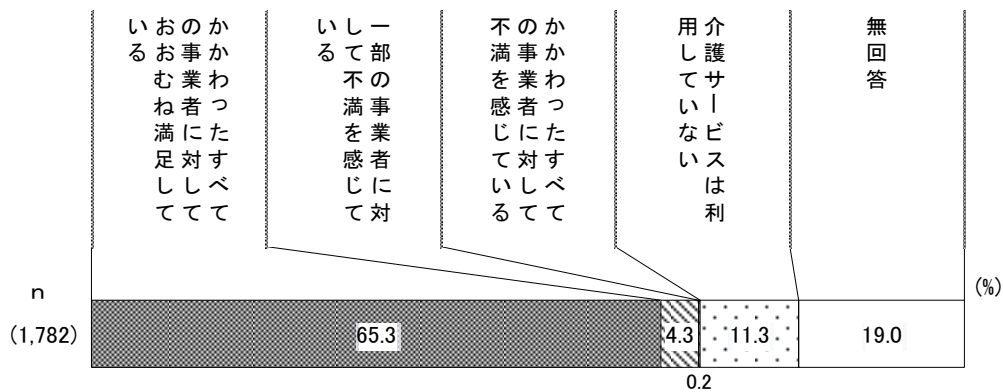
介護保険サービスを利用したことによる変化としては、「心身の状態が良くなった」が37.1%で最も高く、次いで「生活に張りができた」が32.0%などとなっています。一方、「特にない」が20.6%です。



(7) 介護保険サービス提供事業者の満足度

問39 過去1ヶ月間に利用した、ケアマネジャーを除く介護保険サービス提供事業者に対する満足度はいかがですか。(ひとつだけに○)

介護保険サービス提供事業者の満足度は、「かかわったすべての事業者に対しておおむね満足している」が65.3%で最も高くなっていますが、「一部の事業者に対して不満を感じている」が4.3%みられます。

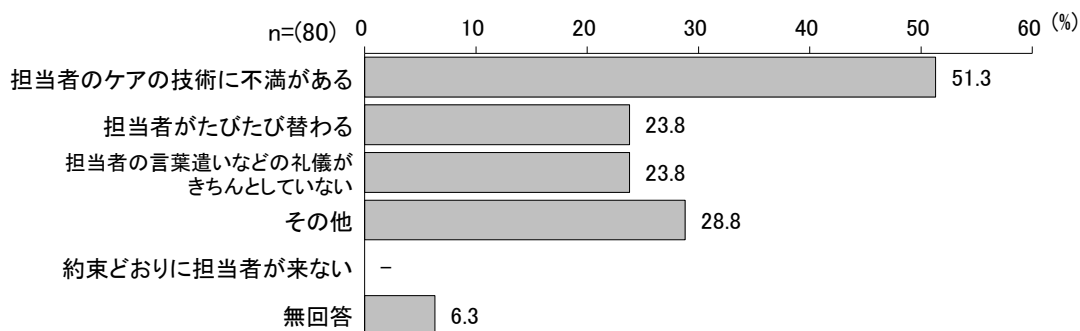


## (7-1) 介護保険サービス提供事業者に不満を感じた理由

【問39で「2. 一部の事業者に対して不満を感じている」、「3. かかわったすべての事業者に対して不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。

問39-1 具体的にはどのような不満をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービス提供事業者の満足度で、「一部の事業者に対して不満を感じている」、「かかわったすべての事業者に対して不満を感じている」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「担当者のケアの技術に不満がある」が51.3%で最も高くなっています。

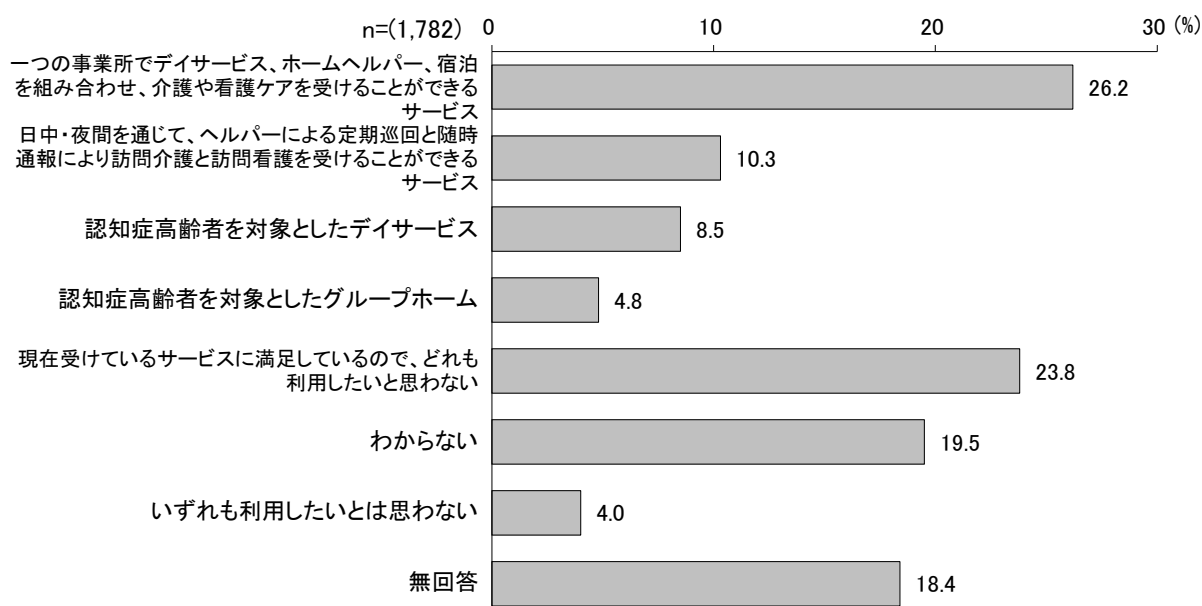


## (8) 今後利用したい介護保険サービス

問40 次のサービスのうち、今後、利用してみたいサービスはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

今後利用したい介護保険サービスとしては、「一つの事業所でデイサービス、ホームヘルパー、宿泊を組み合わせ、介護や看護ケアを受けることができるサービス」が26.2%で最も高く、次いで「日中・夜間を通じて、ヘルパーによる定期巡回と随時通報により訪問介護と訪問看護を受けることができるサービス」が10.3%となっています。一方、「現在受けているサービスに満足しているので、どれも利用したいと思わない」が23.8%です。

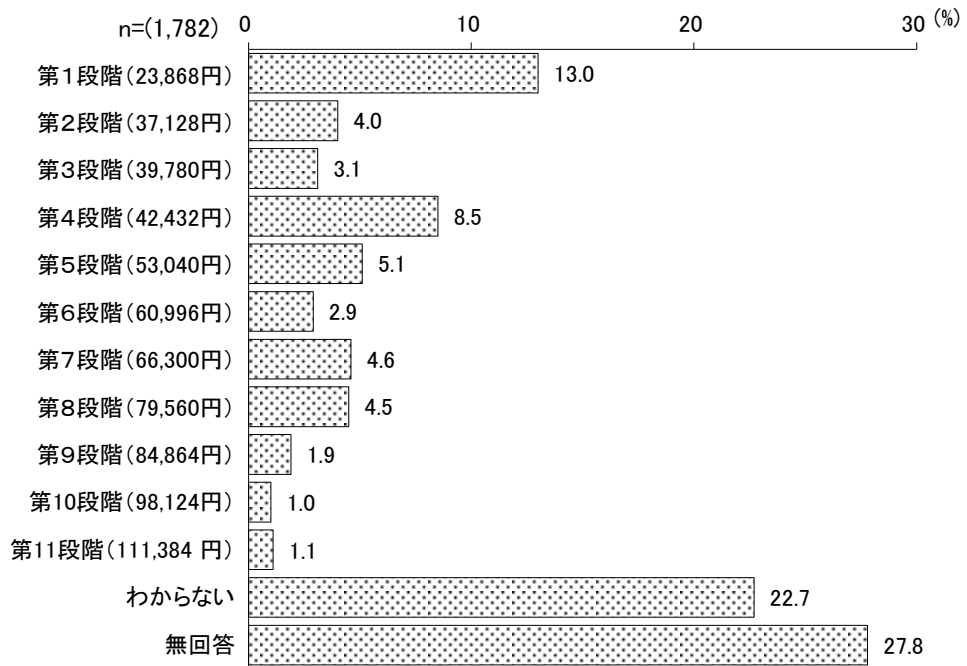


(9) 介護保険の所得段階区分

問41 あなたの介護保険料の「所得段階区分」は、どの段階ですか。

平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)

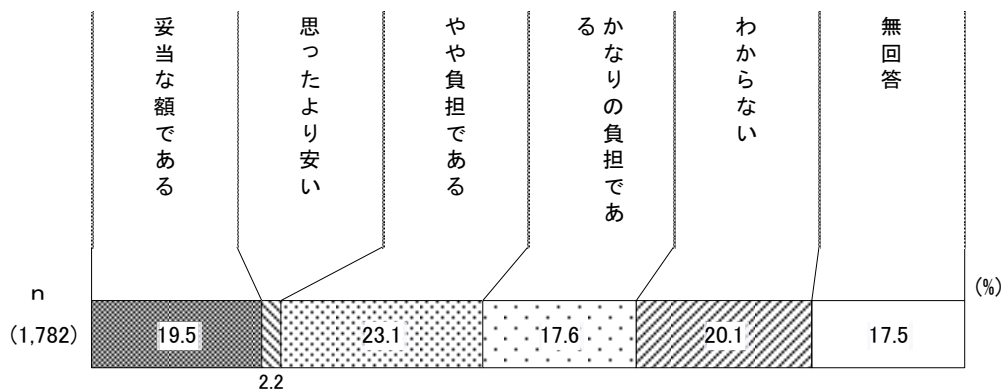
介護保険の所得段階区分では、「第1段階(23,868円)」が13.0%で最も高く、次いで「第4段階(42,432円)」が8.5%などとなっています。



(10) 介護保険料の支払い額について

問42 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

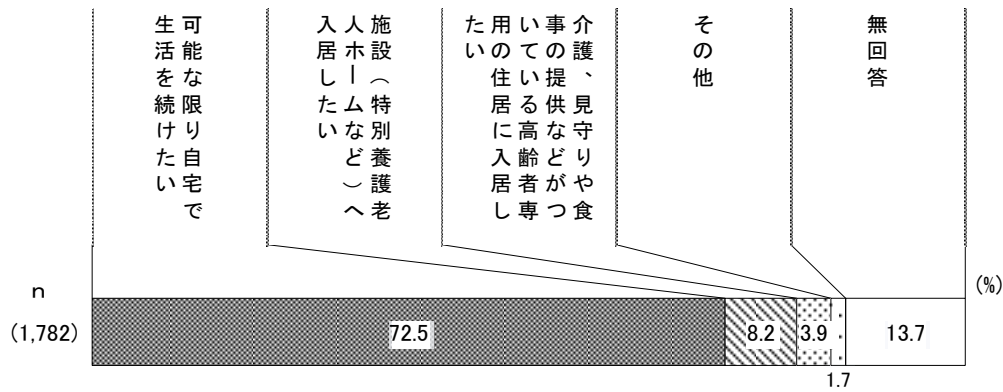
介護保険料の支払い額については、「妥当な金額である」が19.5%、「思ったより安い」が2.2%となっています。一方、「やや負担である」が23.1%で最も高く、「かなりの負担である」(17.6%)を合わせた《負担である》は40.7%です。



(11) 今後介護を受けたい場所

問43 あなたは、今後どのような場所で介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

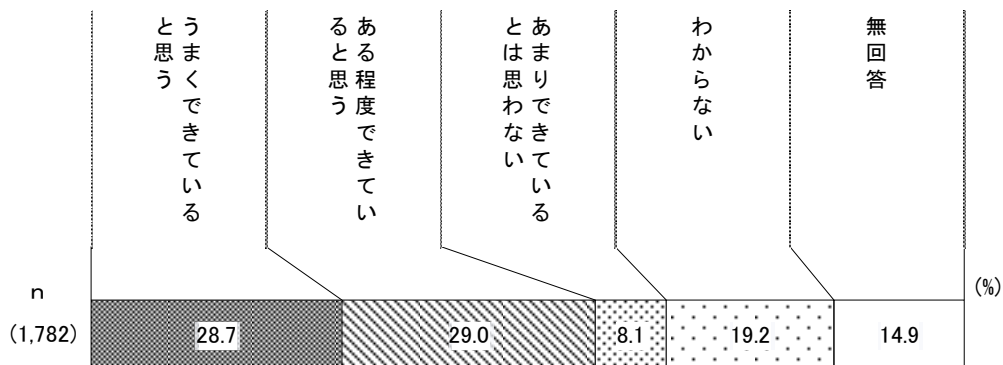
今後介護を受けたい場所では、「可能な限り自宅で生活が続けたい」が72.5%で最も高くなっています。次いで「施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい」が8.2%となっています。



(12) 受けている介護サービスと医療機関の連携状況

問44 あなたの受けている介護サービスについて、医療機関（病院、診療所等）との連携はうまくできていると思いますか。(ひとつだけに○)

受けている介護サービスと医療機関の連携状況では、「うまくできていると思う」が28.7%、「ある程度できていると思う」が29.0%とおおむね並んで高くなっています。これらを合わせた《できていると思う》は57.7%です。一方、「あまりできているとは思わない」が8.1%みられます。

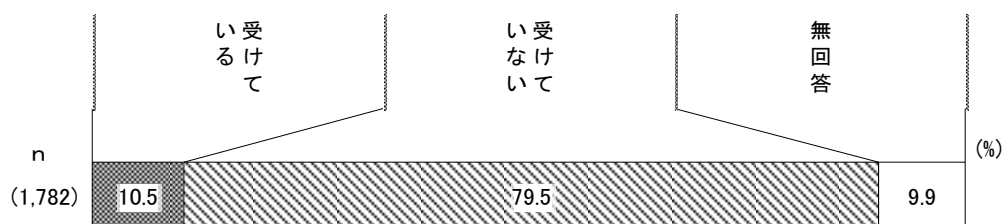


## 8 今後の「支え合い」のあり方について

### (1) 介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援

問45 現在、近隣の住民、ボランティア団体などによる見守り、掃除・洗濯・買い物・ゴミ出しなどの家事援助、その他介護保険サービス以外で地域の支え合いによる支援を受けていますか。

介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援を「受けている」は10.5%で、「受けていない」が79.5%と高くなっています。

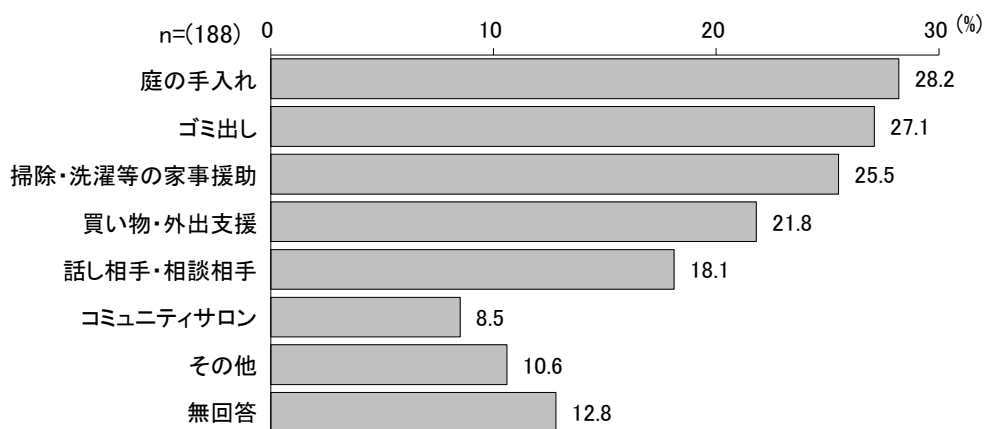


#### (1-1) 受けている地域の支え合いによる支援の内容

【問45で「1. 受けている」に○をつけた方におたずねします。】

問45-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

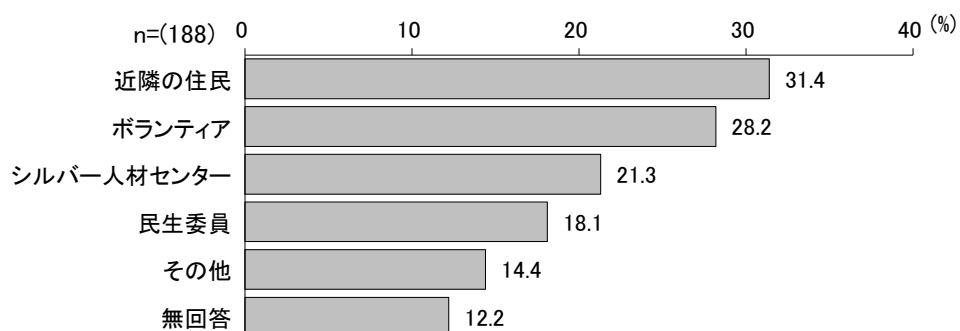
地域の支え合いによる支援を「受けている」と回答した方に、受けている支援の内容をたずねたところ、「庭の手入れ」が28.2%、「ゴミ出し」が27.1%とおおむね並んで高く、次いで「掃除・洗濯等の家事援助」が25.5%などとなっています。



## (1-2) 地域の支え合いによる支援の提供者

問45-2 それはどなたからのサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

地域の支え合いによる支援を「受けている」と回答した方に、支援の提供者をたずねたところ、「近隣の住民」が31.4%、「ボランティア」が28.2%とおおむね並んで高くなっています。次いで「シルバー人材センター」が21.3%、「民生委員」が18.1%などとなっています。

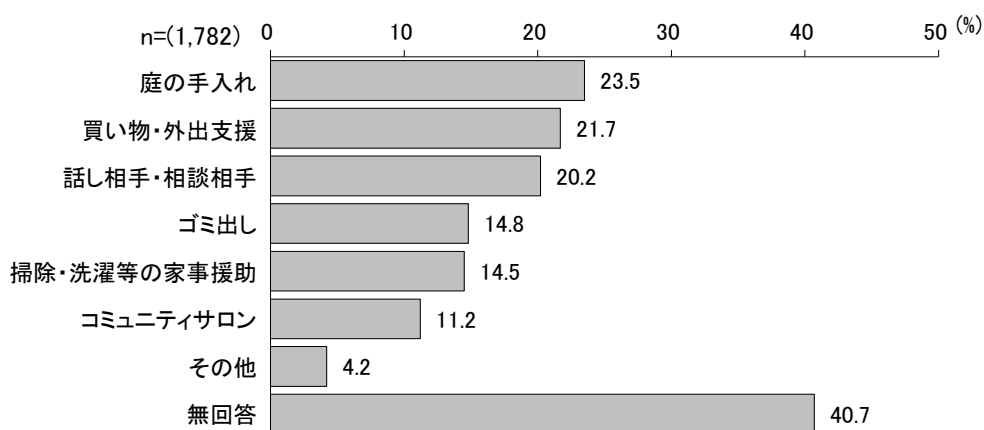


## (2) 地域の支え合いによる支援で希望するサービス

問46 近隣の住民、ボランティア団体などによる介護保険サービス以外の地域の支え合いにおいてどのようなサービスがあったら良いと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域の支え合いによる支援で希望するサービスとしては、「庭の手入れ」が23.5%、「買い物・外出支援」が21.7%、「話し相手・相談相手」が20.2%とおおむね並んで高くなっています。







## **第4章 要支援・要介護認定者 個別調査（施設）**



## 第4章 要支援・要介護認定者個別調査（施設）

本章では、施設の種類の違いを勘案して、他の章とは異なり、入所・入居している施設別の分析を中心に言及しています。

なお、介護療養型医療施設に入所している方の人数は少ないため、参考として掲載するものとし、分析には触れていません。

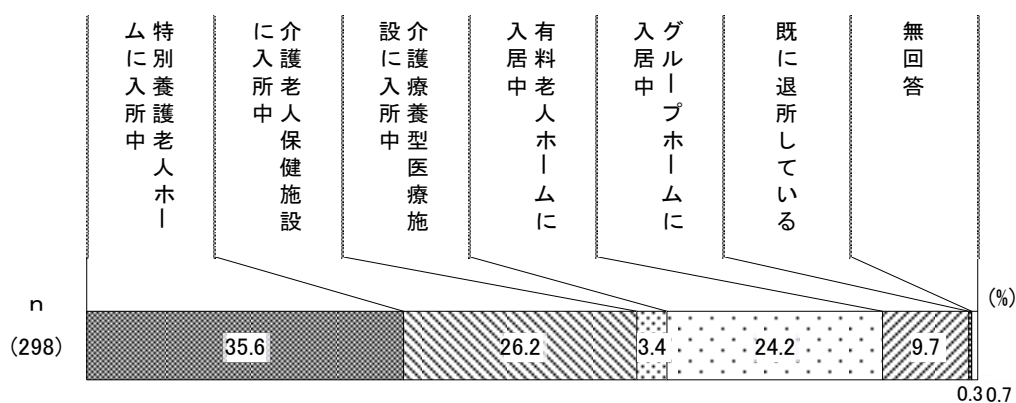
また、厳密には、介護3施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）と居住系サービス（有料老人ホーム、グループホーム）に分かれますが、便宜上、一括して「施設」という表現を用いています。

### 1 回答者について

#### (1) 入所・入居している施設と退所状況

調査対象者の入所・入居している施設は、「特別養護老人ホームに入所中」が35.6%で最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所中」が26.2%、「有料老人ホームに入居中」が24.2%などとなっています。

なお、回収された調査票298件のうち、調査実施時点で「既に退所している」との回答が1件、施設と退所状況に無回答が2件ありました。そのため、本調査の有効回答数は295件です。

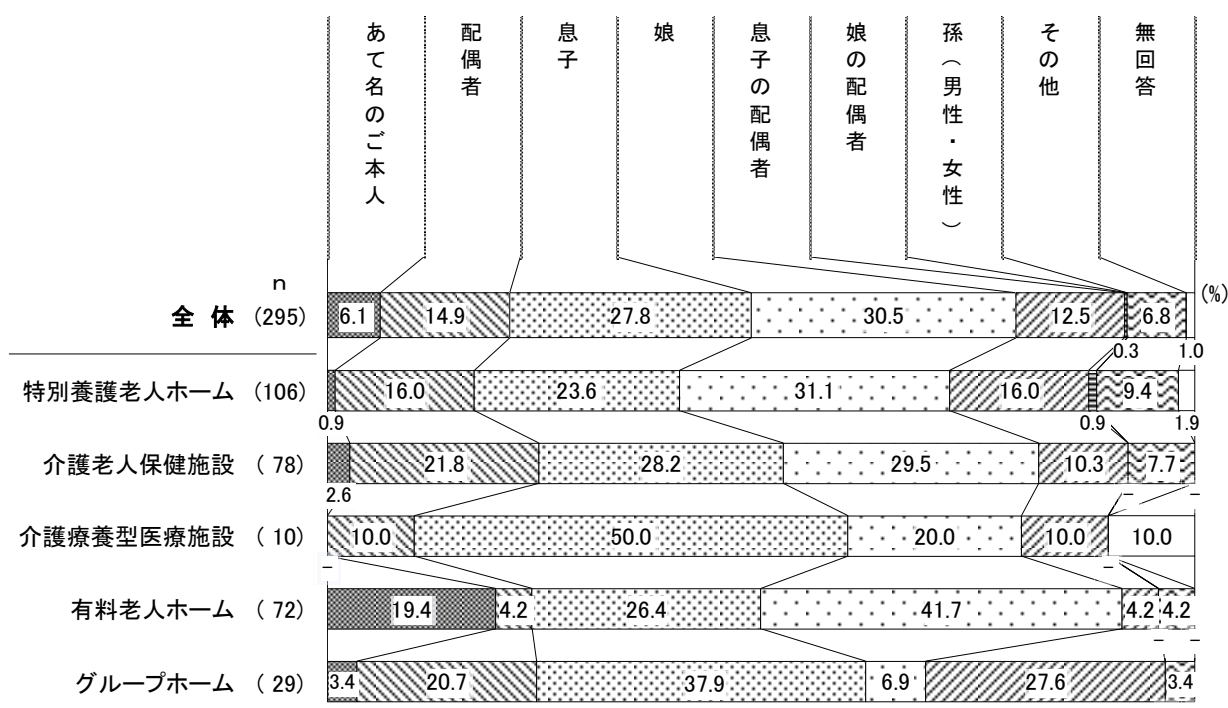


## (2) 調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけに○)

調査回答者は、“特別養護老人ホーム”の入所者、“介護老人保健施設”の入所者、“有料老人ホーム”の入居者では、それぞれの割合は異なりますが、「息子」か「娘」が高くなっています。なお、“有料老人ホーム”の入居者では「あて名のご本人」が19.4%みられます。

“グループホーム”の入居者では、「息子」が最も高くなっていますが、次いで“息子の配偶者”、“配偶者”などとなっています。

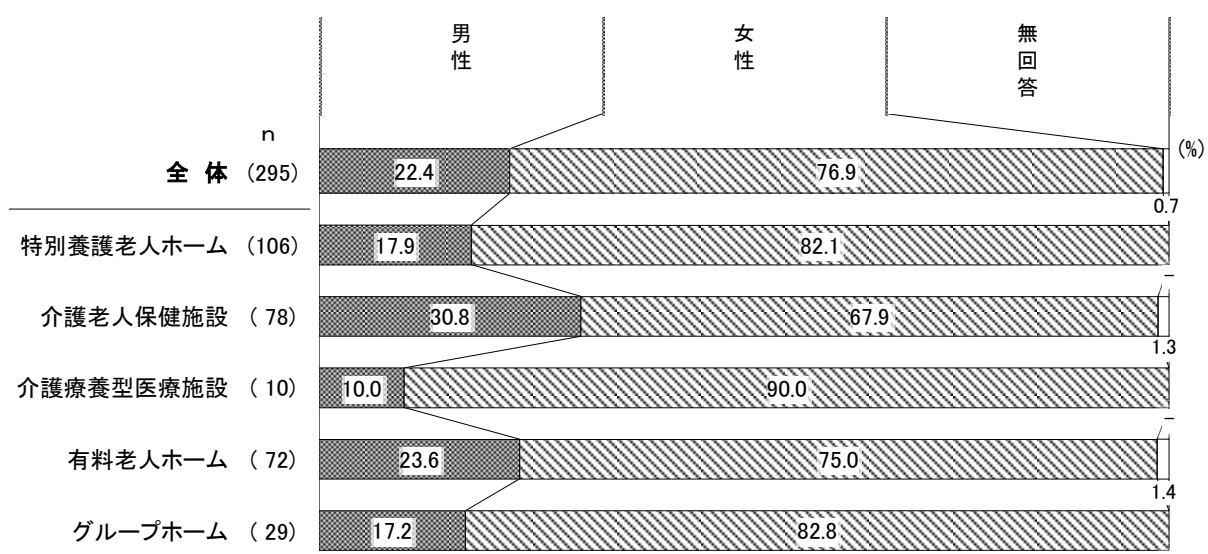


## 2 回答者（調査対象者）について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

調査対象者の性別は、いずれの施設の入所・入居者でも、「女性」の方が「男性」よりも高くなっています。なお、「男性」は、“介護老人保健施設”の入所者で30.8%と、他の施設に比べて高くなっています。

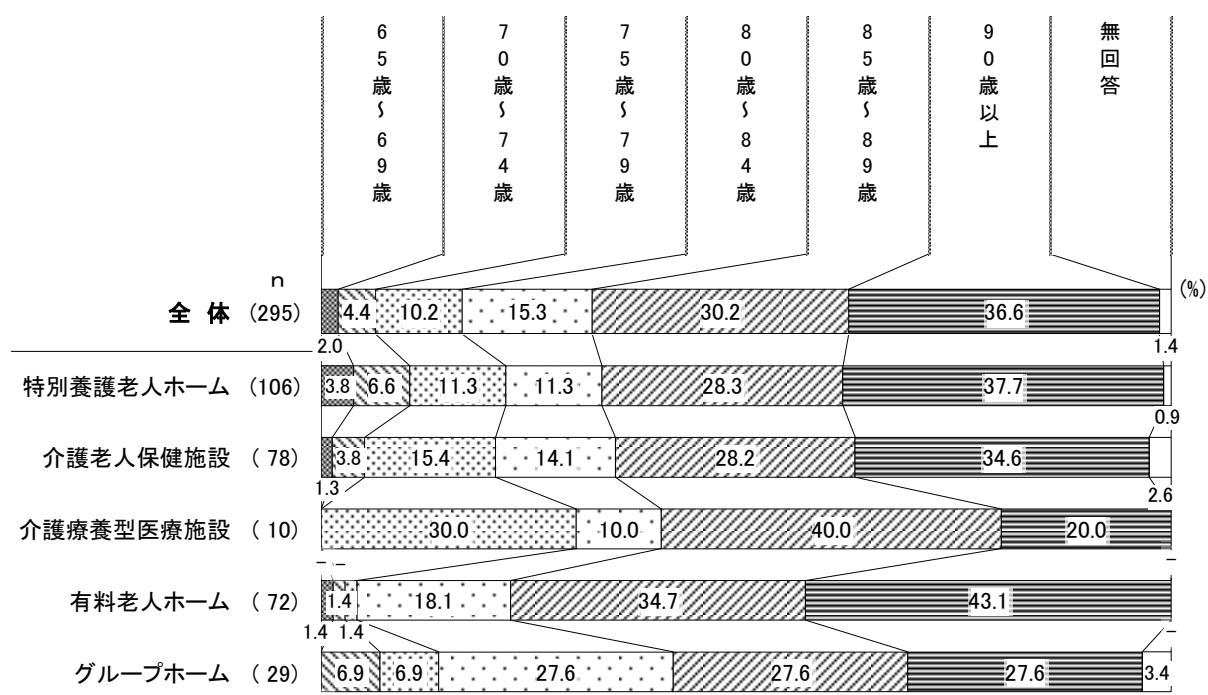


## (2) 年齢

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年10月1日現在の満年齢)

(ひとつだけに○)

調査対象者の年齢は、「90歳以上」がそれぞれの施設で高くなっていますが、“グループホーム”の入居者では、「80歳～84歳」、「85歳～89歳」が「90歳以上」と同じ割合で並んでいます。

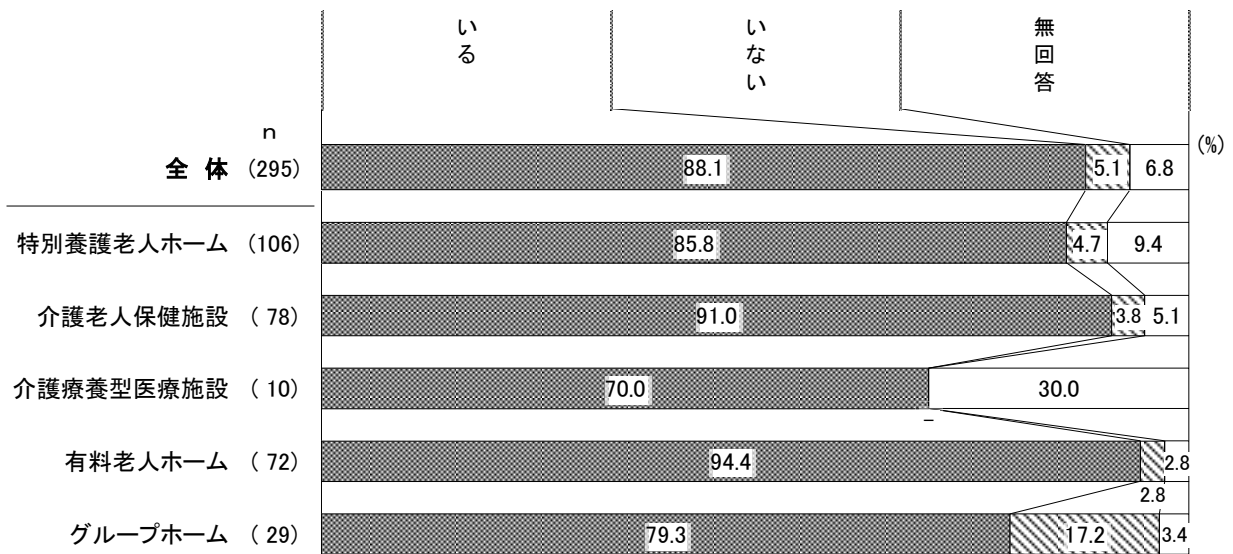


### 3 日常生活について

#### (1) 相談者の有無

問3 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。

相談者の有無では、いずれの施設の入所・入居者でも、「いる」の方が「いない」よりも高く、特に、「有料老人ホーム」の入居者と「介護老人保健施設」の入所者は、「いる」が9割以上となっています。一方、「いない」は、「グループホーム」の入居者で17.2%と、他の施設に比べて高くなっています。



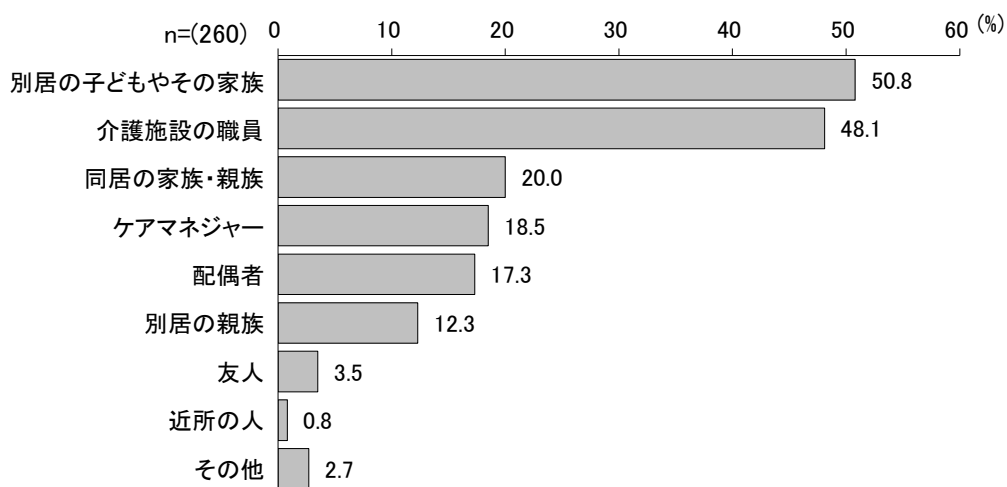
(1-1) 悩みや心配ごとの相談先

【問3で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

相談者が「いる」と回答した方に、誰に相談するかたずねたところ、いずれの施設の入所・入居者でも、「別居の子どもやその家族」か「介護施設の職員」が高くなっています。

詳細をみると、“特別養護老人ホーム”の入所者、“介護老人保健施設”の入所者では、「別居の子どもやその家族」と「介護施設の職員」がおおむね並んでいます。一方、“有料老人ホーム”の入居者では「別居の子どもやその家族」が「介護施設の職員」よりも約18ポイント高く、“グループホーム”の入居者では「介護施設の職員」が「別居の子どもやその家族」よりも約26ポイント高くなっています。



(%)

	n	別居の子どもやその家族	介護施設の職員	同居の家族・親族	ケアマネジャー	配偶者	別居の親族	友人	近所の人	その他
全体	260	50.8	48.1	20.0	18.5	17.3	12.3	3.5	0.8	2.7
特別養護老人ホーム	91	51.6	52.7	18.7	14.3	16.5	12.1	5.5	-	2.2
介護老人保健施設	71	40.8	42.3	32.4	22.5	25.4	11.3	1.4	1.4	1.4
介護療養型医療施設	7	42.9	-	42.9	-	-	-	-	-	14.3
有料老人ホーム	68	66.2	48.5	5.9	23.5	10.3	14.7	2.9	-	1.5
グループホーム	23	34.8	60.9	21.7	13.0	21.7	13.0	4.3	4.3	8.7



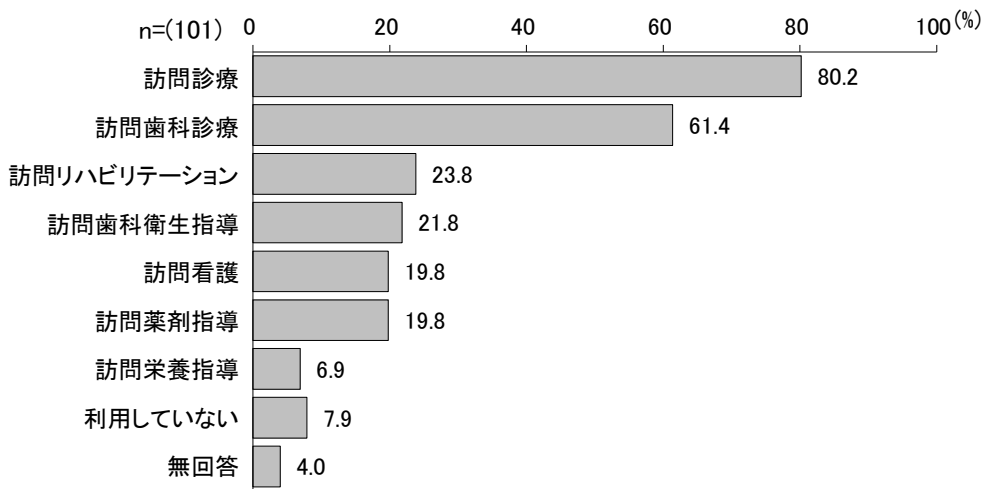
(2) 有料老人ホーム・グループホーム入居者の在宅医療サービス利用状況

【「4. 有料老人ホームに入居中」、「5. グループホームに入居中」に○をつけた方におたずねします。】

問4 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

“有料老人ホーム”の入居者と“グループホーム”の入居者に、在宅医療サービスの利用状況をたずねました。

その結果、どちらの施設の入居者とも「訪問診療」が8割前後で最も高く、次いで「訪問歯科診療」が6割台となっています。このほか、「訪問リハビリテーション」は“有料老人ホーム”の入居者が、“グループホーム”の入居者よりも約24ポイント高く、「訪問看護」でも“有料老人ホーム”の入居者は約18ポイント上回っています。



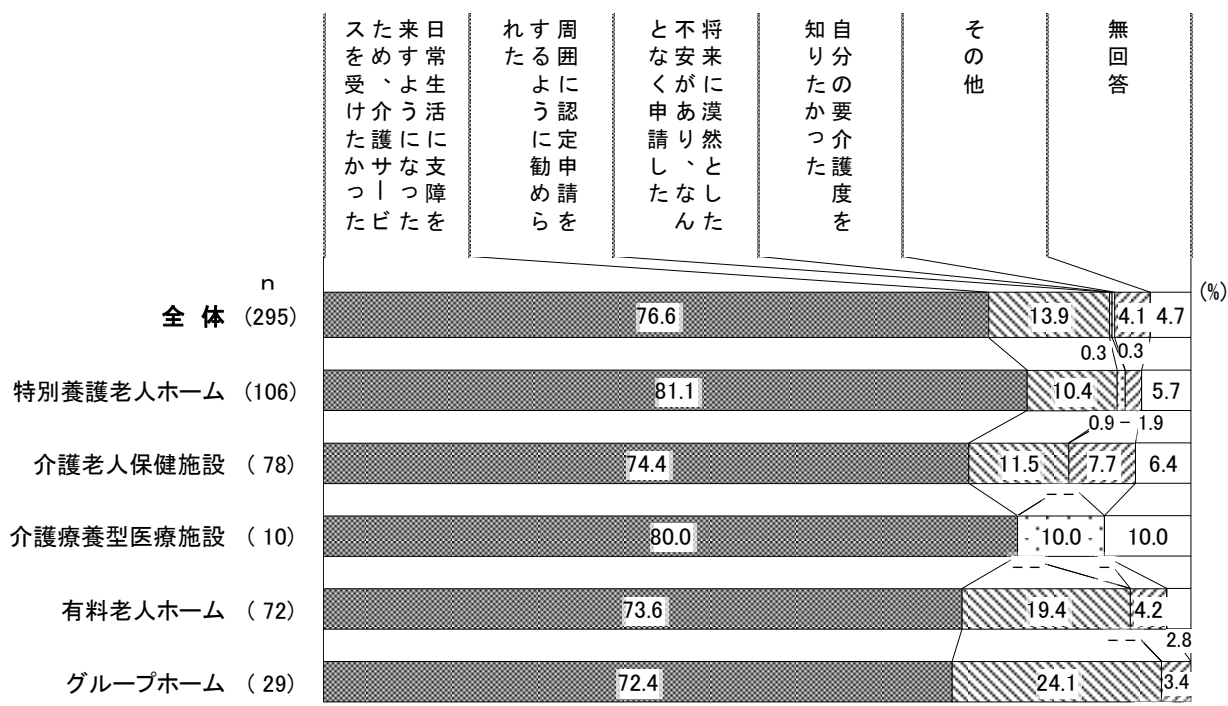
	n	訪問診療	訪問歯科診療	訪問リハビリテーション	訪問歯科衛生指導	訪問看護	訪問薬剤指導	訪問栄養指導	利用していない	無回答
全体	101	80.2	61.4	23.8	21.8	19.8	19.8	6.9	7.9	4.0
有料老人ホーム	72	79.2	61.1	30.6	23.6	25.0	19.4	9.7	6.9	5.6
グループホーム	29	82.8	62.1	6.9	17.2	6.9	20.7	-	10.3	-

## 4 介護保険について

### (1) 要介護認定を申請した理由

問5 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

要介護認定を申請した理由は、いずれの施設の入所・入居者でも、「日常生活に支障を来すようになったため、介護サービスを受けたかった」が最も高く、特に、“特別養護老人ホーム”の入所者は81.1%となっています。また、「周囲に認定申請をするように勧められた」は、“グループホーム”の入居者で24.1%と、他の施設に比べて高くなっています。



## (2) 要介護度

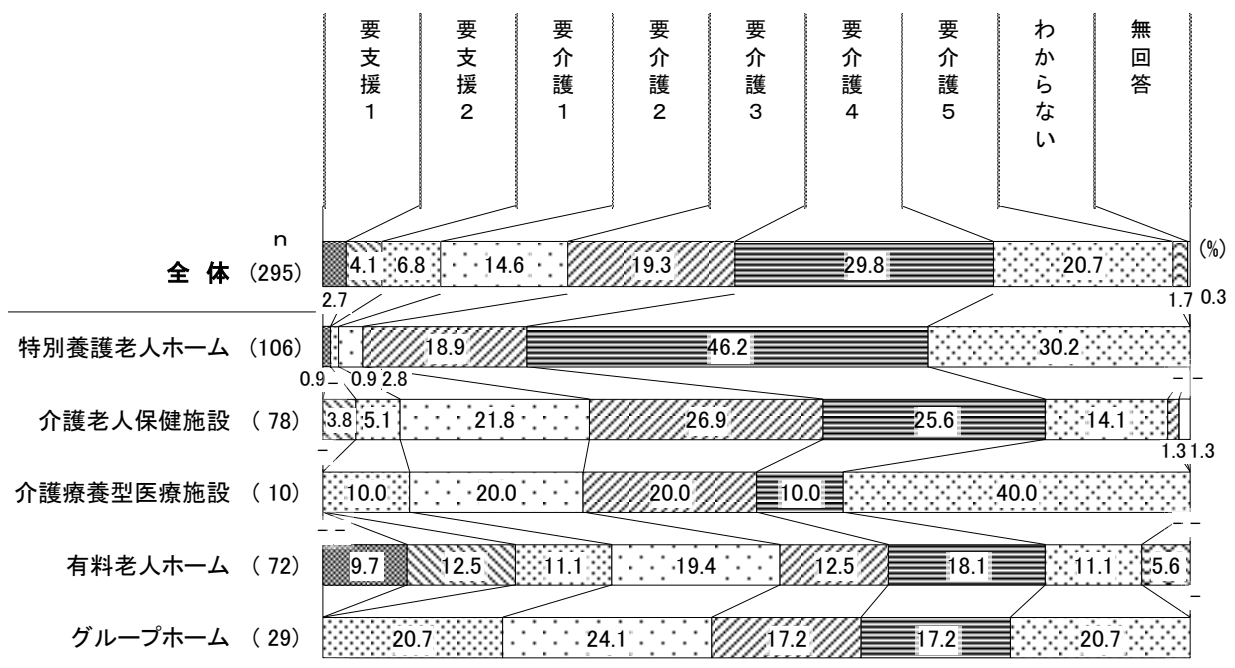
### 問6 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

要介護度は、“特別養護老人ホーム”の入所者では、「要介護4」が46.2%で最も高く、次いで「要介護5」が30.2%となっています。

“介護老人保健施設”の入所者では、「要介護3」(26.9%)と「要介護4」(25.6%)がおおむね並んで高くなっています。

“有料老人ホーム”の入居者では、「要介護2」(19.4%)と「要介護4」(18.1%)が約2割でおおむね並んでいます。また、他の施設と異なり、「要支援1」(9.7%)と「要支援2」(12.5%)が1割前後です。

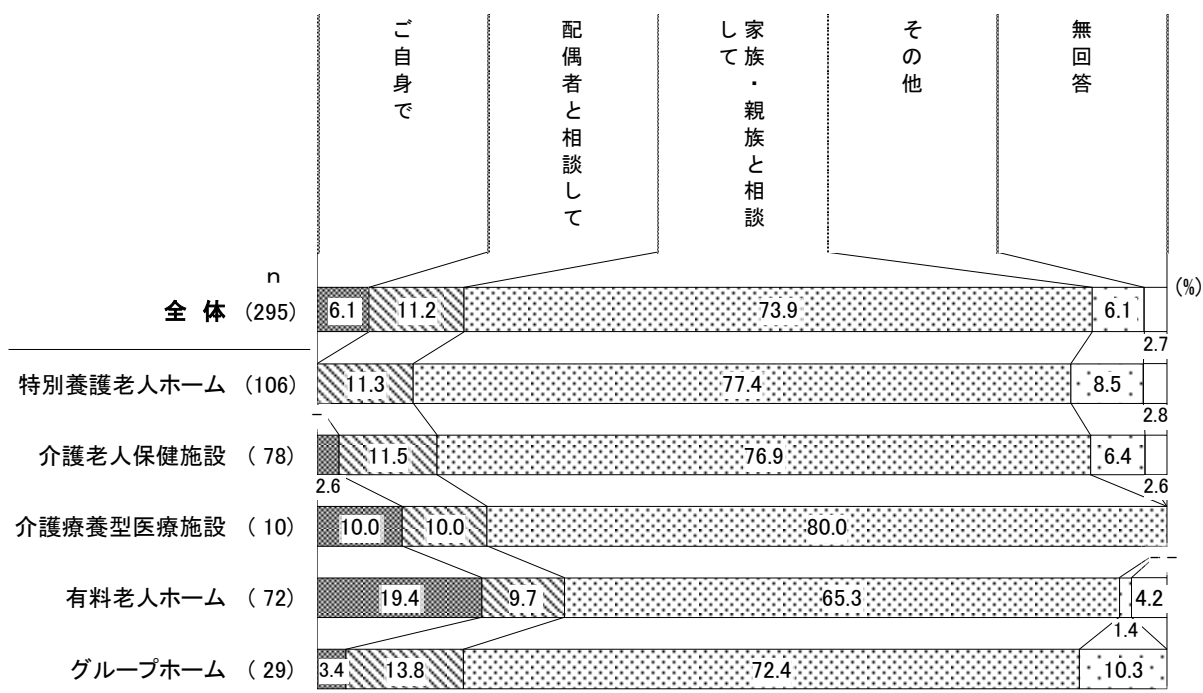
“グループホーム”の入居者では、「要介護2」(24.1%)が最も高く、次いで「要介護1」と「要介護5」が20.7%で並んでいます。



### (3) 施設入所の決定者

問7 現在の施設の入所を決めたのはどなたですか。(ひとつだけに○)

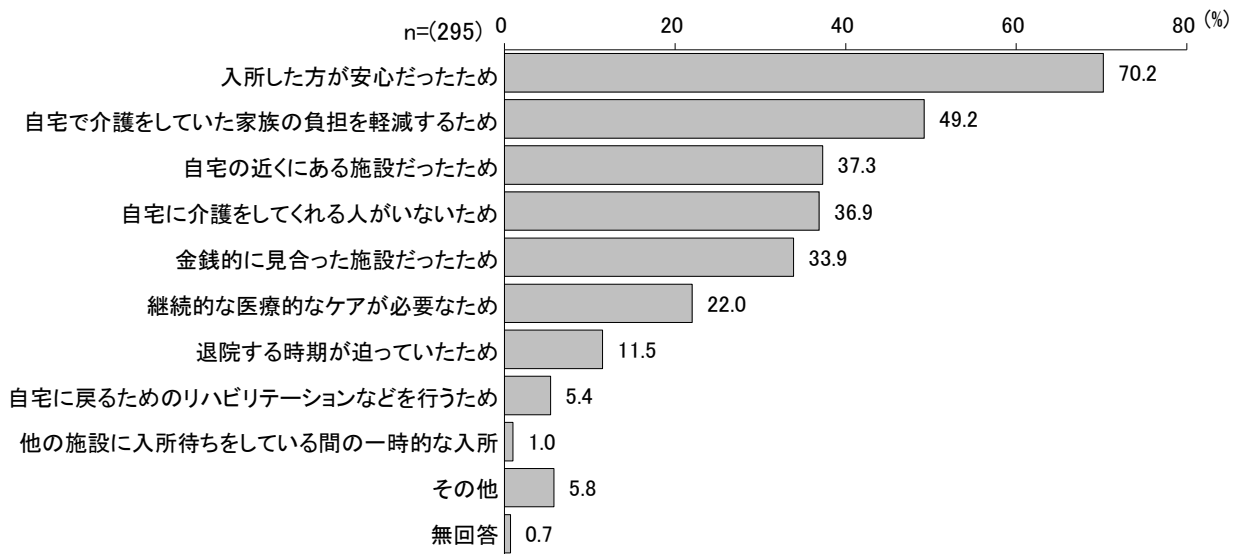
施設入所の決定者は、いずれの施設の入所・入居者でも、「家族・親族と相談して」が最も高くなっています。また、「ご自身で」は、“有料老人ホーム”の入居者で19.4%と、他の施設に比べて高くなっています。



(4) 施設入所の理由

問8 現在の施設に入所した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

施設入所の理由は、いずれの施設の入所・入居者でも、「入所した方が安心だったため」が最も高く、特に、“特別養護老人ホーム”の入所者と“有料老人ホーム”の入居者は7割台半ばとなっています。2番目に高いのは、“介護老人保健施設”の入所者を除くと、「自宅で介護をしていた家族の負担を軽減するため」です。一方、“介護老人保健施設”の入所者では「自宅に介護をしてくれる人がいないため」が2番目に高くなっています。

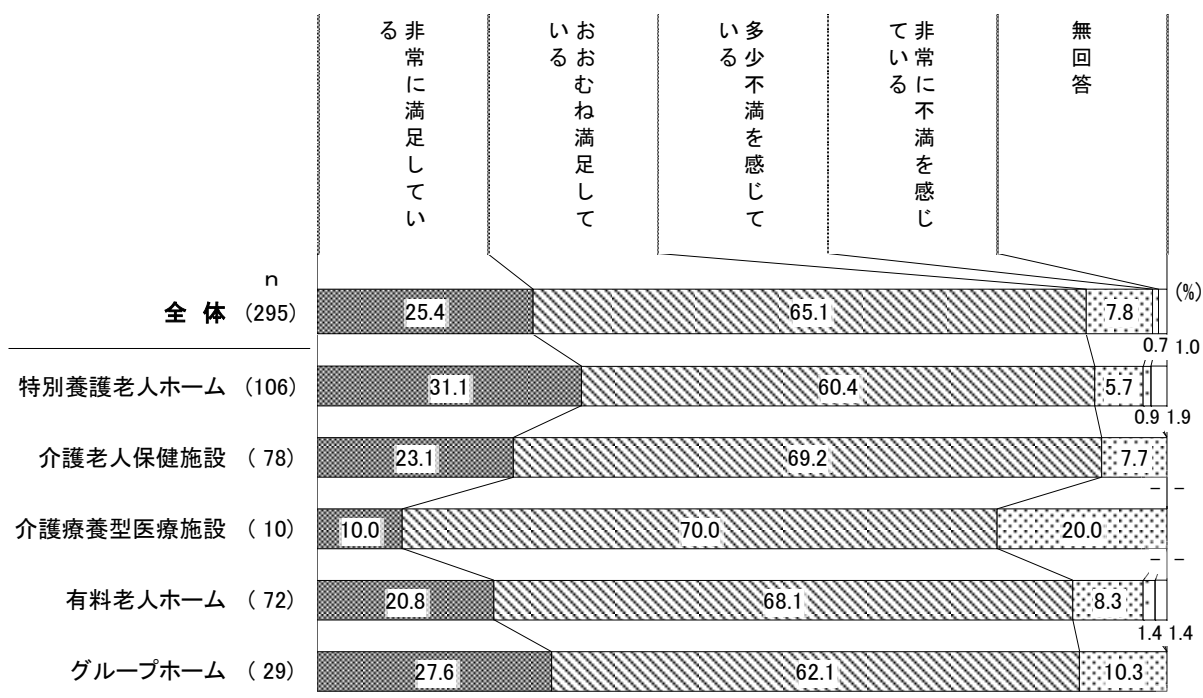


	n	た入 め所 した 方 が 安 心 だ っ た	族自 の宅 の負 担介 護を 軽減 する ため	だ自 宅の た近 く に あ る 施 設	人が 宅に 介護 をし て く れ る	だ金 銭的 に見 合っ た施 設	必継 要的 な医 療的 なケ アが	た退 院す る時 期が 迫っ てい	たリ 宅に 戻 るた めの リハ ビリ テー シ ョ ン	て他 の施 設に 一入 所待 ちを し	そ 他	無 回 答
全 体	295	70.2	49.2	37.3	36.9	33.9	22.0	11.5	5.4	1.0	5.8	0.7
特別養護老人ホーム	106	73.6	56.6	38.7	32.1	46.2	11.3	7.5	-	-	5.7	1.9
介護老人保健施設	78	67.9	39.7	35.9	46.2	34.6	29.5	17.9	19.2	2.6	1.3	-
介護療養型医療施設	10	40.0	30.0	30.0	60.0	30.0	60.0	20.0	-	-	-	-
有料老人ホーム	72	75.0	44.4	37.5	34.7	27.8	29.2	13.9	1.4	-	9.7	-
グループホーム	29	62.1	65.5	37.9	27.6	3.4	10.3	-	-	3.4	10.3	-

## (5) 施設サービスの満足度

問9 現在、入居中の施設が提供するサービスに満足していますか。(ひとつだけに○)

施設サービスの満足度は、「非常に満足している」と「おおむね満足している」を合わせた《満足している》が、いずれの施設の入所・入居者でも9割前後と高くなっています。



(5-1) 施設サービスに不満を感じている内容

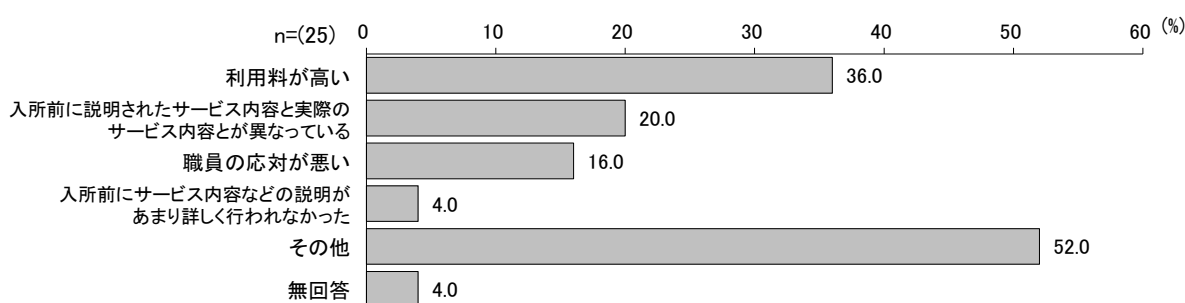
【問9で「3. 多少不満を感じている」、「4. 非常に不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。

問9-1 具体的に感じていらっしゃる内容についてご記入ください。

(あてはまるものすべてに○)

施設サービスの満足度で、「多少不満を感じている」、「非常に不満を感じている」と回答した方に、不満を感じている内容をたずねました。

それぞれの施設の人数が少ないことから、ここでは参考までに件数表を掲載するにとどめます。



(件)

	n	利用料が高い	入所前に説明されたサービス内容と実際のサービス内容とが異なっている	職員の対応が悪い	入所前に説明されたサービス内容と実際のサービス内容とが異なっている	入所前にサービス内容などの説明があまり詳しく行われなかった	その他	無回答
全 体	25	9	5	4	1	13	1	
特別養護老人ホーム	7	1	-	1	-	6	-	
介護老人保健施設	6	2	3	3	-	1	-	
介護療養型医療施設	2	1	-	-	-	2	-	
有料老人ホーム	7	3	1	-	1	3	1	
グループホーム	3	2	1	-	-	1	-	

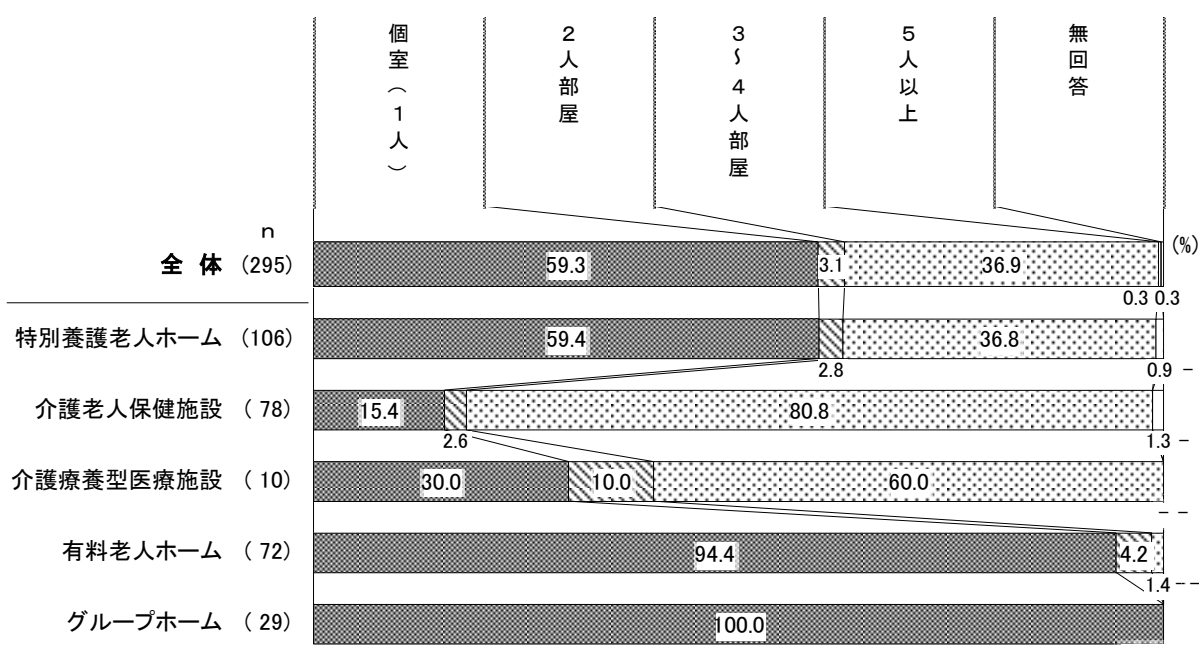
## (6) 部屋の定員数

問10 現在、入居中の部屋の定員は何人ですか。(ひとつだけに○)

部屋の定員数は、“特別養護老人ホーム”の入所者では、「個室（1人）」が59.4%で最も高く、次いで「3～4人部屋」が36.8%となっています。

“介護老人保健施設”の入所者では、「3～4人部屋」が80.8%となっています。

“有料老人ホーム”の入居者では「個室（1人）」が94.4%で、“グループホーム”の入居者では全員が「個室（1人）」です。





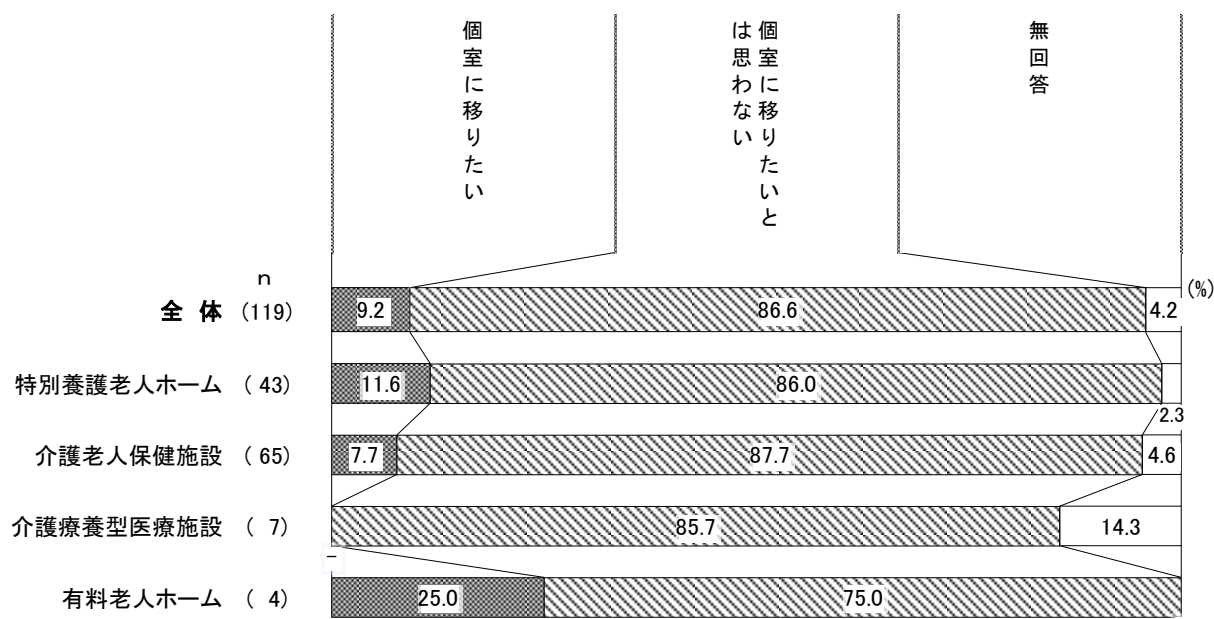
(6-1) 個室への移動希望の有無

【問10で「2. 2人部屋」、「3. 3～4人部屋」、「4. 5人以上」に○をつけた方におたずねします。

問10-1 個室に移動したいというご希望はありますか。(ひとつだけに○)

部屋の定員数で、「2人部屋」、「3～4人部屋」、「5人以上」と回答した方に、個室に移動したいという希望があるかをたずねました。

ここでは、“特別養護老人ホーム”の入所者と“介護老人保健施設”の入所者にだけ言及しますが、どちらも「個室に移りたいとは思わない」が8割台半ばとなっています。

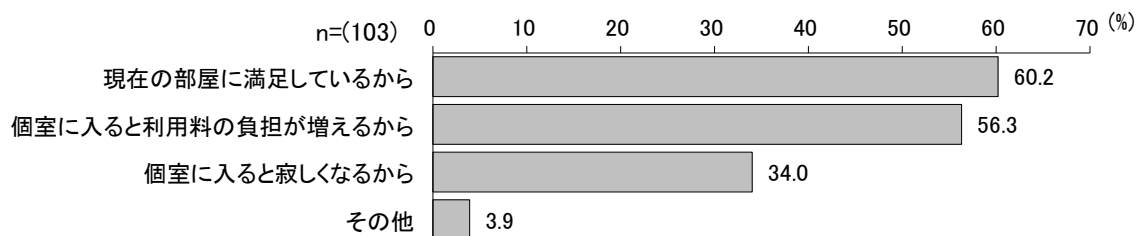


(6-1-1) 個室への移動を希望しない理由

【問10-1で「2. 個室に移りたいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。  
問10-1-1 希望しない理由についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

個室への移動希望の有無で、「個室に移りたいとは思わない」と回答した方に、個室への移動を希望しない理由をたずねました。

ここでは、“特別養護老人ホーム”の入所者と“介護老人保健施設”の入所者にだけ言及しますが、どちらも「現在の部屋に満足しているから」が、それぞれの施設で最も高く、特に、“介護老人保健施設”の入所者は63.2%となっています。また、「個室に入ると利用料の負担が増えるから」でも、“介護老人保健施設”の入所者は59.6%と“特別養護老人ホーム”の入所者よりも11ポイント高くなっています。



	n	現在の部屋に満足しているから (%)	個室に入ると利用料の負担が増えるから (%)	個室に入ると寂しくなるから (%)	その他 (%)
全体	103	60.2	56.3	34.0	3.9
特別養護老人ホーム	37	56.8	48.6	29.7	5.4
介護老人保健施設	57	63.2	59.6	35.1	3.5
介護療養型医療施設	6	50.0	66.7	33.3	-
有料老人ホーム	3	66.7	66.7	66.7	-
グループホーム	-	-	-	-	-

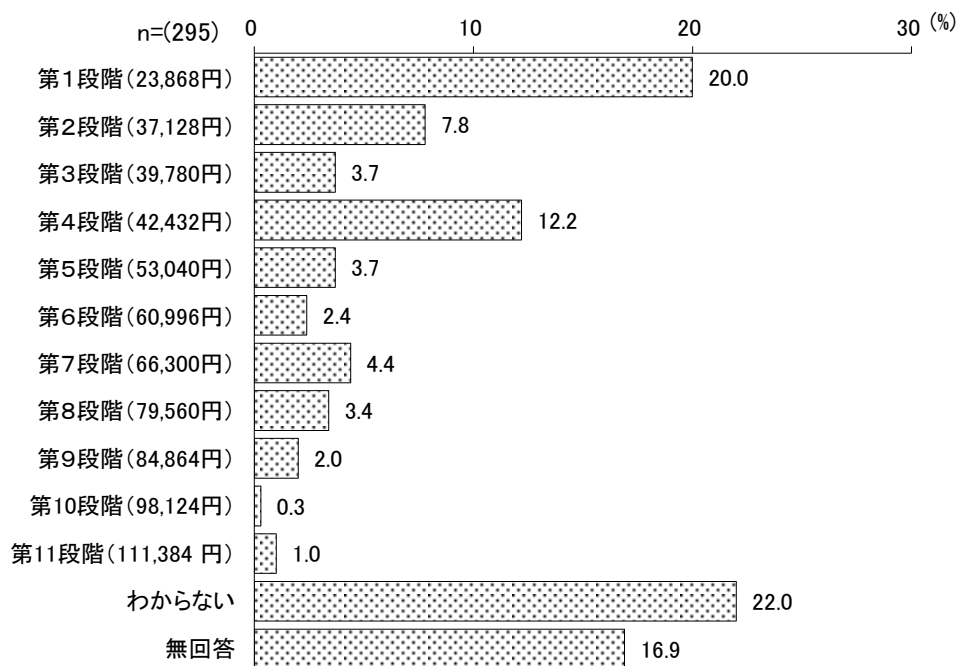
(7) 介護保険の所得段階区分

問11 あなたの介護保険料の「所得段階区分」は、どの段階ですか。

平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)

介護保険の所得段階区分は、“特別養護老人ホーム”の入所者では、「第1段階(23,868円)」が27.4%で最も高くなっています。

“介護老人保健施設”の入所者、“有料老人ホーム”の入居者、“グループホーム”の入居者では、「第1段階(23,868円)」と「第4段階(42,432円)」が高くなっています。

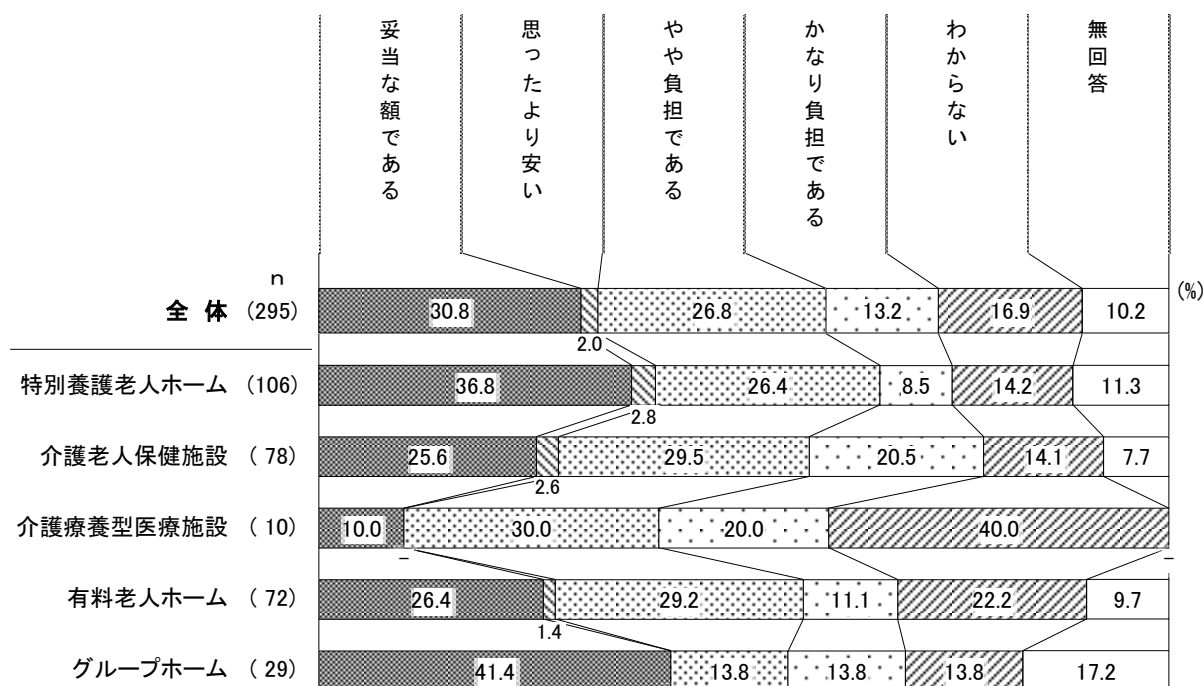


	n	所得段階区分 (%)											わからない	無回答
		第1段階 (23,868円)	第2段階 (37,128円)	第3段階 (39,780円)	第4段階 (42,432円)	第5段階 (53,040円)	第6段階 (60,996円)	第7段階 (66,300円)	第8段階 (79,560円)	第9段階 (84,864円)	第10段階 (98,124円)	第11段階 (111,384円)		
全体	295	20.0	7.8	3.7	12.2	3.7	2.4	4.4	3.4	2.0	0.3	1.0	22.0	16.9
特別養護老人ホーム	106	27.4	7.5	5.7	8.5	6.6	1.9	4.7	1.9	0.9	-	0.9	20.8	13.2
介護老人保健施設	78	15.4	9.0	-	14.1	3.8	5.1	7.7	1.3	-	-	-	21.8	21.8
介護療養型医療施設	10	20.0	-	-	20.0	-	-	-	10.0	-	-	10.0	30.0	10.0
有料老人ホーム	72	16.7	9.7	5.6	15.3	1.4	1.4	1.4	5.6	5.6	1.4	1.4	20.8	13.9
グループホーム	29	13.8	3.4	3.4	10.3	-	-	3.4	6.9	3.4	-	-	27.6	27.6

## (8) 介護保険料の支払額について

### 問12 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

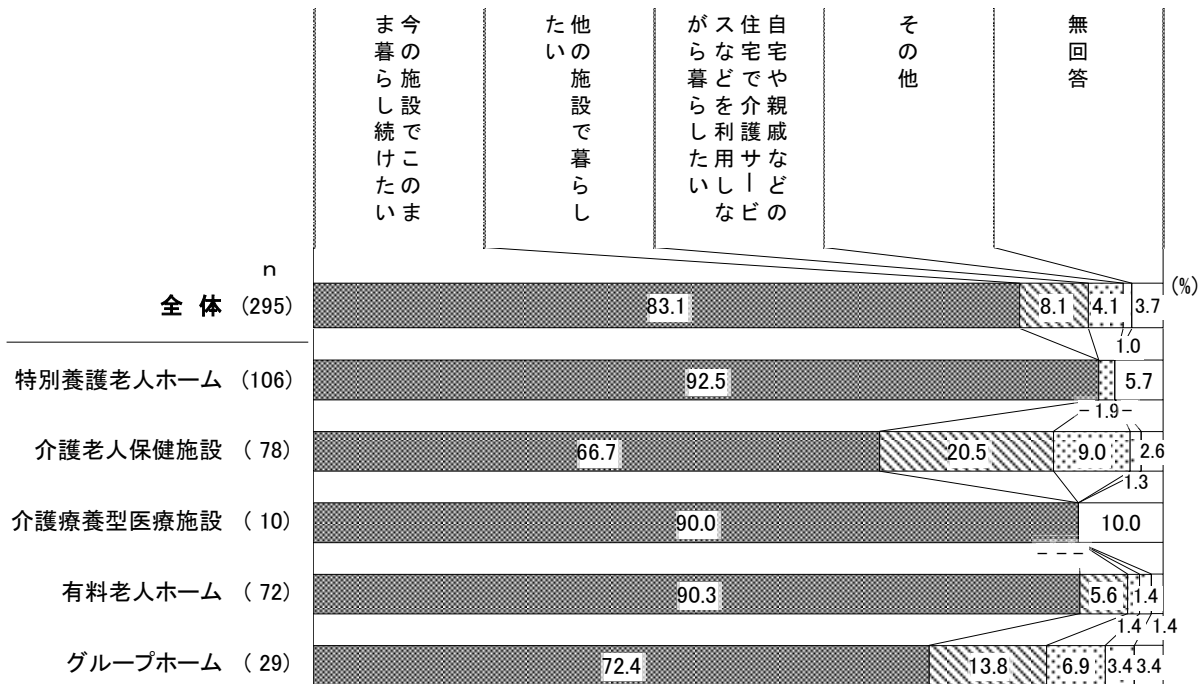
介護保険料の支払額については、“特別養護老人ホーム”の入所者と“グループホーム”の入居者では、「妥当な額である」が最も高く、特に、“グループホーム”の入居者は41.4%となっています。一方、「やや負担である」と「かなり負担である」を合わせた《負担である》は、“介護老人保健施設”の入所者で50.0%と、他の施設に比べて高くなっています。



(9) 今後の生活の場についての考え

問13 今後の生活の場について、どのようにお考えですか。(ひとつだけに○)

今後の生活の場についての考えとしては、いずれの施設の入所・入居者でも、「今の施設でこのまま暮らし続けたい」が最も高くなっています。ただし、「介護老人保健施設」の入所者は、他の施設に比べて低く、「他の施設で暮らしたい」が20.5%となっています。

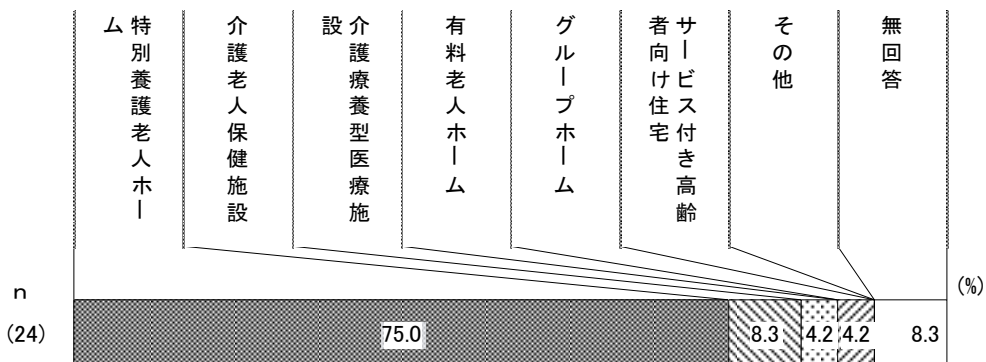


(9-1) 生活の場を移したい施設の種類

【問13で「2. 他の施設で暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。  
問13-1 暮らしたい施設の種類をご記入ください。(ひとつだけに○)

今後の生活の場についての考えで、「他の施設で暮らしたい」と回答した方に、生活の場を移したい施設の種類をたずねました。

ここでは、「介護老人保健施設」の入所者にだけ言及しますが、「特別養護老人ホーム」が高くなっています。



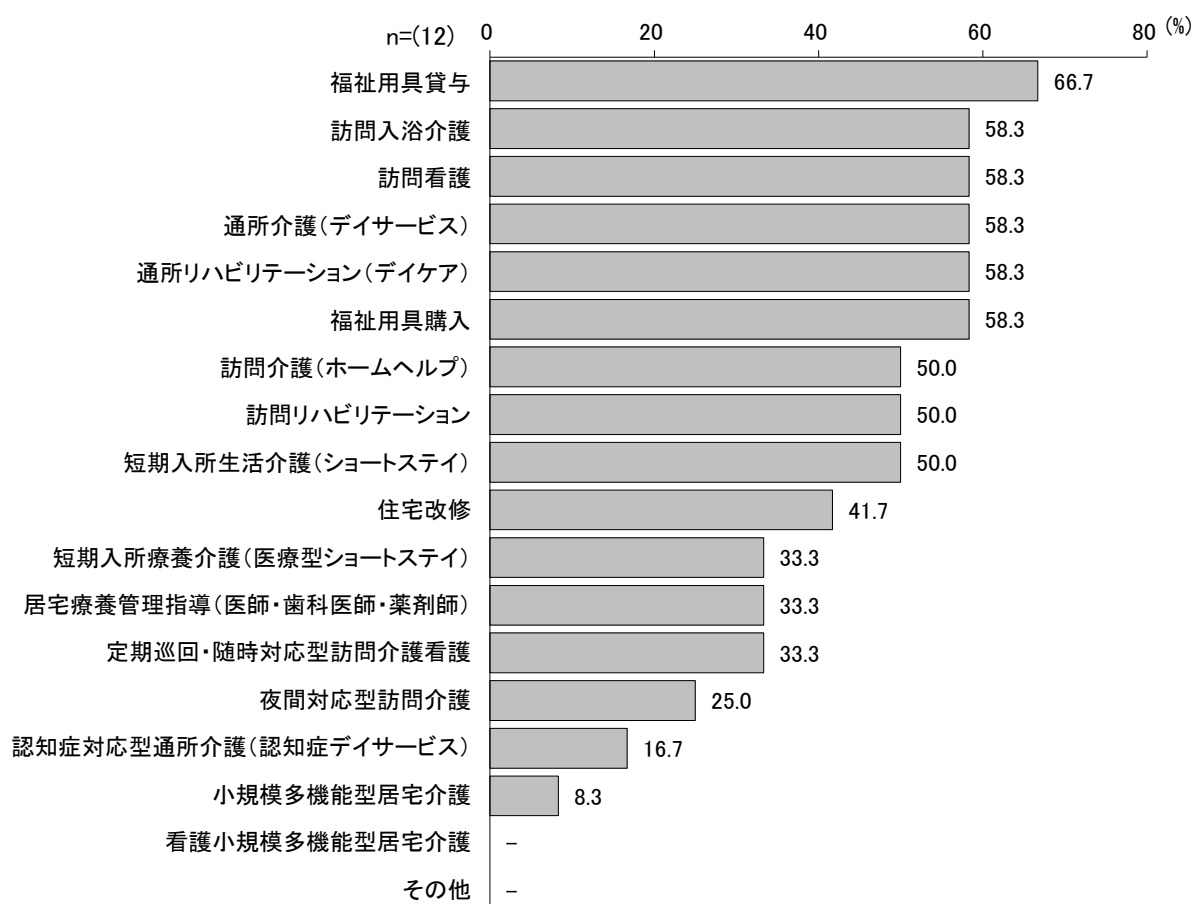
(9-2) 在宅生活をする場合に必要となる介護サービス

【問13で「3. 自宅や親戚などの住宅で介護サービスを利用しながら暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。

問13-2 在宅生活をする場合、必要となる介護サービスの種類に○をしてください。  
(あてはまるものすべてに○)

今後の生活の場についての考えで、「自宅や親戚などの住宅で介護サービスを利用しながら暮らしたい」と回答した方に、在宅生活をする場合に必要となる介護サービスをたずねました。

それぞれの施設の人数が少ないことから、ここでは参考までに件数表を掲載するにとどめます。



(%)

	n	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具貸与	訪問入浴介護	訪問看護	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	福祉用具購入	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問リハビリテーション	短期入所生活介護（ショートステイ）
全体	12	-	66.7	58.3	58.3	58.3	58.3	58.3	50.0	50.0	50.0
特別養護老人ホーム	2	-	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0
介護老人保健施設	7	-	71.4	42.9	28.6	71.4	85.7	42.9	42.9	57.1	57.1
介護療養型医療施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
有料老人ホーム	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0
グループホーム	2	-	50.0	50.0	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-

	n	住宅改修	短期入所療養介護（医療型ショートステイ）	居宅療養管理指導（医師・歯科医師・薬剤師）	定期巡回・随時対応型訪問看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）	小規模多機能型居宅介護	その他
全体	12	41.7	33.3	33.3	33.3	25.0	16.7	8.3	-
特別養護老人ホーム	2	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-
介護老人保健施設	7	42.9	42.9	28.6	42.9	14.3	-	14.3	-
介護療養型医療施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
有料老人ホーム	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-
グループホーム	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-





## **第5章 介護サービス事業所調査**



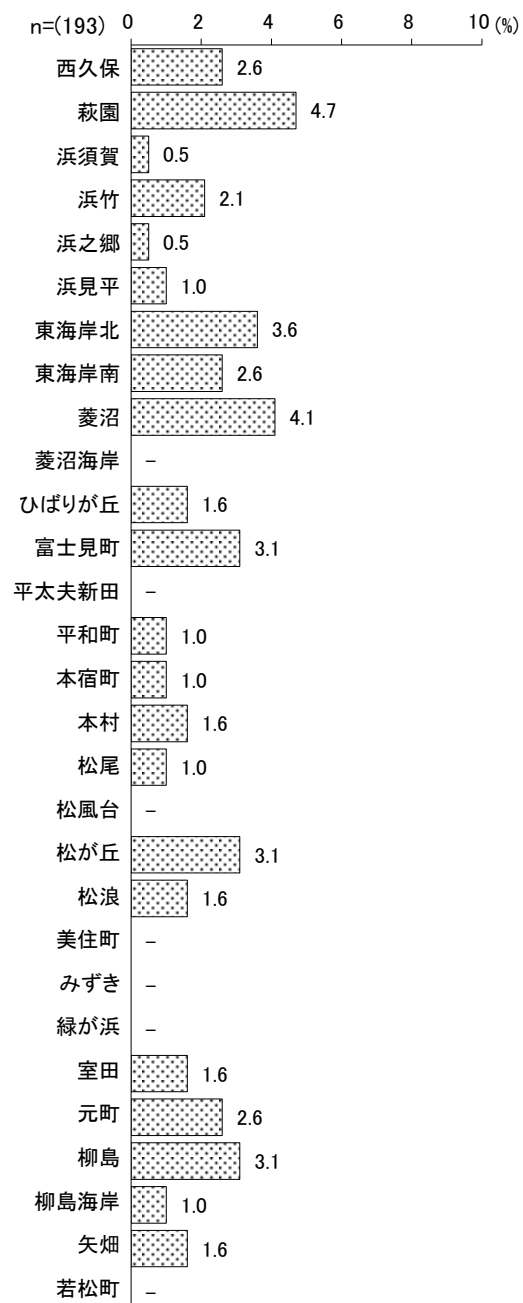
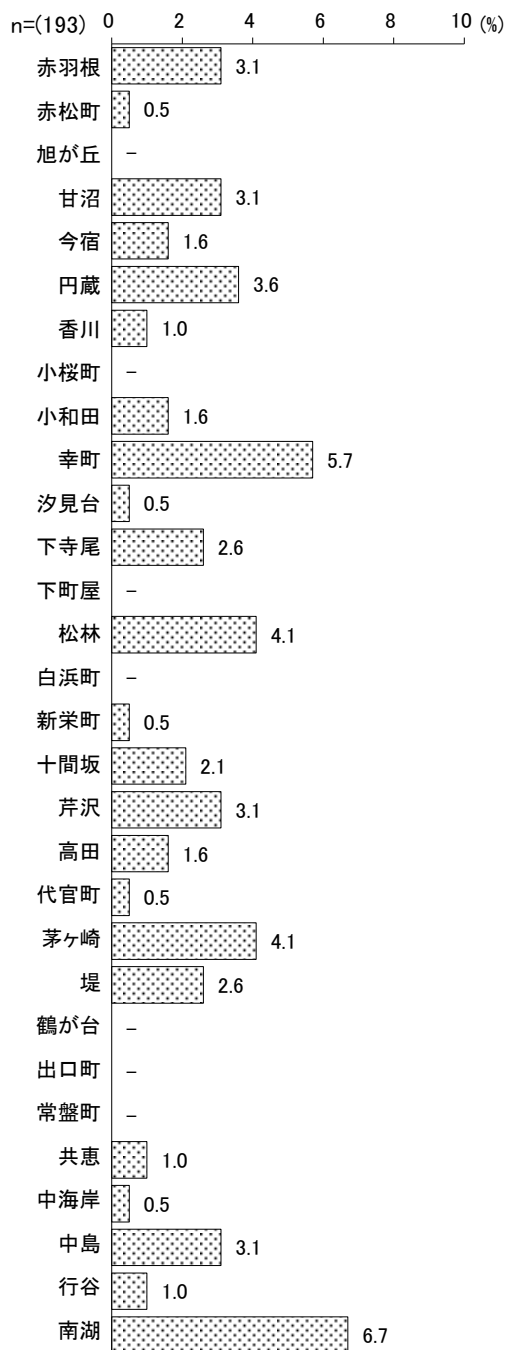
# 第5章 介護サービス事業所調査

## 1 事業所の概要について

### (1) 事業所の所在地

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(下記の地名から、ひとつだけに○)

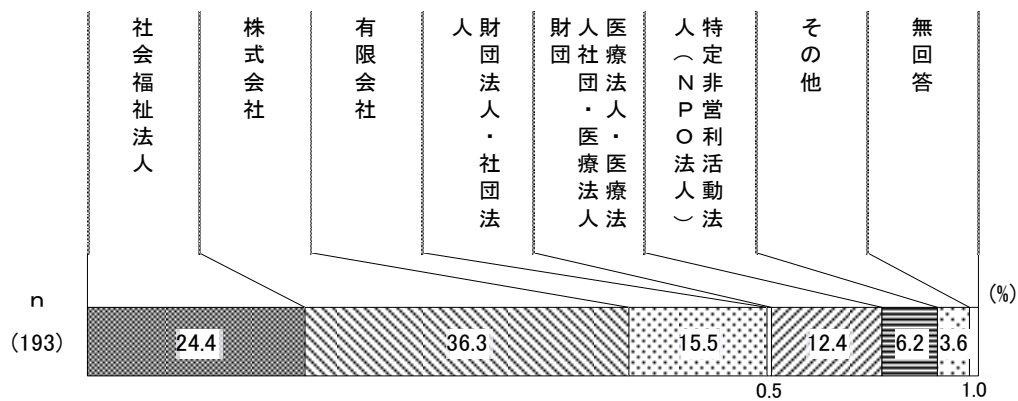
事業所の所在地は、「南湖」が6.7%で最も高く、次いで「幸町」が5.7%となっています。このほか、「萩園」(4.7%)、「松林」(4.1%)、「茅ヶ崎」(4.1%)、「菱沼」(4.1%)が4%台、「円蔵」(3.6%)、「東海岸北」(3.6%)、「赤羽根」(3.1%)、「甘沼」(3.1%)、「芹沢」(3.1%)、「中島」(3.1%)、「富士見町」(3.1%)、「松が丘」(3.1%)、「柳島」(3.1%)が3%台などとなっています。



## (2) 事業所の組織（法人格）

問2 貴事業所の組織（法人格）は、次のうちどれですか。（ひとつだけに○）

事業所の組織（法人格）は、「株式会社」が36.3%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が24.4%、「有限会社」が15.5%、「医療法人・医療法人社団・医療法人財団」が12.4%などとなっています。



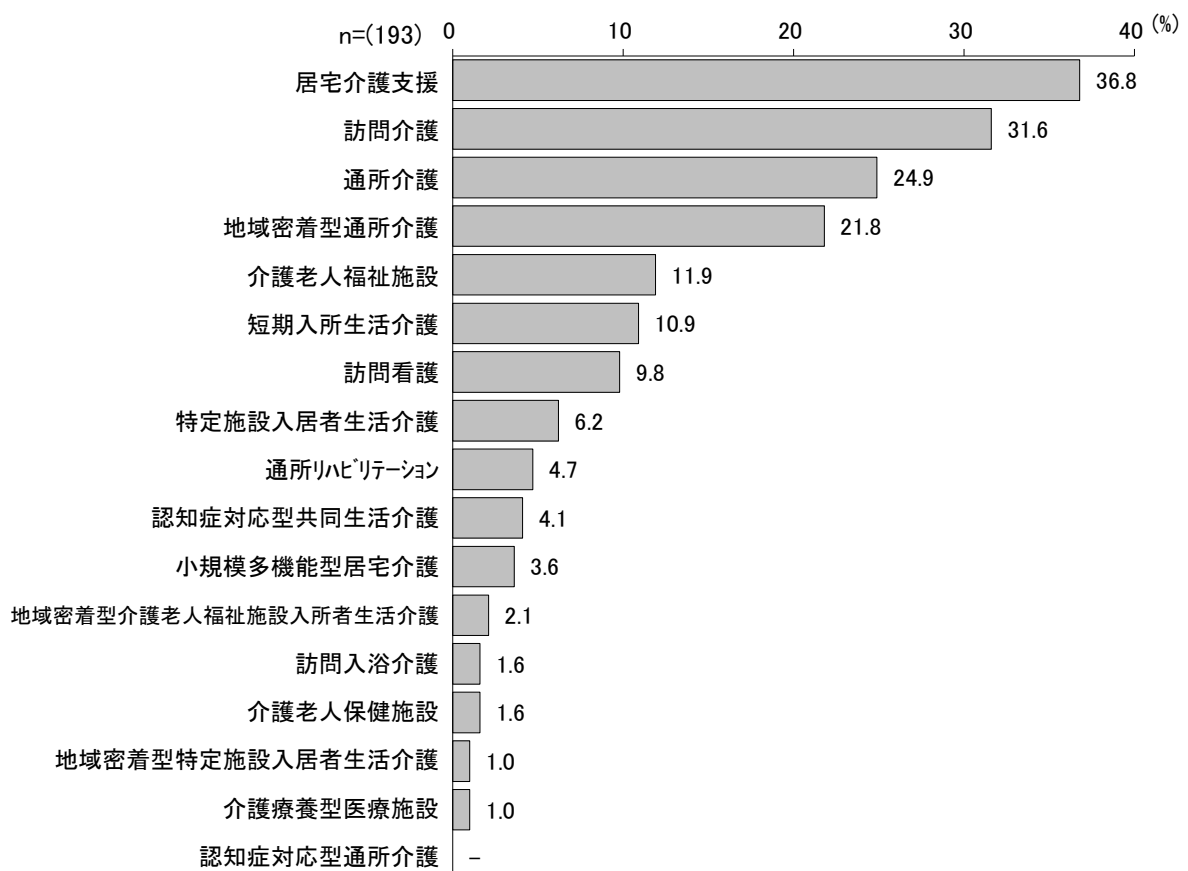
## 2 事業実態及び今後の事業展開について

### (1) 実施している介護サービス

問3 貴事業所で実施している介護サービスの種類（介護予防含む）は、次のどれですか。  
（あてはまるものすべてに○）

実施している介護サービスとしては、「居宅介護支援」が36.8%で最も高く、次いで「訪問介護」が31.6%、「通所介護」が24.9%、「地域密着型通所介護」が21.8%などとなっています。

介護3施設は、「介護老人福祉施設」が11.9%、「介護老人保健施設」が1.6%、「介護療養型医療施設」が1.0%です。

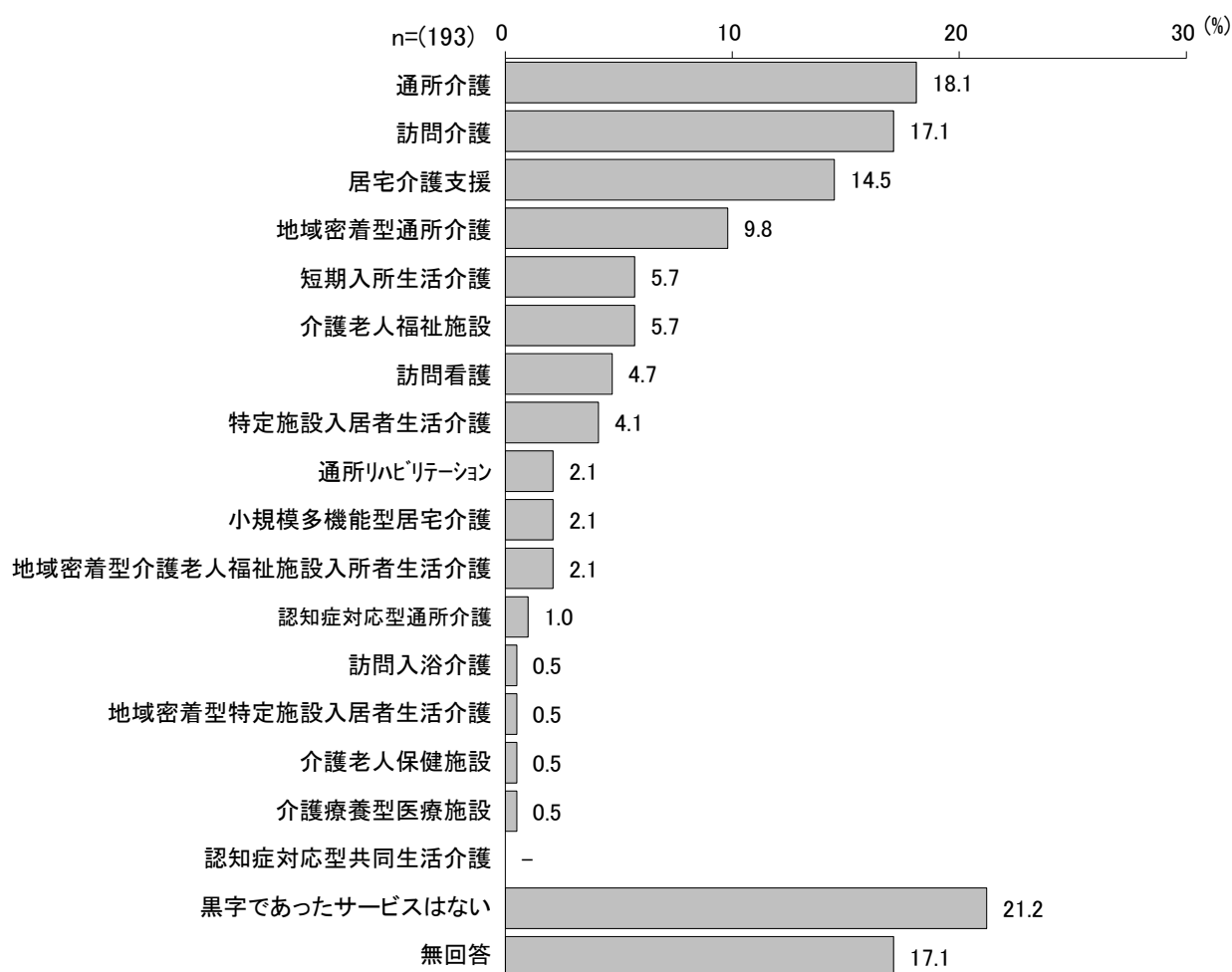


## (2) 昨年度決算の収支が黒字であったサービス

問4 問3で○をしたサービスのうち、昨年度（最新の決算）の収支が黒字であったサービス（介護予防含む）はありましたか。（あてはまるものすべてに○）

実施している介護サービスのうち、昨年度決算の収支が黒字であったサービスについては、《黒字であったサービスがある》は61.7%で、「黒字であったサービスはない」が21.2%となっています。

黒字であったサービスの中では、「通所介護」が18.1%で最も高く、次いで「訪問介護」が17.1%、「居宅介護支援」が14.5%などとなっています。

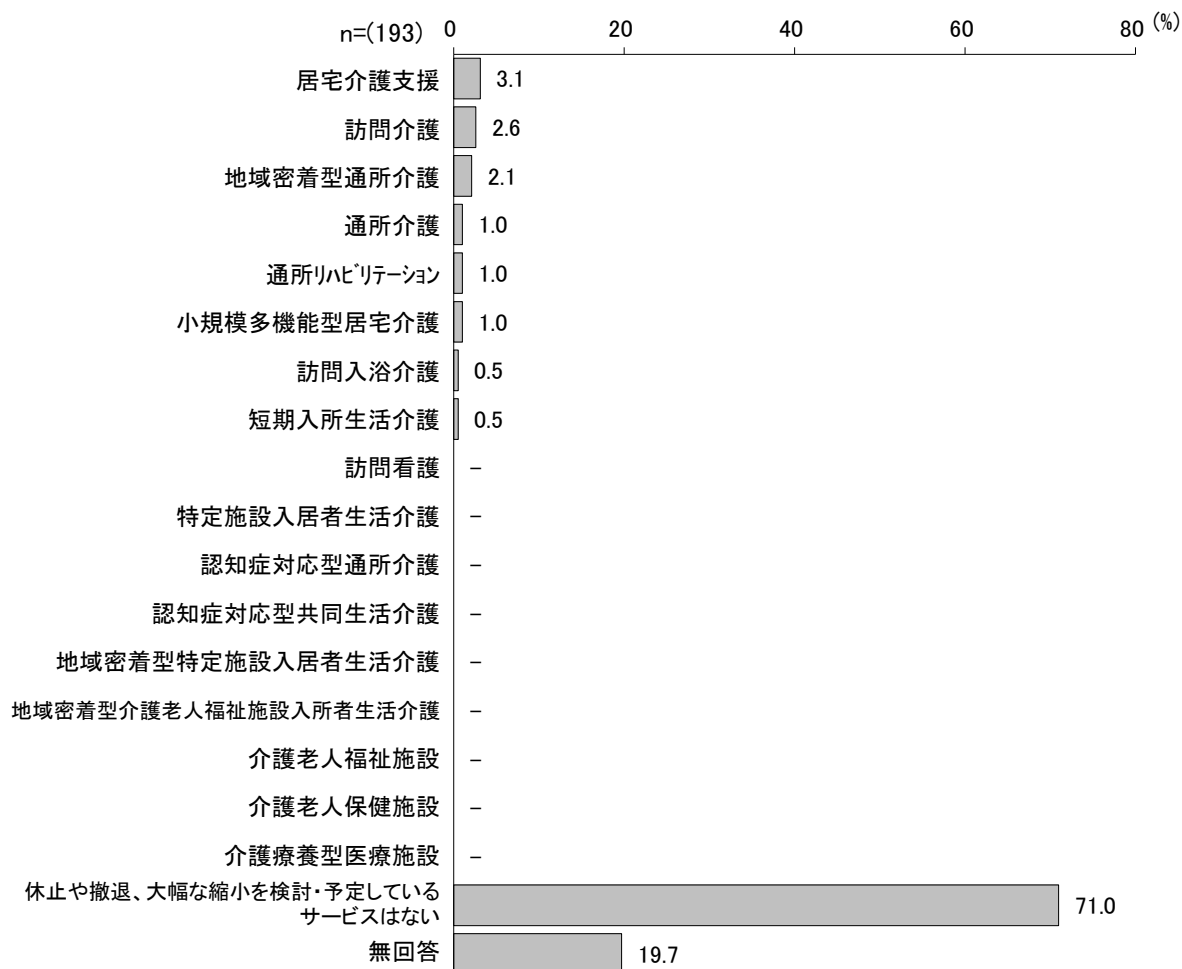


※ 《黒字であったサービスがある》 = 100% - 「黒字であったサービスはない」 - 無回答

### (3) 休止や撤退、縮小を検討・予定しているサービス

問5 問3で○をしたサービス（介護予防含む）のうち、今後休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定されているサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

実施している介護サービスのうち、休止や撤退、縮小を検討・予定しているサービスについては、《休止等を予定しているサービスがある》は9.3%で、「休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定しているサービスはない」が71.0%となっています。



※ 《休止等を予定しているサービスがある》 = 100% - 「休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定しているサービスはない」 - 無回答

(3-1) 休止や撤退、縮小を検討・予定している理由

【問5で「1」～「17」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。  
問5-1 その理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

実施している介護サービスの《休止等を予定しているサービスがある》と回答した事業所に、その理由をたずねました。

回答事業所は18事業所であることから、数表を掲載いたします。結果は次のとおりです。

理由	割合
採算が合わない	61.1
サービス提供をする人材確保が難しい	44.4
経営側の都合・方針	27.8
利用者の確保が難しい	22.2
制度改正の流れに対応できない	5.6

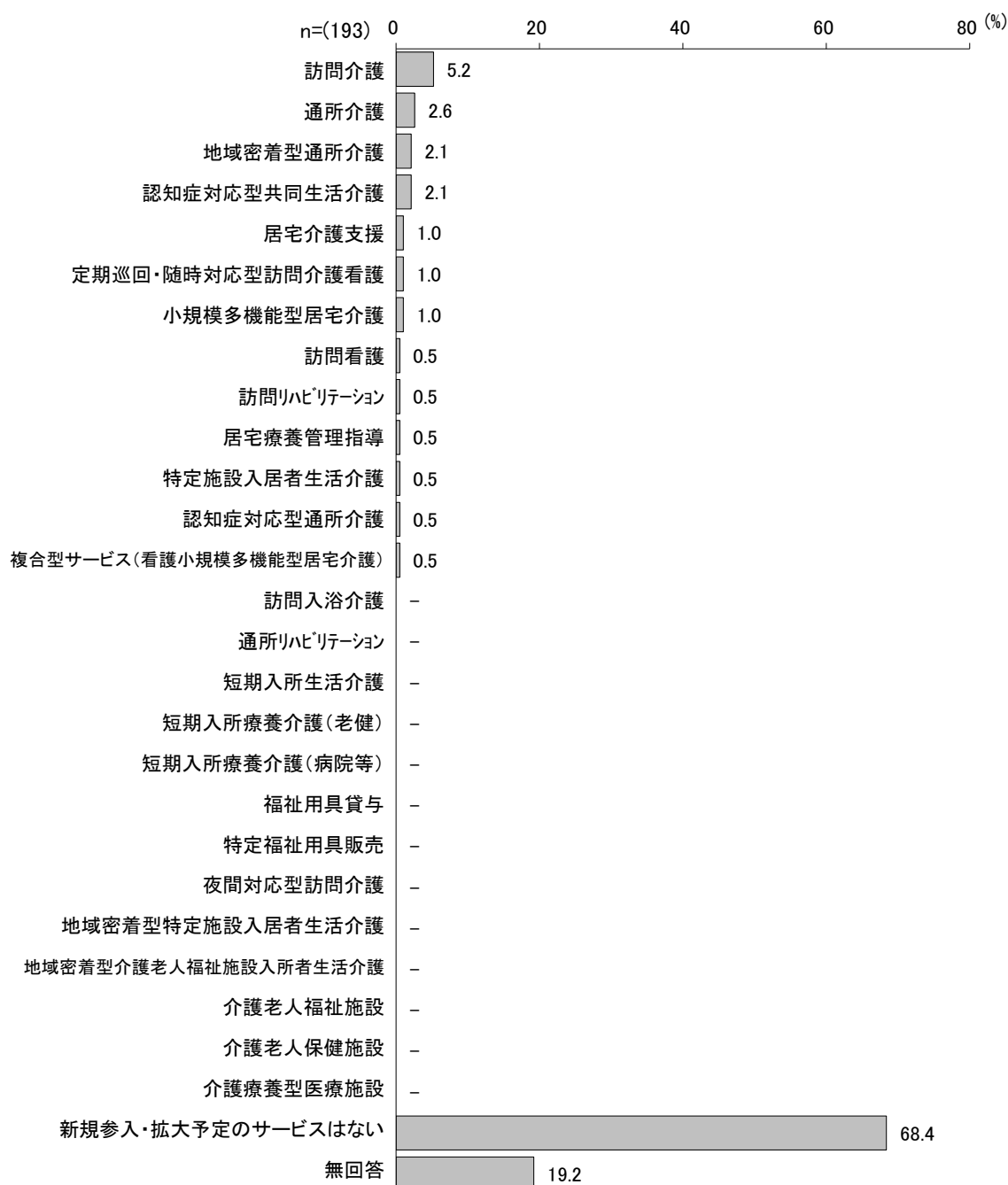


#### (4) 新規参入・提供量の拡大を予定しているサービス

問6 貴事業所で、今後、茅ヶ崎市にて新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスがありますか。(あてはまるものすべてに○)

新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスについては、「新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスがある」は12.4%で、「新規参入・拡大予定のサービスはない」が68.4%となっています。

新規参入・提供量の拡大を予定している中では、「訪問介護」が5.2%、「通所介護」が2.6%などとなっています。

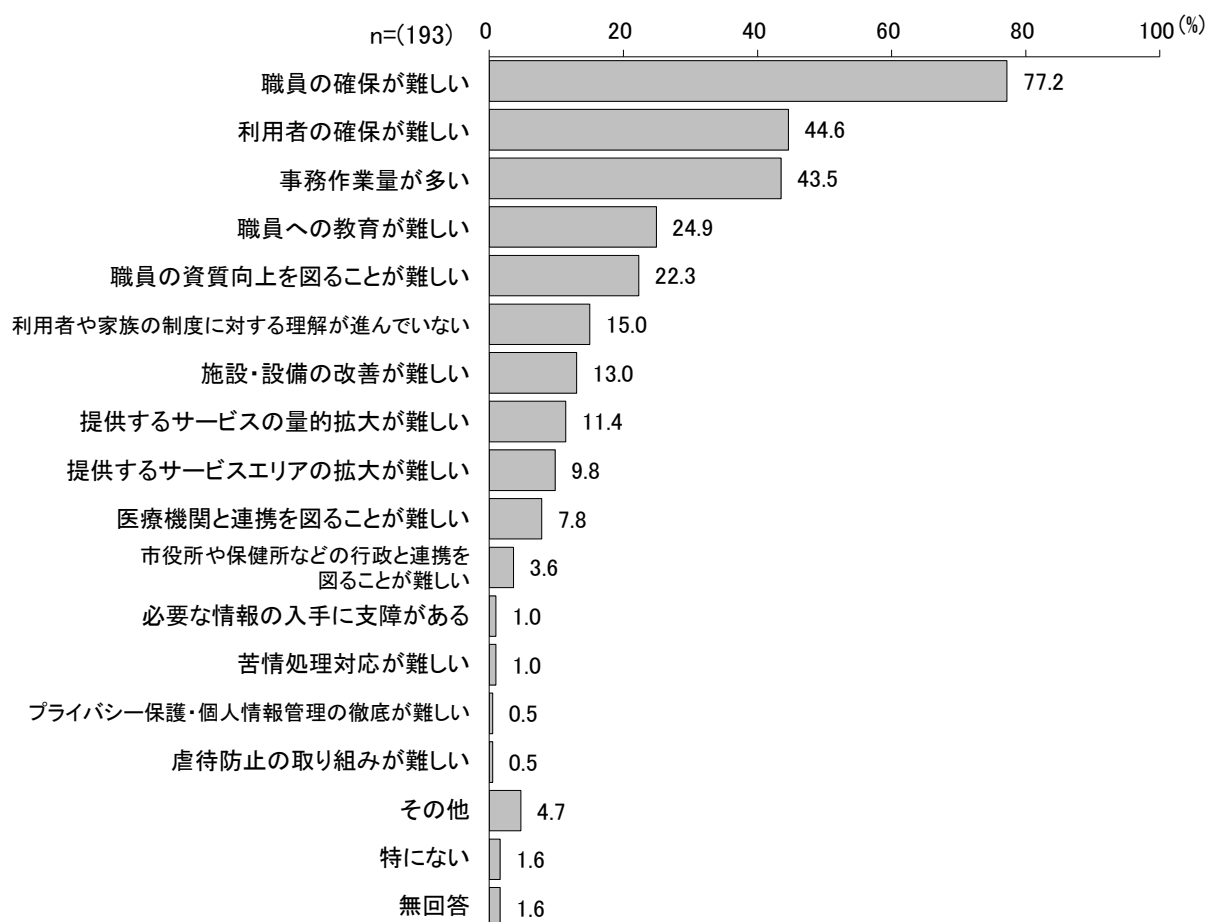


※《新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスがある》=100%－「休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定しているサービスはない」－無回答

## (5) 円滑な事業運営を進めていく上での経営上の問題

問7 貴事業所が、円滑な事業運営を進めていく上で、特に経営上の問題を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

円滑な事業運営を進めていく上での経営上の問題としては、「職員の確保が難しい」が77.2%で最も高く、次いで「利用者の確保が難しい」が44.6%、「事務作業量が多い」が43.5%となっています。このほか、「職員への教育が難しい」が24.9%、「職員の資質向上を図ることが難しい」が22.3%などとなっています。



### 3 職員体制について

#### (1) 管理者及び職員数

問8 貴事業所の、管理者及び介護職員等の職員数をご記入ください（ご回答の方を含む）。

※いない場合は「0」をご記入ください。

#### 【市内における管理者及び介護職員等の人数分布】

記入いただいた職種別の人数について、回答くださった事業所の合計ではありますが、市全体における職種別の常勤専従、常勤兼務、非常勤の分布を算出しました。

“サービス提供責任者”、“介護職員（ヘルパー以外）”、“管理栄養士・栄養士”、“機能訓練指導員（PT・OT・ST等）”は、「常勤専従」の割合が他の勤務形態に比べて高くなっており、特に、“管理栄養士・栄養士”と“介護支援専門員”で5割台となっています。

“管理者（施設長）”と“生活相談員・支援相談員”は、「常勤兼務」が他の勤務形態に比べて高く6割前後です。

また、“医師”、“看護職員”、“訪問介護員（ホームヘルパー）”、“介護職員（ヘルパー以外）”は、「非常勤」が他の勤務形態に比べて高く、特に、“訪問介護員（ホームヘルパー）”は77.6%となっています。

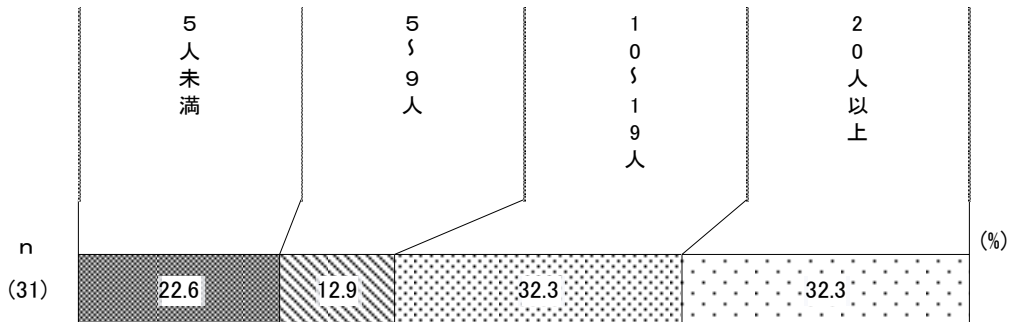
職種		合計	常勤専従	常勤兼務	非常勤
管理者（施設長）	人数（人）	116.1	44.0	72.1	
	割合（％）	(100.0)	(37.9)	(62.1)	
サービス提供責任者	人数（人）	95.6	47.0	41.6	7.0
	割合（％）	(100.0)	(49.2)	(43.5)	(7.3)
医師	人数（人）	6.5	3.0	0.0	3.5
	割合（％）	(100.0)	(46.2)	(0.0)	(53.8)
看護職員	人数（人）	266.7	90.0	64.3	112.4
	割合（％）	(100.0)	(33.7)	(24.1)	(42.1)
訪問介護員（ホームヘルパー）	人数（人）	468.8	64.0	41.1	363.7
	割合（％）	(100.0)	(13.7)	(8.8)	(77.6)
介護職員（ヘルパー以外）	人数（人）	1258.5	428.0	401.5	429.0
	割合（％）	(100.0)	(34.0)	(31.9)	(34.1)
生活相談員・支援相談員	人数（人）	129.8	37.0	77.7	15.1
	割合（％）	(100.0)	(28.5)	(59.9)	(11.6)
管理栄養士・栄養士	人数（人）	26.0	13.0	10.7	2.3
	割合（％）	(100.0)	(50.0)	(41.2)	(8.8)
介護支援専門員	人数（人）	153.5	81.0	53.5	19.0
	割合（％）	(100.0)	(52.8)	(34.9)	(12.4)
機能訓練指導員（PT・OT・ST等）	人数（人）	83.1	32.0	21.1	30.0
	割合（％）	(100.0)	(38.5)	(25.4)	(36.1)

※人数については、常勤換算数も加味しているため、小数点以下第1位まで表示しています。

### 【登録ヘルパーについて】

実施している介護サービスで「訪問介護」と回答した事業所（61事業所）のうち、登録ヘルパーについては31事業所の回答がありました。

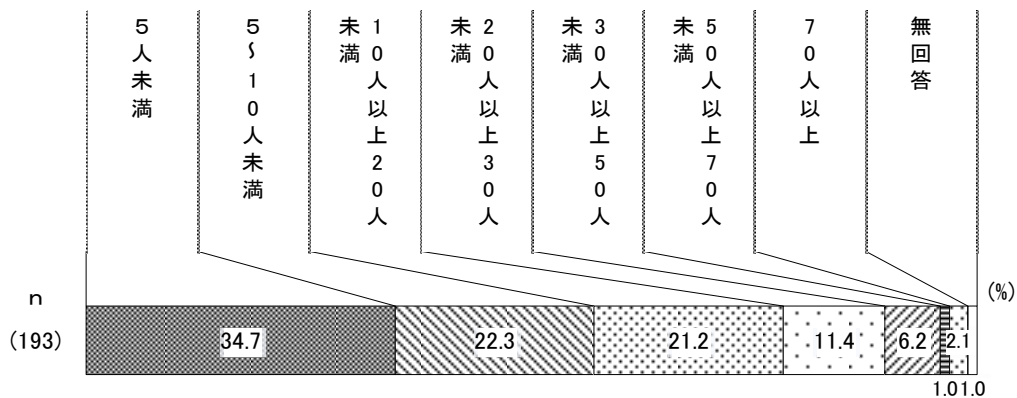
回答のあった各事業所の登録ヘルパーの人数分布を整理したところ、「10～19人」と「20人以上」が32.3%で並んでいます。なお、合計は591.7人で、1事業所あたりの平均人数は19.1人となっています。



	A	B	B/A
	回答した事業所数	登録ヘルパーの合計	1事業所あたりの平均人数
登録ヘルパー	31	591.7	19.1

### 【事業所の職員規模】

各事業所の登録ヘルパーを除いた全ての職種の人数を合計し、職員規模を算出したところ、「5人未満」が34.7%で最も高く、次いで「5～10人未満」が22.3%、「10人以上20人未満」が21.2%などとなっています。



※一つひとつの職種で常勤専従、常勤兼務、非常勤人数を合計し、その上で、事業所における総合計を算出したものです。

## (2) 職員の平均勤続年数

問9 貴事業所における職員の平均勤続年数をご記入ください。

(小数点第2位で四捨五入)

各職種別に常勤の専従・兼務、非常勤の専従・兼務に分けて、平均勤続年数をたずねました。

その結果、「常勤・専従」は、“機能訓練指導員(PT・OT・ST)”を除いて、1事業所あたりの平均勤続年数が約4年～6年となっています。また、「常勤・兼務」は、“看護職員”と“機能訓練指導員(PT・OT・ST)”を除いて、約5年～6年です。

多くの職種で、1事業所あたりの平均勤続年数は、専従・兼務を問わず「常勤」が「非常勤」よりも長い傾向にあります。ただし、“看護職員”は「常勤・兼務」よりも「非常勤・兼務」が、“機能訓練指導員(PT・OT・ST)”は「常勤・専従」よりも「非常勤・専従」が長くなっています。

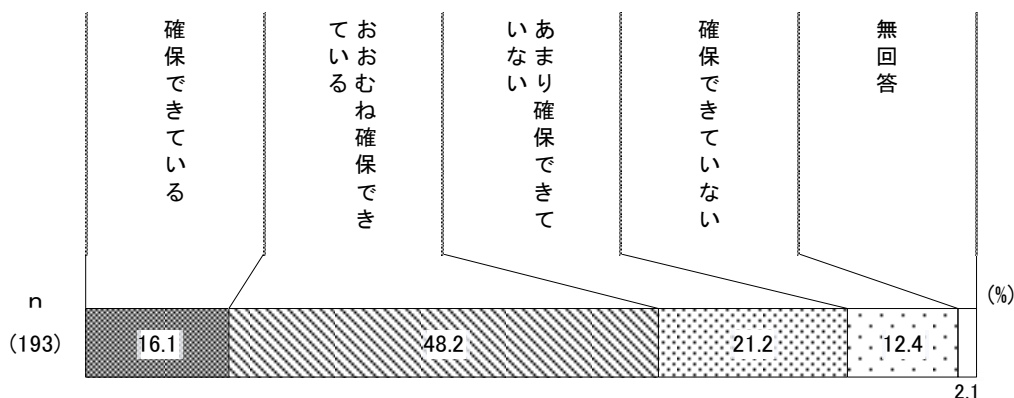
職種	常勤				非常勤			
	専従		兼務		専従		兼務	
	n	平均	n	平均	n	平均	n	平均
看護職員	39	5.3年	31	3.5年	36	3.6年	40	3.6年
介護職員 (ヘルパ-以外)	57	4.0年	63	5.0年	49	3.4年	52	3.9年
生活相談員・支援相談員	34	4.6年	60	6.3年	7	0.9年	19	3.4年
管理栄養士・栄養士	16	5.8年	20	6.1年	4	0.5年	4	0.1年
介護支援専門員	46	5.7年	53	5.3年	15	4.5年	12	1.7年
機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	20	2.7年	19	3.1年	20	3.3年	27	2.9年

## 4 材確保や育成・定着について

### (1) この1年間の人材確保の状況

問10 この1年間（平成27年10月1日～平成28年9月30日まで）の、貴事業所の人材の確保の状況はいかがですか。（ひとつだけに○）

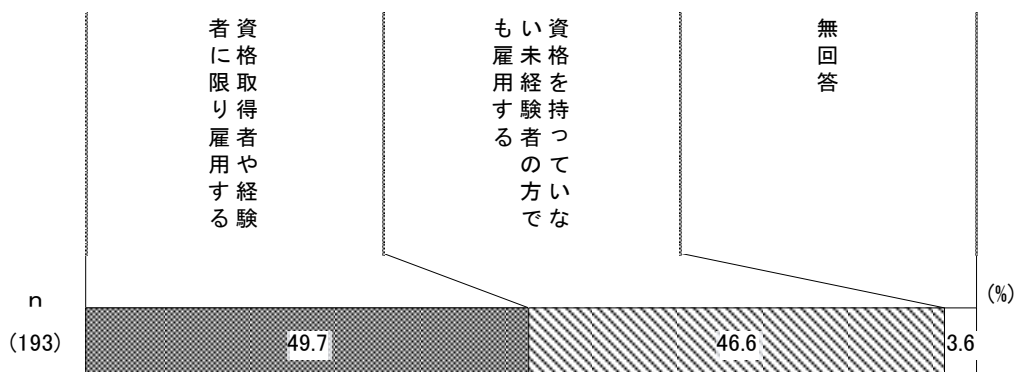
この1年間の人材確保の状況は、「確保できている」が16.1%で、「おおむね確保できている」が48.2%と最も高くなっています。これらを合わせた《確保できている》は64.3%です。一方、「あまり確保できていない」(21.2%)と「確保できていない」(12.4%)を合わせた《確保できていない》は33.6%となっています。



### (2) この1年間の人材確保の方針

問11 この1年間で貴事業所の人材確保の方針は次のうちのどちらが当てはまりますか。

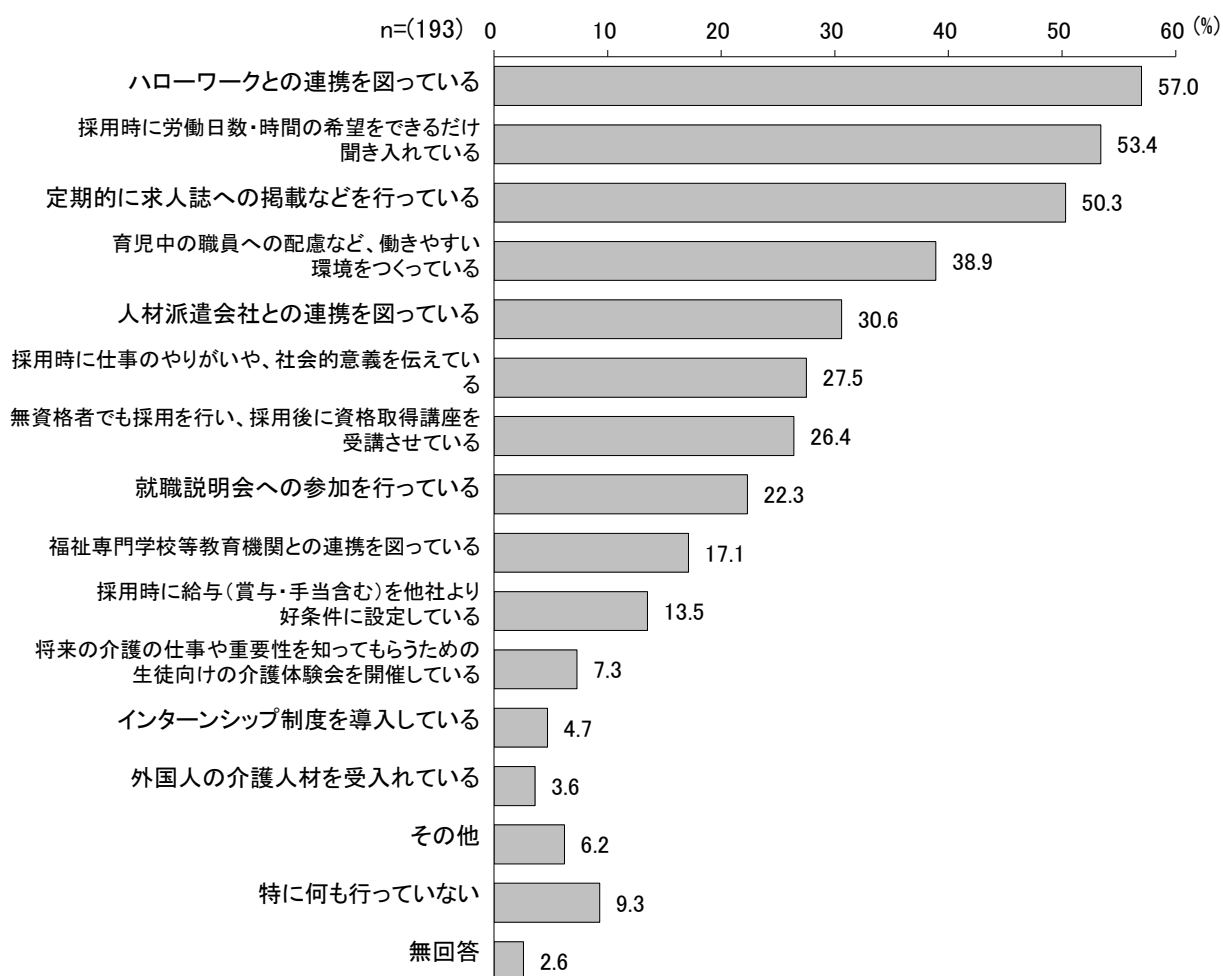
この1年間の人材確保の方針は、「資格取得者や経験者に限り雇用する」が49.7%、「資格を持っていない未経験者の方でも雇用する」が46.6%で、おおむね並んでいます。



### (3) 人材確保の取り組み

問12 貴事業所では、人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

人材確保の取り組みとしては、「ハローワークとの連携を図っている」が57.0%で最も高く、次いで「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」が53.4%、「定期的に求人誌への掲載などを行っている」が50.3%となっています。このほか、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」が38.9%、「人材派遣会社との連携を図っている」が30.6%などとなっています。



### (3-1) 人材確保の取り組みの効果

【問12で「1」～「14」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。

問12-1 問12の取り組みで効果があったと思う取り組みについてその番号を記載してください。(複数回答可)

人材確保の取り組みを行ったものについて、効果があったと思う取り組みを、更に選んでいただきました。

上位5位を選出したところ、第1位は「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」、第2位は「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」などとなっています。なお、前問で最も高かった「ハローワークとの連携を図っている」は第4位です。

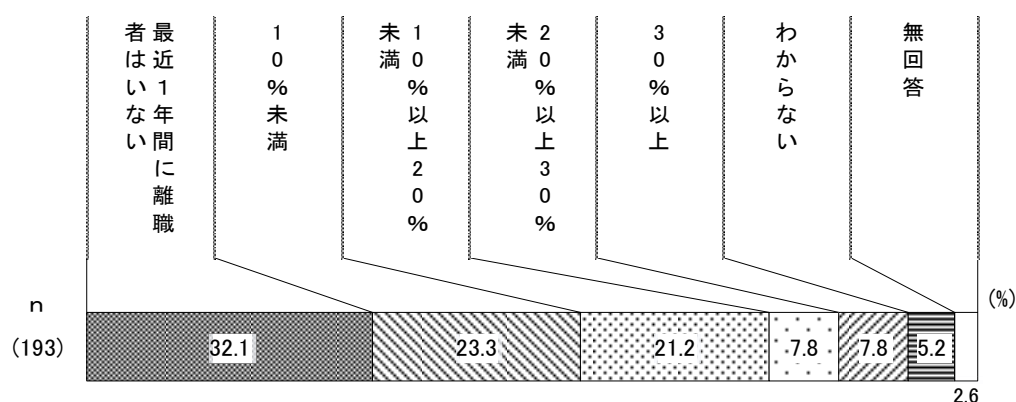
順位	取り組み	割合
第1位	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	27.6
第2位	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	18.2
第3位	定期的に求人誌への掲載などを行っている	15.9
第4位	ハローワークとの連携を図っている	14.1
第5位	無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている	11.8
〃	採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている	11.8

### (4) この1年間の離職率

問13 貴事業所のこの1年間（平成27年10月1日～平成28年9月30日まで）の離職率はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

※離職率＝この1年間の退職者数÷1年前の在職者数×100とします。

この1年間の離職率では、「最近1年間に離職者はいない」が32.1%で最も高く、次いで「10%未満」が23.3%、「10%以上20%未満」が21.2%などとなっています。





#### (4-1) 離職者数

【問13で「2. 10%未満」～「5. 30%以上」に○をつけた貴事業所の方におたずねします。】

問13-1 この1年間の離職者数をご記入ください。

この1年間の離職率で、「10%未満」、「10%以上20%未満」、「20%以上30%未満」、「30%以上」と回答した事業所の方に、各職種別の離職者数をたずねました。

職種では、介護職員（ヘルパー以外）における1事業所あたりの離職者数が多い傾向にあります。介護職員（ヘルパー以外）の1事業所あたりの離職者数は、正規職員で2.4人、非正規職員の常勤労働者で3.2人、非正規職員の短時間労働者で2.2人となっています。

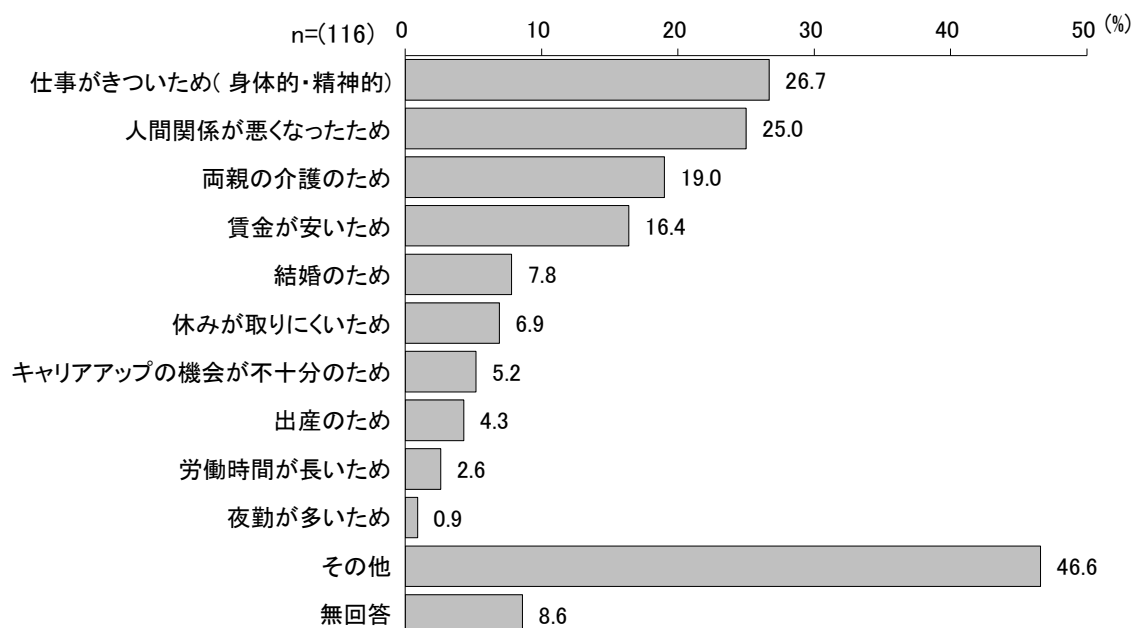
職種	正規職員		非正規職員			
	n	平均	常勤労働者		短時間労働者	
			n	平均	n	平均
看護職員	10	1.1人	4	2.0人	16	1.1人
介護職員（ヘルパー以外）	39	2.4人	22	3.2人	47	2.2人
生活相談員・支援相談員	8	1.3人	2	3.0人	1	1.0人
管理栄養士・栄養士	6	1.3人	—	—	2	1.0人
介護支援専門員	17	1.2人	3	1.3人	7	1.0人
機能訓練指導員（PT・OT・ST）	7	1.0人	—	—	—	—

#### (4-2) 離職者の離職理由

問13-2 また、貴事業所での離職者の離職理由はどのようなものですか。

（あてはまるものすべてに○）

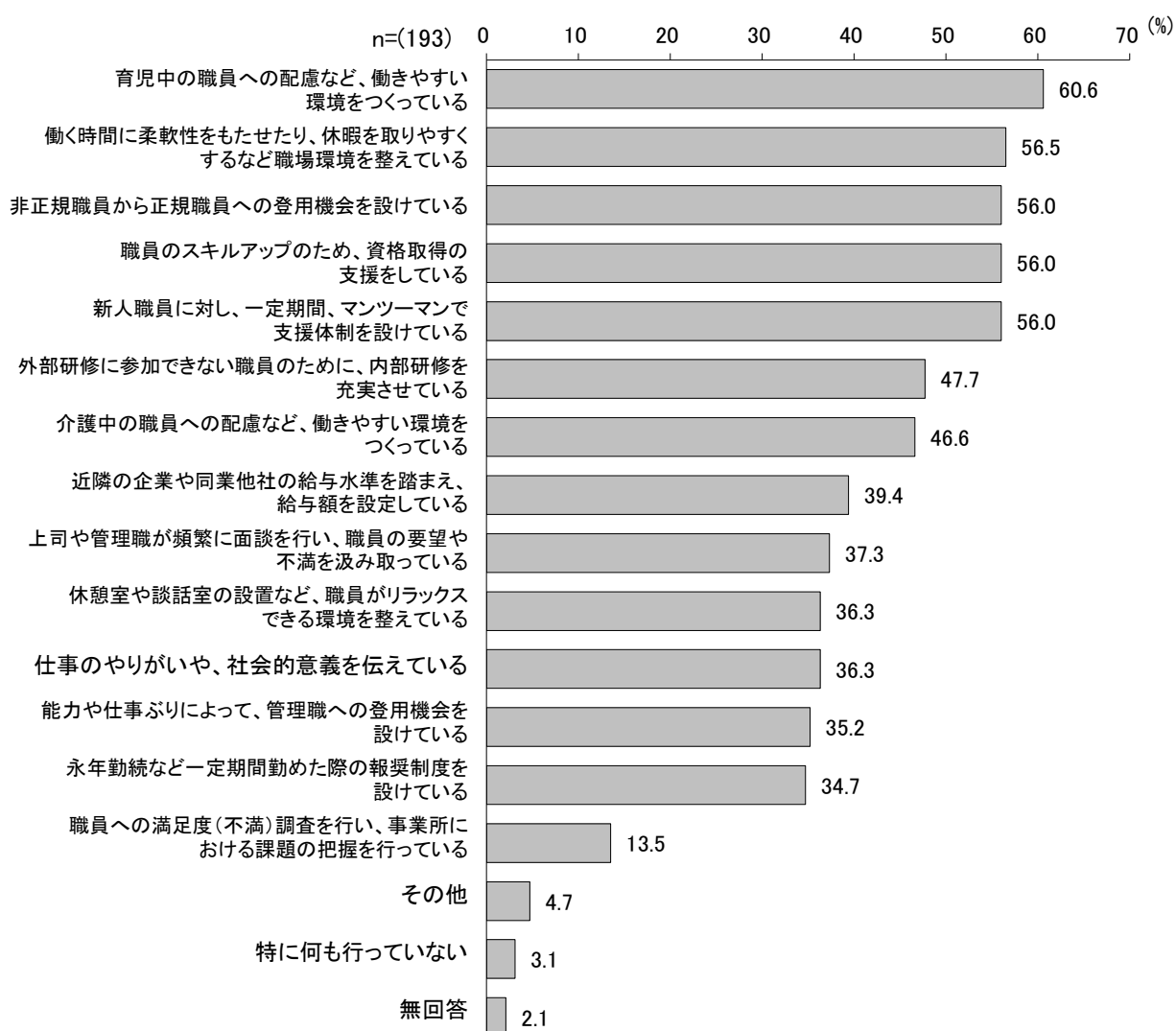
離職者の離職理由としては、「仕事がついたため（身体的・精神的）」が26.7%で最も高く、次いで「人間関係が悪くなったため」が25.0%、「両親の介護のため」が19.0%、「賃金が安い」が16.4%などとなっています。



## (5) 人材の定着・育成（離職の防止）の取り組み

問14 貴事業所では、人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みとしては、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」が60.6%で最も高く、次いで「働く時間に柔軟性をもたせたり、休暇を取りやすくするなど職場環境を整えている」が56.5%となっています。このほか、「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」、「職員のスキルアップのため、資格取得の支援をしている」、「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで支援体制を設けている」が56.0%で並んでいます。



### (5-1) 人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みの効果

【問14で「1」～「15」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。

問14-1 問14の取り組みで効果があったと思う取り組みについてその番号を記載してください。（複数回答可）

人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みを行ったものについて、効果があったと思う取り組みを、更に選んでいただきました。

上位5位を選出したところ、第1位は「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」と「働く時間に柔軟性をもたせたり、休暇を取りやすくするなど職場環境を整えている」が同率で並び、前問の順位と変わりませんでした。また、第3位は「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで支援体制を設けている」となっています。

順位	取り組み	割合
第1位	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	26.2
〃	働く時間に柔軟性をもたせたり、休暇を取りやすくするなど職場環境を整えている	26.2
第3位	新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで支援体制を設けている	21.3
第4位	職員のスキルアップのため、資格取得の支援をしている	19.1
第5位	非正規職員から正規職員への登用機会を設けている	16.9